MK3000

ケーブルIDプリンター

ユーザーズガイド

安全にお使いいただくための注意事項は、「基本操作ガイド」に記載されています。
本製品をご使用の前に必ずお読みください。

* 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

© CANON FINETECH NISCA INC. 2021

4Y1-8637-010

目次

はじめに

本書の見かた....1
商標について....1
本体製品名称について....2
安全データシートについて....2
使用済み製品および電池の廃棄について....2

各部の名称

外観....3
内部....4
チューブアタッチメント....5
キーの名称とはたらき....6
ディスプレイの見かた....8

1. 準備／セット方法

電源の準備....12
AC アダプターを使用する....12
電池を入れて使用する....13
電源を入れる / 切る....15
電源を入れる....15
電源を切る....17
リボンカセットをセットする....18
印字媒体をセットする....21
チューブをセットする....21
ラベルテープカセットをセットする..25
印字媒体を交換する....27
チューブウォーマー（オプション）を使用する....31
チューブウォーマーにチューブをセットする....31
チューブウォーマーの制御設定を変更する....34
チューブウォーマーの温度設定を変更する....35

2. 入力／編集

入力の基本操作....37
入力の前に....37
ひらがなを入力する....41
カタカナを入力する....43
英数字を入力する....45
漢字を入力する....46
記号を入力する....49
文字を削除する....50
入力した文字をすべて削除する....51
文字と行の編集....52
文字サイズを指定する....52
文字を枠で囲む....55
印刷の向きと文字の方向を指定する..56
文字の間隔を指定する....58
行数を指定する....59
連番を設定する....61
6 と 9 に下線をつける....63
カット長の設定....64
カット長について....64
カット長と文字配置を指定する....65
カット長の設定を全ページに設定する68

ページの作成と編集 69
新規ページを作成する 69
ページをコピーする 70
ページを移動する 72
ページを挿入する 74
ページを削除する 76
ページを分割する 77
ページを結合する 79

3. 印刷／保存

印刷の基本操作 82
印刷する 82
印刷イメージを確認する 87
印刷範囲を指定して印刷する 88
ページに繰り返し印刷を設定する 90
印刷結果の補正 91
印刷位置やカット長を微調整する 91
印刷濃度を変更する 97
印刷速度を変更する 98
カッターの設定 99
カット設定を変更する 99
カッターの深さを調整する 102
強制全切りを使用する 106
カッターの強さを調整する 107
文字データの保存と呼び出し 110
ファイルを保存する 110
ファイルを呼び出す 112
ファイルを削除する 114
フォルダー名を変更する 116

4. お手入れ / 本体の設定

プリンターの清掃 119
本体の外側を清掃する 119
本体内部を清掃する 120
搬送ローラーを清掃する 121
印字ヘッドを清掃する 123
クリーナーを清掃 / 交換する 124
カッターの交換 125
本体設定の変更 129
自動電源オフの設定を変更する（アダプター / 電池） 129
ディスプレイの設定を変更する 131
表示言語を変更する 134
操作音を消す 135
本製品を初期化する 136

5. こんなときには

チューブやラベルテープがつまった 138
困ったときの対処方法 143
メッセージが表示された 151
ファームウェアをアップデートする 156
ファームウェアのバージョンを確認する 156
ファームウェアのアップデートを実行する 157

6. 付録

仕様..... 160
プリンター本体..... 160
印字媒体..... 162
消耗品 / オプション一覧 163
機能一覧 165
ローマ字 / かな入力表 167
記号一覧表..... 169
区点コード表..... 170
索引..... 182

はじめに

本書の見かた

■ マークについて

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。
重要	守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。
メモ	操作の参考になることや補足説明が書かれています。

■ 記載について

- 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。

商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- エネループおよび eneloop はパナソニックグループの登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

本体製品名称について

- 本製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の ( ) の名称で登録されていることがあります。
  MK3000 (PR-TP003)

安全データシートについて

- 化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、本製品で使用するインクリボンに含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱上の注意、環境への影響などに関する情報を記載しています。
- 安全データーシート (SDS) は、その内容が変更される場合があります。最新版はキヤノンホームページ (canon.jp/ecology) にて提供しております。あわせてご確認ください。

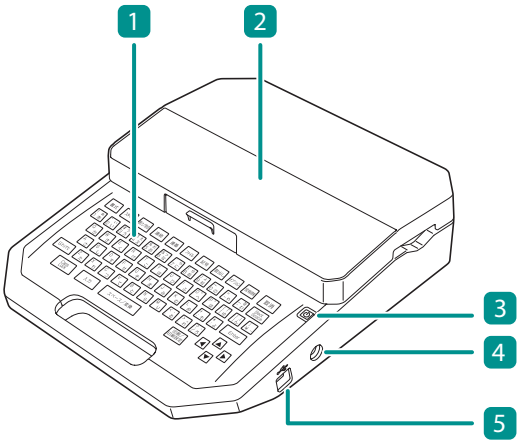
使用済み製品および電池の廃棄について

- 使用済み製品 (本体、オプション、消耗品) は、以下に従って処分してください。
  企業でお使いの場合：
  「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法)」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合：
  地域の条例に従って処分してください。
- 本体を廃棄するときは、電池を取り外してください。また、使い終わった電池は以下に従って処分してください。
  企業でお使いの場合：
  端子部分をビニールテープ等で絶縁して、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法)」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合：
  端子部分をビニールテープ等で絶縁して、リサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。リサイクル協力店については、電池をご購入いただいた販売店または一般社団法人 JBRC（brc.com/）までお問い合わせください。

各部の名称

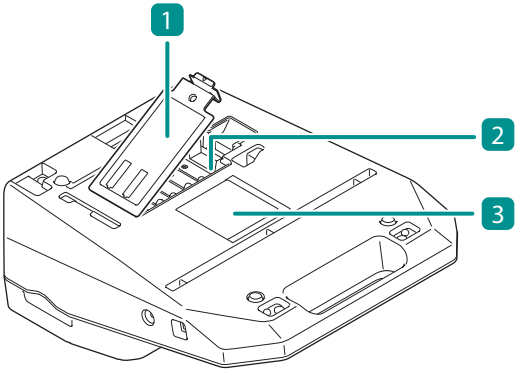
外観

■ 上面



1 キーボード
2 カバー
3 電源キー
4 AC アダプター接続部
5 USB ケーブル接続部
（タイプ B）

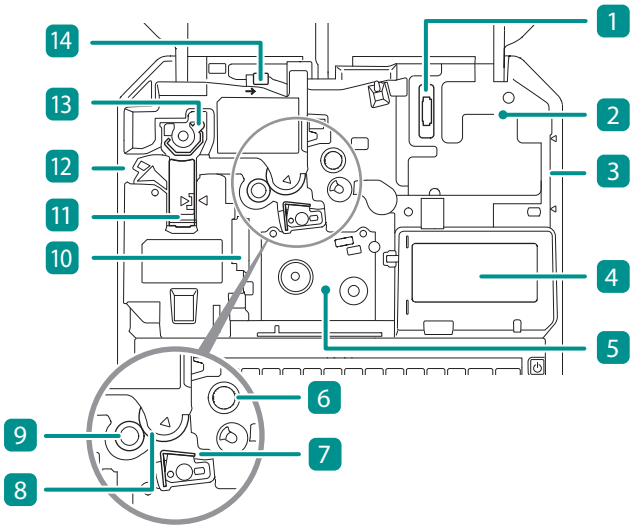
■ 底面



1 電池カバー
2 電池ケース
3 定格銘板 *

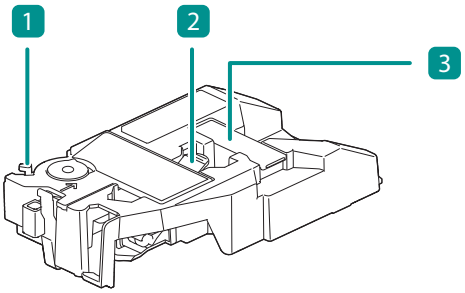
* 定格銘板には、製造者、モデル名、電気定格が記載されています。

内部



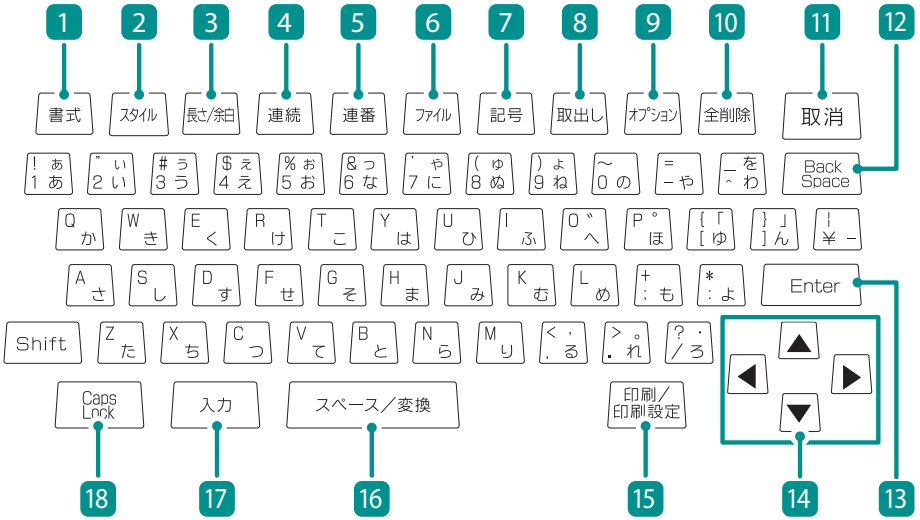
1. チューブウォーマー接続部
2. アタッチメント / 印字媒体カセットセット部
3. 挿入口 (アタッチメント装着時)
4. ディスプレイ
5. リボンカセットセット部
6. 搬送ローラー 1
7. 印字ヘッド
8. 搬送ローラー 2
9. 搬送ローラー 3
10. インクリボン接続部
11. カッター
12. 排出口
13. カッター受け台
14. ジャム解除レバー

チューブアタッチメント



1 サイズ切り替えレバー
2 チューブ押さえレバー
3 クリーナー

キーの名称とはたらき



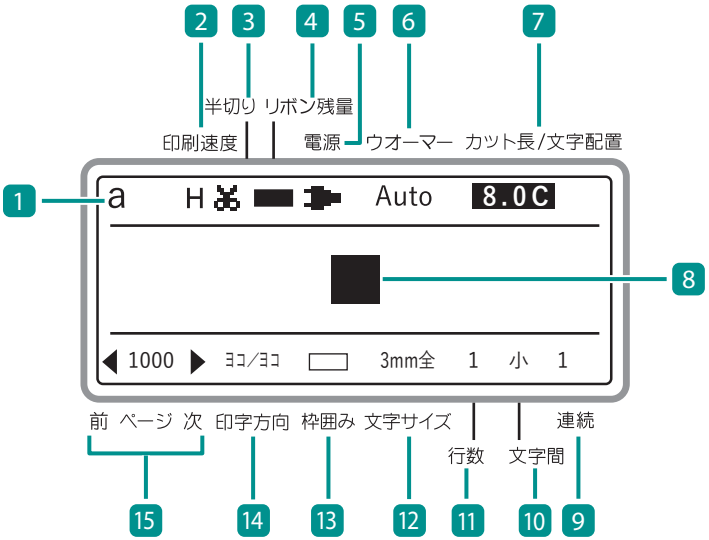
1 [書式] キー	印刷 / 文字入力の向き (→ P.56)、文字に枠 (→ P.55) を設定します。
2 [スタイル] キー	文字サイズ (→ P.52)、行数 (→ P.59)、文字の間隔 (→ P.58) を指定します。
3 [長さ / 余白] キー	チューブ 1 本 (またはラベル 1 枚) の長さ、文字配置、余白を指定します。(→ P.65)
4 [連続] キー	ページの繰り返し印刷を設定します。(→ P.90)
5 [連番] キー	文字に連番を設定します。(→ P.61)
6 [ファイル] キー	データの保存 / 呼び出しを設定します。(→ P.110)
7 [記号] キー	記号の入力または漢字を区点コード入力するときに使用します。(→ P.49) 選択した未確定の記号や漢字は、[Shift] + [Enter] キーで確定させます。
8 [取出し] キー	チューブやラベルテープを本体から取り外すときに使用します。(→ P.27)
9 [オプション] キー	すべての機能を、このキーから設定することができます。(→ P.165)
10 [全削除] キー	入力中の文字や各機能の設定を削除します。(→ P.51)

11 [取消] キー	印刷中に押すと、印刷を中止して印字媒体をカットしたあとに停止します。また、2 秒以上長押しすると、カットをせずに停止します。各機能の操作中はその操作が取り消されます。また、[Shift] を押しながらこのキーを押すと、文字入力画面に戻ります。
12 [Back Space] キー	カーソル位置の左側の文字を削除します。(→ P.50)
13 [Enter] キー	未確定の文字の入力や選択した項目を確定します。文字の入力を確定した後に押すと、カーソル位置で改ページします。(→ P.69)
14 [▲][▼][◀][▶]（矢印キー）	カーソルや項目の選択箇所を上下左右に移動します。文字入力画面で [Shift] を押しながらこのキーを押すと、前後のページに移動します。(→ P.37)
15 [印刷] キー	印刷設定画面を表示して表示中のデータを印刷することができます。(→ P.82)
16 スペースキー	スペースを入力します。また、未確定のひらがなの入力を漢字に変換します。(→ P.46)
17 [入力] キー	文字の入力方式を切り替えます。(→ P.37)
18 [Caps Lock] キー	キーを押してから英数字を入力すると大文字になります。(→ P.45)また、未確定のひらがなをカタカナに変換するときにも使用します。(→ P.43)

メモ

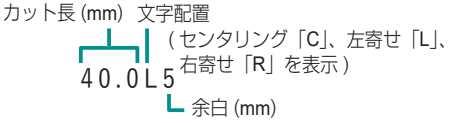
- 本書では、[Shift] を押しながら目的のキーを押す操作を以下のように表記します。
  例：[Shift] + [取消] キー

ディスプレイの見かた



1 文字の入力方式	文字の入力方式の設定を表示します。(→ P.37) a … 英数字 (小文字) A … 英数字 (大文字) R … ローマ字 ひ … かな カ … カタカナ
2 印刷速度	印刷速度の設定を表示します。(→ P.98) H … 高速 L … 低速
3 半切り	チューブやラベルテープの間に切り込みを入れる設定を以下のマークで表示します。(→ P.99) … 半切りします。 … 半切りしません。カットラインが実線で印刷されます。 … 半切りしません。カットラインが点線で印刷されます。 (表示なし) … 半切りしなく、カットラインも印刷されません。

4 リボン残量	インクリボンの残量をマークで表示します。 ■（残量あり） ⋮ ▭（残量小 / なし） … 残量 10%ごとに表示が変化します。残量が少なくなったときは、新しいリボンカセットをご用意ください。 （表示なし） … リボンカセットがセットされていない、または情報が読み取れません。
5 電源	使用している電源を以下のマークで表示します。 （→ P.12） … ＡＣアダプターを使用しています。 （残量あり） ⋮ （残量なし） … 電池を使用しており、電池の残量をマークで表示します。 （十分に充電されていない電池をセットすると、残量を正しく表示できない場合があります。）
6 ウォーマー	チューブウォーマー（オプション）の設定を表示します。 （→ P.31） Auto … 印刷時のみ、チューブを温めます。印刷を実行すると、設定温度までチューブを温めたあと印刷を開始します。 RDY … 印刷時以外もチューブを温めます。印刷を実行すると、すぐに印刷を開始します。設定温度の調整時は「WAI」が表示されます。 OFF … チューブウォーマーの設定を無効にします。 （表示なし）… チューブウォーマーはセットされていません。

7 カット長 / 文字配置 / 余白表示	現在のページのチューブ 1 本 (またはラベル 1 枚) の長さ (カット長)、文字配置、余白量の設定を表示します。 • **カット長「自動」の場合** (設定値が反転表示されます)  • **カット長「指定」の場合** 
8 カーソル	■で示す位置に文字が入力されます。(→ P.37)
9 連続	現在のページの繰り返し印刷回数を表示します。(→ P.90)
10 文字間	現在のページの文字間隔の設定を表示します。(→ P.58)
11 行数	現在のページの行数の設定を表示します。(→ P.59)
12 文字サイズ	現在のページの文字サイズの設定を表示します。(→ P.52)
13 枠囲み	現在のページの枠の設定を表示します。(→ P.55)
14 印刷方向	現在のページの印刷の向きと文字の方向の設定を表示します。(→ P.56)
15 ページ	現在のページのページ番号を表示します。 「◀」「▶」は現在のページの前後にページがある場合に表示されます。(→ P.39)

メモ

- 本製品では、チューブ 1 本 (またはラベル 1 枚) に印刷する文字列を 1 ページに作成します。[Enter] キーを押すと新しいページが作成されます。(改ページ)
  ページの操作および編集について詳しくは、「ページの作成と編集 (P.69)」を参照してください。

Chapter 1

準備／セット方法

電源の準備 12
AC アダプターを使用する 12
電池を入れて使用する 13
電源を入れる / 切る 15
電源を入れる 15
電源を切る 17
リボンカセットをセットする 18
印字媒体をセットする 21
チューブをセットする 12
ラベルテープカセットをセットする 25
印字媒体を交換する 27
チューブウォーマー（オプション）を使用する 31
チューブウォーマーにチューブをセットする 31
チューブウォーマーの制御設定を変更する 34
チューブウォーマーの温度設定を変更する 35

電源の準備

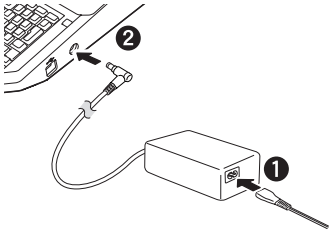
AC アダプターを使用する

同梱の AC アダプターと電源コードを使用します。

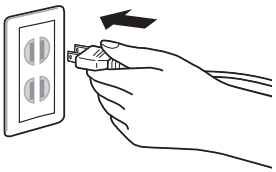
⚠ 注意

- 必ず同梱の AC アダプター、電源コードをご使用ください。

1 電源コードと AC アダプターを接続して、AC アダプターのプラグを本体に差し込む



2 電源プラグをコンセントに差し込む



重要

- AC アダプターのジャック部の不具合、破損は修理ができません。本製品をご購入の販売店にて AC アダプターをお買い求めください。

電池を入れて使用する

屋外など、電源が取れない場所では電池を使って使用することができます。

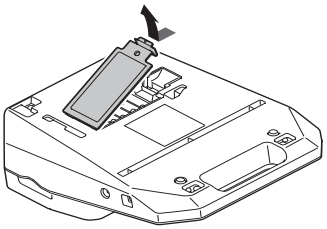
⚠注意

- 必ず、満充電にした「エネループ（eneloop）単3形スタンダードモデル」（品番：BK-3MCC）を使用してください。それ以外の電池は使用しないでください。火災、故障やけがの原因となることがあります。
- 本製品にエネループ（eneloop）の充電機能はありません。充電には必ずエネループ（eneloop）の充電に対応したパナソニック製充電器をご使用ください。

1 単3形充電池「eneloop（エネループ）スタンダードモデル」（品番：BK-3MCC）6本を用意する（別売り）

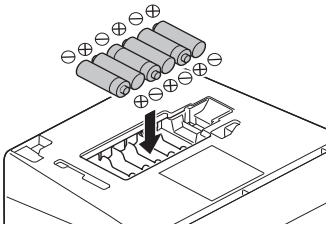
2 電源が切れていることを確認する

3 電池カバーを外す



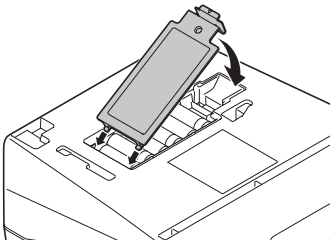
4 電池を入れる

- 電池の向き⊕⊖に注意してセットします。



5 電池カバーを取り付ける

- 電池カバーと本体の間にすきまができないよう「カチッ」と音がするまで押し込んで、完全に閉めてください。



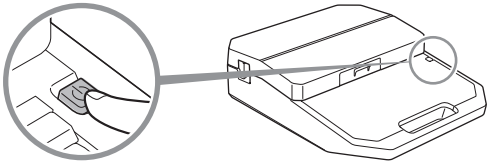
重要

- 本製品に電池と AC アダプターがセットされている場合は、AC アダプターを優先して電源供給されます。ただし、電池を消耗するため、AC アダプターを使用する場合は電池を取り外して使用することをおすすめします。
- 本製品に電池と AC アダプターがセットされている場合は、印刷中に AC アダプターを抜かないでください。正常に印刷できません。
- 電池を使用して印刷した場合、印刷中に AC アダプターを接続しても印刷が終了するまで電源供給は切り替わりません。
- AC アダプターから電池に電源を切り替えた直後は、電池の残量を正しく表示できません。印刷を開始すると、残量が更新されます。
- チューブウォーマー（オプション）を使用するときや、大きな文字（文字サイズ 6 mm）を印刷するときは、電池を早く消耗します。このような場合は、AC アダプターの使用をおすすめします。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

1 電源キーを 1 秒以上長押しする

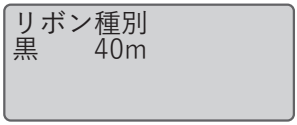


- 電源が入ると、起動画面→リボンカセット情報画面→文字入力画面の順に表示されます。
- リボンカセットをセットせずに電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

（起動画面）



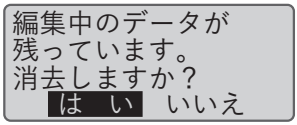
（リボンカセット情報画面）



（文字入力画面）



- 前回電源を切ったとき（または自動的に切れたとき）に表示していたデータがある場合は、データの消去を確認する画面が表示されます。［はい］をクリックすると、データが消去された状態で文字入力画面が表示されます。



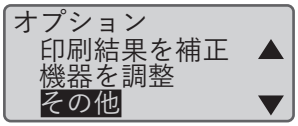
メモ

- 起動時消去確認メッセージを非表示にする

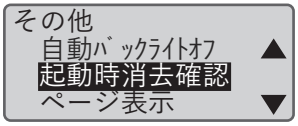
  データの消去を確認する画面を、起動時に表示しないように設定することができます。「確認しない」に設定すると、編集中のデータを残した状態で起動します。

1 [オプション] キーを押す

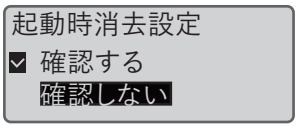
2 [▲] または [▼] で「その他」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「起動時消去確認」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「確認しない」を選び、[Enter] キーを押す

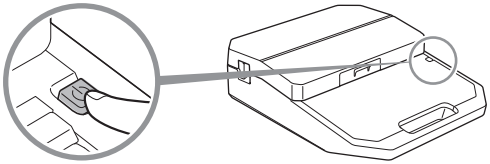


5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

電源を切る

1 電源キーを 1 秒以上長押しする



2 電源プラグをコンセントから抜く

⚠ 注意

- AC アダプターを本製品から取り外すときは、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

重要

- 電源が完全に切れるまで電源プラグを抜かないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は、電源コード、AC アダプター、USB ケーブルおよび電池を本体から取り外してください。

メモ

- 本製品は、印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的に電源を切る機能があります。詳しくは、「自動電源オフの設定を変更する（アダプター / 電池）（P.129）」を参照してください。

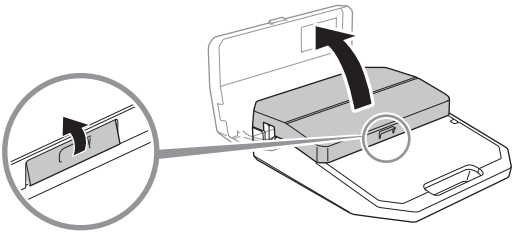
リボンカセットをセットする

重要

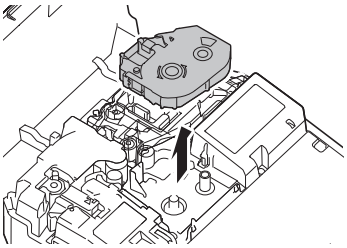
- 本製品で使用できるリボンカセットについては、「消耗品 / オプション一覧 (P.163)」を参照してください。
- 使用済みのリボンカセット (主にプラスチック) は以下に従って処分してください。

  企業でお使いの場合：
  廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合：
  地域の条例に従って処分してください。

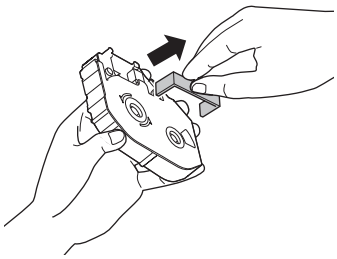
1 カバーを開ける



2 リボンカセットを交換する場合は、セットされているリボンカセットを取り外す

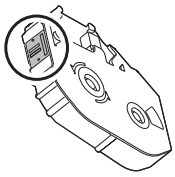


3 新しいリボンカセットの梱包材を取り外す

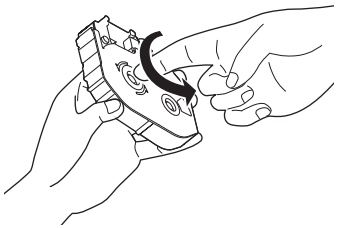


重要

- リボンカセットの IC チップには触れないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。



4 リボンのたるみを取る

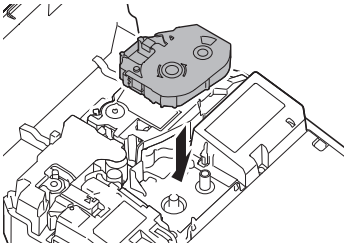


重要

- リボンがたるんでいると正しく動作しないことがあります。

5 リボンカセットを取り付ける

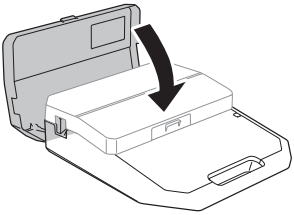
- 真っ直ぐに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと押します。



重要

- リボンカセットが浮いていると正しく動作しないことがあります。

6 カバーを閉める



印字媒体をセットする

チューブをセットする

重要

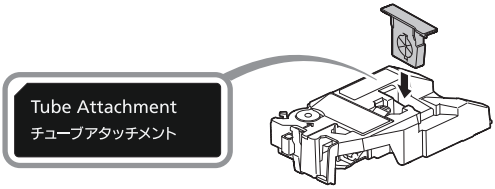
- 以下のようなチューブは使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、故障の原因になることがあります。
  ・折れている　・つぶれている　・ねじれている　・厚みが均等でない
  ・汚れている　・凹凸がある　・濡れている
- 汚れたチューブには印刷できません。汚れやゴミを乾いた布でふき取ってください。また、油などのふき取れない汚れがついたものは使用しないでください。

メモ

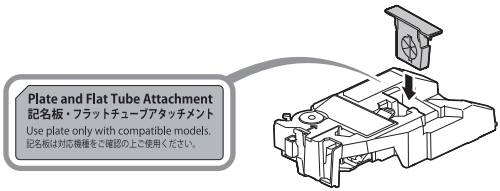
- チューブ（キープチューブを除く）は市販品をお求めください。使用可能なサイズについては、「仕様」の「印字媒体（P.162）」を参照してください。
- セットされている印字媒体を本体から外す手順については、「印字媒体を交換する（P.27）」を参照してください。
- アタッチメントのクリーナーが汚れていると印刷のかすれなどの原因になります。定期的に清掃または交換してください。詳しくは、「クリーナーを清掃 / 交換する（P.124）」を参照してください。

1 アタッチメントを準備する

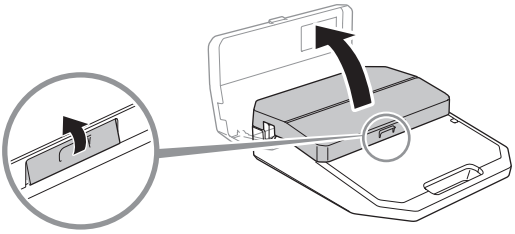
- チューブ（丸形）の場合
  同梱のチューブアタッチメントにクリーナー（青色）を取り付けて使用します。



- フラットチューブ（扁平形）の場合
  フラットチューブアタッチメント（オプション）にクリーナー（青色）を取り付けて使用します。

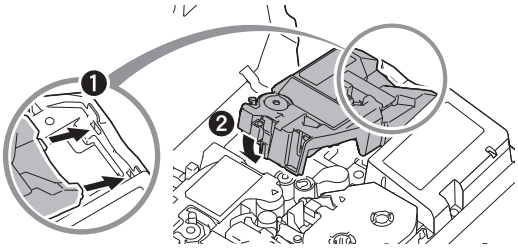


2 カバーを開ける

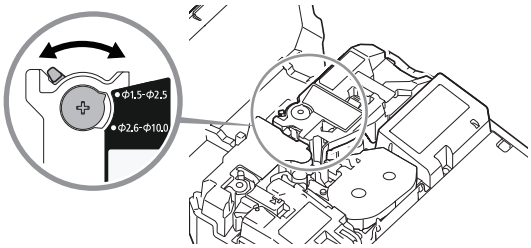


3 アタッチメントをセットする

- アタッチメントの取り付け部分を、本体の差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。



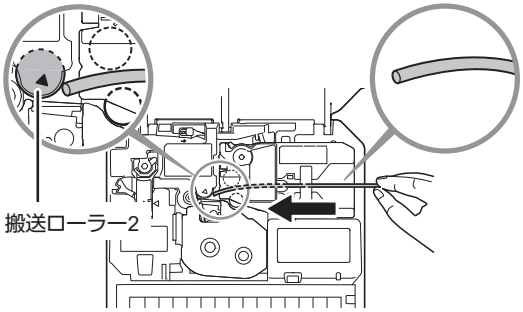
4 サイズ切り替えレバーをチューブのサイズに合わせて設定する



5 チューブをセットする

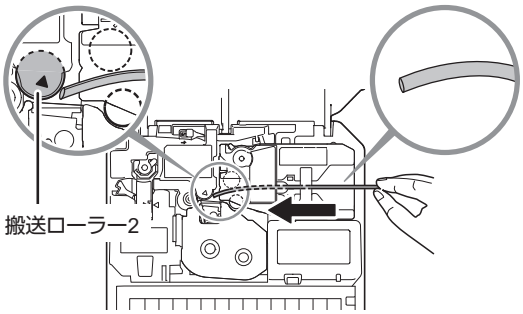
チューブ（丸形）の場合：

- チューブの先端を、図のような向きで挿入口に差し込み、搬送ローラー 2 に突き当たるまで押し込みます。



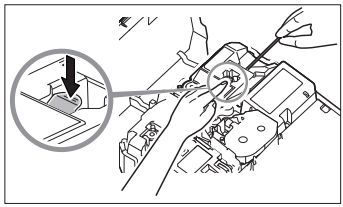
フラットチューブ（扁平形）の場合：

- フラットチューブの先端を、図のような向きで挿入口に差し込み、搬送ローラー 2 に突き当たるまで押し込みます。



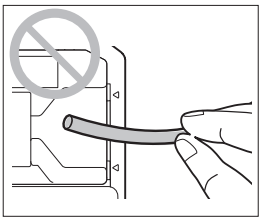
メモ

- チューブをアタッチメント内に通しにくい場合は、チューブ押さえレバーを指で押しながらセットします。



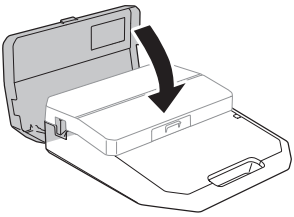
重要

- チューブの先端を図のような方向で差し込むと、印刷中にチューブがつまったり、印刷が欠けたり、カット位置がずれたりすることがあります。



- 巻きぐせなどでチューブの先端が曲がっている場合は、まっすぐになるように直す、またはその部分を切り取ってから本体にセットしてください。
- 印刷中に印字媒体がなくなったり、短くなった印字媒体が本体内部でつまったりすることを防ぐために、十分な長さのチューブをセットしてご使用ください。
- チューブが正しくセットされていない場合、搬送ローラーに印刷してしまうことがあります。

6 カバーを閉める



ラベルテープカセットをセットする

重要

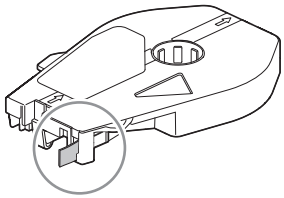
- 使用済みのラベルテープカセット（主にプラスチック）は以下に従って処分してください。
  企業でお使いの場合：
  廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合：
  地域の条例に従って処分してください。

メモ

- セットされている印字媒体を本体から外す手順については、「印字媒体を交換する（P.27）」を参照してください。

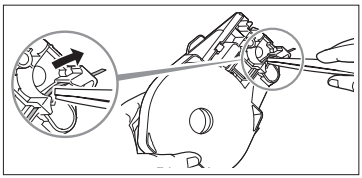
1 カセットの状態を確認する

- はく離紙が浮いている部分や先端がそろっていない部分はカットしてください。
- 図のようにテープの先端を 5mm ～ 7mm 程度引き出してください。

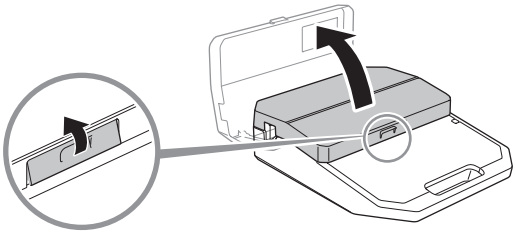


メモ

- ラベルテープなどがカセットの中に入ってしまった場合は、図のように、ピンセットなどでテープの先端を引き出してください。

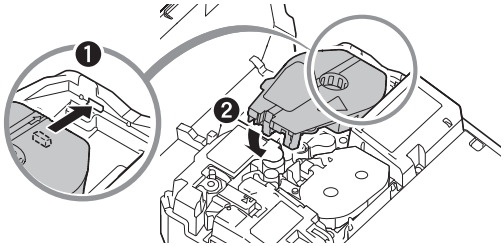


2 カバーを開ける

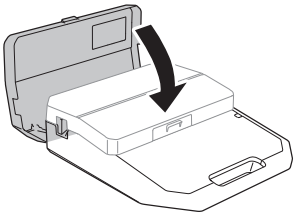


3 カセットをセットする

- カセットの取り付け部分を、本体の差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。



4 カバーを閉める



印字媒体を交換する

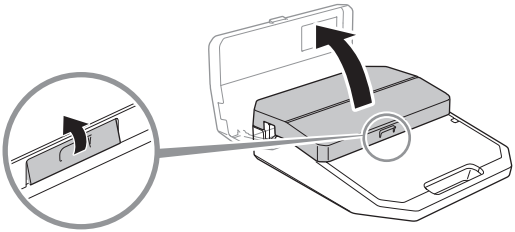
本体にセットされている印字媒体を別のものに交換する場合は、以下の手順で取り外します。

メモ

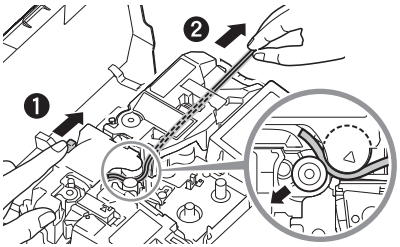
- 本製品で使用できる印字媒体については、「消耗品 / オプション一覧 (P.163)」を参照してください。

■ 細いチューブ (φ 1.5 mm) の場合

1 カバーを開ける



2 図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながらチューブを引き抜く



3 印字媒体をセットする (→ P.21)

■ その他の印字媒体の場合

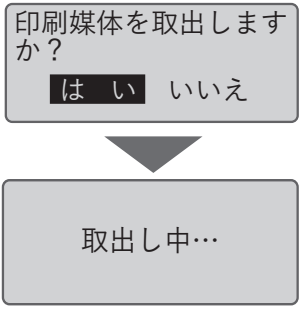
1 電源を入れる (→ P.15)

2 [取出し] キーを押す

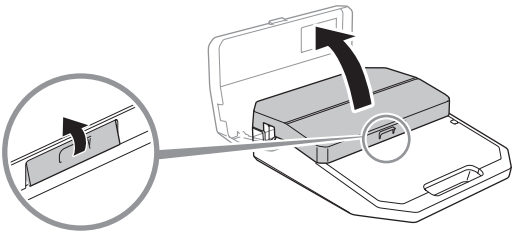
- 確認画面が表示されます。

3 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 印字媒体が逆送りされます。

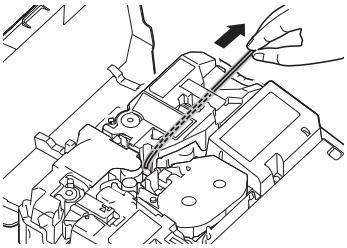


4 カバーを開ける



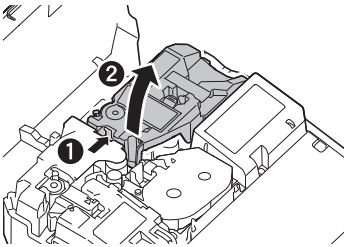
5 （チューブのとき）
チューブを引き抜く

- この操作で、チューブが取り外せなかった場合は、カバーを閉めて、再度［取出し］キーを押してください。

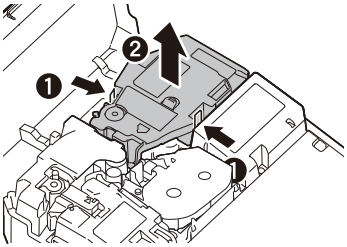


6 アタッチメント（または印字媒体カセット、チューブウォーマー）を取り外す

- アタッチメント、印字媒体カセットの場合
  レバーを右に引きながら上に持ち上げます。



- チューブウォーマーの場合
  レバー 2 箇所を内側に押し込みながら垂直に持ち上げます。



メモ

- カセット類は、テープのたるみを取った状態で保管してください。

7 印字媒体をセットする

- チューブをセットする場合は、「チューブをセットする（P.21）」を参照してください。
- ラベルテープカセットをセットする場合は、「ラベルテープカセットをセットする（P.25）」を参照してください。

重要

- 印字媒体を逆送りすると、リボンカセットのリボンがたるむことがあります。リボンがたるんでいた場合は、リボンカセットを取り外してリボンのたるみを取ってください。（→ P.19）
- 柔らかいチューブの場合、［取出し］キーを使って逆送りするとチューブが傷ついてしまうことがあります。このような場合は、「細いチューブ（φ 1.5 mm）の場合（P.27）」の手順に従ってチューブを取り出してください。

チューブウォーマー（オプション）を使用する

チューブウォーマーは、低温で硬くなったチューブを温めて、印刷や搬送をしやすくするアタッチメントです。

⚠注意

- チューブウォーマーを加温した状態で、チューブをセットしたまま放置しないでください。チューブが過剰に熱せられた場合、火災の原因になることがあります。
- チューブウォーマーのチューブ挿入口およびチューブ排出口に指を入れないでください。やけどの原因となることがあります。

チューブウォーマーにチューブをセットする

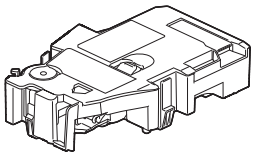
重要

- チューブウォーマーは、以下の種類およびサイズのチューブに使用できます。その他のチューブでは正しく印刷できません。
  種類：チューブ、透明チューブ、キープチューブ
  サイズ：内径φ 1.5 ～φ 6.5 mm
- チューブが温まりすぎると、正しく印刷できない場合があります。チューブをセットしたらできるだけ速やかに印刷してください。
- 以下のようなチューブは使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、故障の原因になることがあります。
  ・折れている　・つぶれている　・ねじれている　・厚みが均等でない
  ・汚れている　・凹凸がある　・濡れている
- 汚れたチューブには印刷できません。汚れやゴミを乾いた布でふき取ってください。また、油などのふき取れない汚れがついたものは使用しないでください。
- チューブウォーマーのクリーナーが汚れていると印刷のかすれなどの原因になります。定期的に清掃または交換してください。詳しくは、「クリーナーを清掃 / 交換する（P.124）」を参照してください。

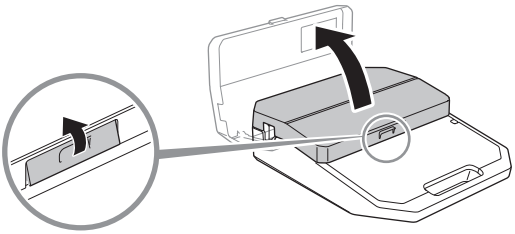
メモ

- セットされているチューブを本体から外す手順およびチューブウォーマーの外しかたについては、「印字媒体を交換する（P.27）」を参照してください。

1 チューブウォーマーを準備する

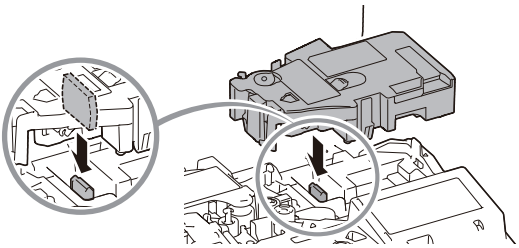


2 カバーを開ける



3 チューブウォーマーをセットする

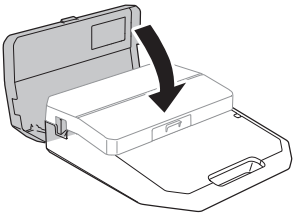
- チューブウォーマーのコネクタを、本体のチューブウォーマー接続部にはめ込み、カチッと音がするまで垂直に押し込みます。



4 サイズ切り替えレバーをチューブのサイズに合わせて設定して、チューブをセットする (→ P.23)

- チューブアタッチメントを使用する場合と同様の方法でチューブをセットしてください。

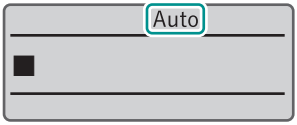
5 カバーを閉める



6 電源を入れる (→ P.15)

7 チューブウォーマーの制御設定を確認する

- 現在のウォーマーの制御設定はディスプレイ上に表示されます。
- ウォーマーの制御設定については、「チューブウォーマーの制御設定を変更する (P.34)」を参照してください。



重要

- チューブウォーマーがセットされていない場合、チューブウォーマーの制御設定は無効となります。
- チューブウォーマーを使っても印刷がかすれるなど正しく印刷できない場合は、ウォーマーの設定温度を変更してください。(→ P.34)

メモ

- 印刷設定の印字媒体で、「 ラベル 」、「 ラップアラウンド 」を選択している場合に「 オン固定 」を選択すると、ディスプレイには「 OFF 」と表示されます。印刷設定の印字媒体を変更するときは、［ 印刷 ］キーを押してください。(→ P.82)

チューブウォーマーの制御設定を変更する

ウォーマーの制御設定を変更することができます。

設定	内容
自動 (Auto)	印刷時のみ、チューブを温めます。印刷を実行すると、設定温度までチューブを温めたあと印刷を開始します。
オン固定 (RDY)	印刷時以外もチューブを温めます。印刷を実行すると、すぐに印刷を開始します。設定温度の調整時は「 WAI 」が表示されます。
オフ固定 (OFF)	チューブウォーマーの設定を無効にします。

【例】印刷をすぐに開始したいため、ウォーマー制御を「オン固定」に設定する。

1 電源を入れる (→ P.15)

2 [オプション] キーを押す

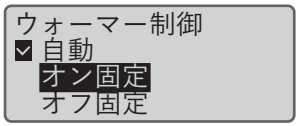
3 [▲] または [▼] で「 ウォーマー」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 ウォーマー制御 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▲] または [▼] で「 オン固定 」を選び、[Enter] キーを押す



チューブウォーマーの温度設定を変更する

チューブウォーマーを使っても印刷がかすれるなど正しく印刷できない場合は、ウォーマーの設定温度を変更します。初期値は「中」に設定されています。

【例】印刷がかすれるため、ウォーマーの温度を「高」に設定する。

1 電源を入れる (→ P.15)

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ウォーマー」を選び、[Enter] キーを押す

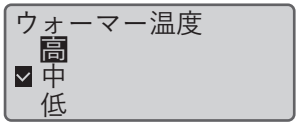


4 [▲] または [▼] で「 ウォーマー温度 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▲] または [▼] で「 高 」を選び、[Enter] キーを押す

- 温度は、「 高 」「 中 」「 低 」の 3 段階で調整します。



メモ

- チューブウォーマーを使って印刷するときは電池を早く消耗させてしまうため、AC アダプターの使用をおすすめします。また、電池の消耗を抑えて印刷したいときは、ウォーマーの温度を「 低 」に設定してください。

Chapter 2

入力／編集

入力の基本操作……37
- 入力の前に……37
- ひらがなを入力する……41
- カタカナを入力する……43
- 英数字を入力する……45
- 漢字を入力する……46
- 記号を入力する……49
- 文字を削除する……50
- 入力した文字をすべて削除する……51

文字と行の編集……52
- 文字サイズを指定する……52
- 文字を枠で囲む……55
- 印刷の向きと文字の方向を指定する……56
- 文字の間隔を指定する……58
- 行数を指定する……59
- 連番を設定する……61
- 6 と 9 に下線をつける……63

カット長の設定……64
- カット長について……64
- カット長と文字配置を指定する……65
- カット長の設定を全ページに設定する……68

ページの作成と編集……69
- 新規ページを作成する……69
- ページをコピーする……70
- ページを移動する……72
- ページを挿入する……74
- ページを削除する……76
- ページを分割する……77
- ページを結合する……79

入力の基本操作

入力の前に

■ 文字の入力方式の切り替え

［入力］キーを押すたびに、「a（英数字入力）→ R（ローマ字入力）→ひ（かな入力）」の順番で文字の入力方式が切り替わります。
また、[Caps Lock] キーを押したあと［入力］キーを操作すると、「A（英数字（大文字）入力）→ R（ローマ字入力）→カ（カタカナ入力）」の順番で文字の入力方式が切り替わります。
現在の入力方式は、ディスプレイで確認できます。

■ カーソルの使いかた

文字を入力する位置を示すマークを「カーソル」と呼びます。
本製品のカーソルの移動は
矢印キー（［▲］［▼］［◀］［▶］）を使います。カーソル移動のキー操作は以下のようになっています。

押すキー	カーソルの移動
[▶]	右方向に 1 文字または次のページに移動
[◀]	左方向に 1 文字または前のページに移動
[▲]	上の行に移動
[▼]	下の行に移動
[Shift] ＋ [▲]	ページ内の先頭に移動
[Shift] ＋ [▼]	ページ内の最後尾に移動
[Shift] ＋ [◀]	前のページの先頭に移動
[Shift] ＋ [▶]	次のページの先頭に移動

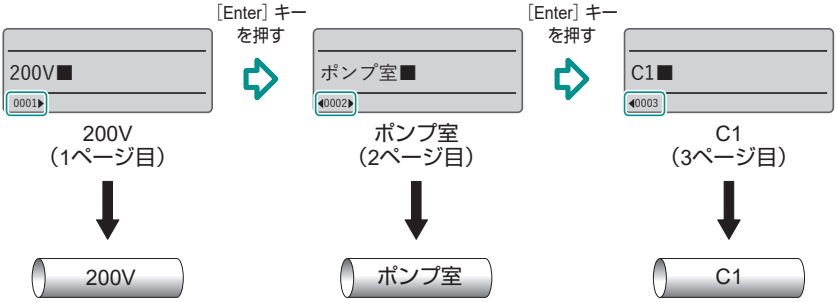
■ キーと入力方式

文字の入力方式によって、[Shift] キーを同時に押したときに入力される文字は異なります。詳しくは次の表を参考にしてください。

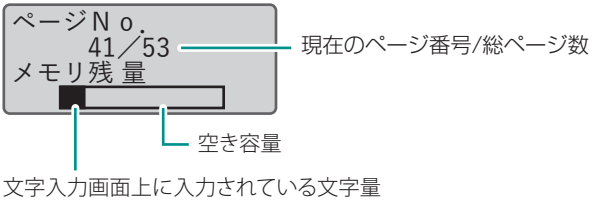
押すキー	入力モード	そのまま入力した場合	[Shift] を押しながら入力した場合
	英数字入力	1	!
	英数字入力 (大文字固定)	1	!
	ローマ字入力	1	!
	ひらがな入力	あ	ぁ
	カタカナ入力	ア	ァ
	英数字入力	8	(
	英数字入力 (大文字固定)	8	(
	ローマ字入力	8	(
	ひらがな入力	ぬ	ゅ
	カタカナ入力	ヌ	ュ
	英数字入力	a	A
	英数字入力 (大文字固定)	A	A
	ローマ字入力	あ	あ
	ひらがな入力	さ	さ
	カタカナ入力	サ	サ
	英数字入力	0	~
	英数字入力 (大文字固定)	0	~
	ローマ字入力	0	~
	ひらがな入力	の	の
	カタカナ入力	ノ	ノ

■ ページについて

本製品では、チューブ 1 本（またはラベル 1 枚）に印刷する文字列をページごとに作成します。［Enter］キーを押すと新しいページが作成されます。（改ページ）



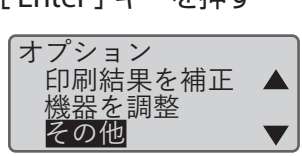
また、「ページ表示」画面では、現在表示しているページの「ページ番号」とそのデータの「総ページ数」を確認できます。また、「メモリ残量」では文字入力画面の空き容量を確認できます。



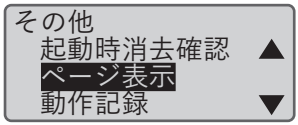
「ページ表示」画面は、以下の手順で表示します。

1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「その他」を選び、［Enter］キーを押す



3 ［▲］または［▼］で「ページ表示」を選び、［Enter］キーを押す



4 [Shift] ＋ [取消] キーを押すと文字入力画面に戻ります。

ひらがなを入力する

ひらがなは、「ローマ字入力モード」または「かな入力モード」に切り替えて入力します。

■ ローマ字入力のとき

【例】「かっしょく」を入力する

1 [入力] キーでローマ字入力モードにする

- ディスプレイに「 R 」を表示します。



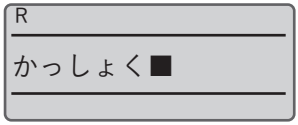
2 「 かっしょく 」と入力する

- [K]、[A]、[S]、[S]、[Y]、[O]、[K]、[U] の順に入力します。
- 画面の上の行に確定された文字、下の段に未確定の文字を表示します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで文字を削除して、正しい文字を入力します。(→ P.50)



3 [Enter] キーを押す

- 「 かっしょく 」が入力されます。



メモ

- ローマ字の入力は、「 ローマ字 / かな入力表 (P.167) 」を参照してください。

■ かな入力のとき

【例】「かっしょく」を入力する

1 [入力] キーでかな入力モードにする

- ディスプレイに「ひ」を表示します。
- 「A → R →カ」と表示される場合は [Caps Lock] キーを押してから操作してください。



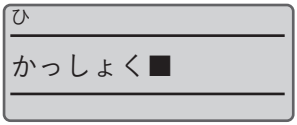
2 「かっしょく」と入力する

- [か]、[Shift] + [っ]、[し]、[Shift] + [ょ]、[く] の順番に入力します。
- 画面の上の行に確定された文字、下の段に未確定の文字を表示します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで文字を削除して、正しい文字を入力します。(→ P.50)



3 [Enter] キーを押す

- 「かっしょく」が入力されます。



カタカナを入力する

カタカナは、「ローマ字入力モード」、「かな入力モード」または「カタカナ入力モード」に切り替えて入力します。

■ ローマ字入力 / かな入力のとき

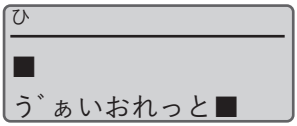
メモ

- ローマ字入力、かな入力について詳しくは、「ひらがなを入力する (P.41)」を参照してください。

【例】「ヴァイオレット」を入力する

1 「 う゛ぁいおれっと 」と入力する

- 画面の上の行に確定された文字、下の段に未確定の文字を表示します。



2 [Caps Lock] キーを押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



3 [Enter] キーを押す

- 「 ヴァイオレット 」が入力されます。



■ カタカナ入力のとき

【例】「ヴァイオレット」を入力する

1 [入力] キーでかな入力モードにする

- ディスプレイに「ひ」を表示します。



2 [Caps Lock] キーでカタカナ入力モードにする

- ディスプレイに「カ」を表示します。



3 「ヴぁいおれっと」と入力する

- [う]、[゛]、[Shift] + [あ]、[い]、[お]、[れ]、[Shift] + [つ]、[と] の順番に入力します。
- 画面の上の行に確定された文字、下の段に未確定の文字を表示します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで文字を削除して、正しい文字を入力します。(→ P.50)



4 [Enter] キーを押す

- 「ヴァイオレット」が入力されます。



メモ

- 入力モードを「a (英数字入力モード) → R (ローマ字入力モード) →ひ (かな入力モード)」に戻す場合はもう一度 [Caps Lock] キーを押します。

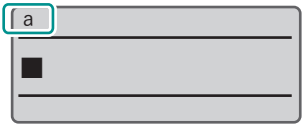
英数字を入力する

英数字は、「英数字入力モード」に切り替えて入力します。

【例】「Res7 ー 1」を入力する

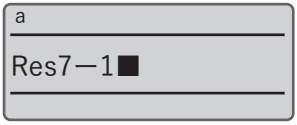
1 [入力] キーで英数字入力モードにする

- ディスプレイに「 a 」を表示します。
- 「 A → R →カ 」と表示される場合は [Caps Lock] キーを押してから操作してください。



2 「 Res7 ー 1 」と入力する

- [Shift] + [R]、[E]、[S]、[7]、[ー]、[1] の順に入力します。
- 大文文字を入力するときは、[Shift] を押しながら目的のキーを押します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで文字を削除して、正しい文字を入力します。(→ P.50)



メモ

- 英数字入力モードのときに、[Caps Lock] キーを押すと、「 A (英数字 (大文字) 入力モード)」に切り替わります。元に戻す場合はもう一度 [Caps Lock] キーを押します。

漢字を入力する

漢字は、「ローマ字入力モード」、「かな入力モード」に切り替えて入力します。また、読み方のわからない漢字やキーボードで変換できない漢字は、「区点コード入力」を使って入力します。

メモ

- 文字サイズが「1.3mm 全角」、「2mm 半角」、「2mm 全角」に設定されている場合、漢字は入力できません。

■ ローマ字入力 / かな入力のとき

メモ

- ローマ字入力、かな入力について詳しくは、「ひらがなを入力する（P.41）」を参照してください。

【例】「回線」を入力する

1 「かいせん」と入力する



2 スペースキーを押す

- 「かいせん」の漢字候補が表示されます。
- 画面の上の行に確定された文字、下の段に漢字候補を表示します。
- 変換を中止するときは、［取消］キーを押します。



3 ［◀］または［▶］で「回線」を選ぶ



4 [Enter] キーを押す

- 「 回線 」が入力されます。

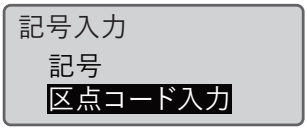


■ 区点コード入力のとき

【例】「塑性」を入力する

1 [記号] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 区点コード入力 」を選び、[Enter] キーを押す



3 本書の「 区点コード表 (P.170)」を使って、「 塑 」の区点コードを調べる

- 「 塑 」の区点コード：3326

4 「 3326 」(区点コード) を入力する

- 「 3326 」と入力します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで数字を削除して、正しい数字を入力します。(→ P.50)



5 [Enter] キーを押す

- ▶▶で示す位置に「塑」が表示されます。
- ▶▶で示す位置に表示された文字を削除するときは、[Shift] を押しながら [Back Space] キーを押します。また、[Shift] を押しながら [◀] または [▶] を押すとカーソルを動かすことができます。



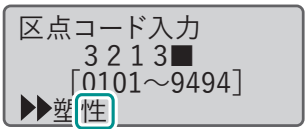
6 手順 3 ～ 5 と同じ手順で「性」を入力する

- 「性」の区点コード：3213



7 [Shift] + [Enter] キーを押す

- 「塑性」が入力されます。



記号を入力する

キーボードで入力できない記号は、「記号入力」を使って入力します。

【例】「→」を入力する

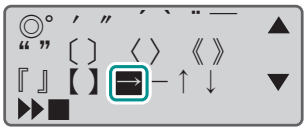
1 [記号] キーを押す

2 「 記号 」を選び、[Enter] キーを押す



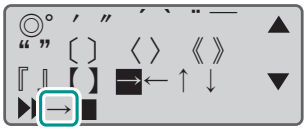
3 矢印キー（[▲] [▼] [◀] [▶]）で記号の一覧から「→」を選ぶ

- 記号の画面は4つのグループ分れています。グループを切り替えるときは [Shift] + [▶]（または [◀]）を押します。
- 入力できる記号は、「記号一覧表（P.169）」を参照してください。



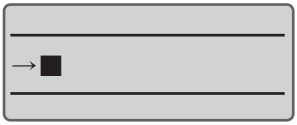
4 [Enter] キーを押す

- ▶▶で示す位置に「→」が表示されます。
- ▶▶で示す位置に表示された文字を削除するときは、[Shift] を押しながら [Back Space] キーを押します。また、[Shift] を押しながら [◀] または [▶] を押すとカーソルを動かすことができます。



5 [Shift] + [Enter] キーを押す

- 「→」が入力されます。

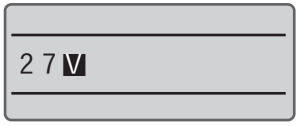


文字を削除する

文字を削除する場合は [Back Space] キーを使います。

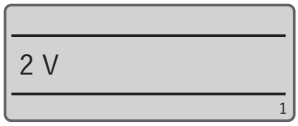
【例】「27V」を「2V」に変更する

1 「V」に■（カーソル）を移動する



2 [Back Space] キーを押す

- カーソル位置の左側にある文字が削除されます。



入力した文字をすべて削除する

入力した文字を全ページ削除します。（全削除）
全削除では次のいずれかを選択します。

文字のみ：

最終ページの書式設定を残して、全ページの文字を削除します。

文字＋設定：

文字サイズなどの書式設定を初期値に戻し、全ページの文字を削除します。

メモ

- **書式設定について**

  「文字＋設定」では、書式設定が初期値に戻ります。本製品の書式設定とは次のような機能の設定を示します。

機能名	初期値
文字サイズ	3mm 全角
枠囲み	なし
カット長	自動
文字配置	センタリング

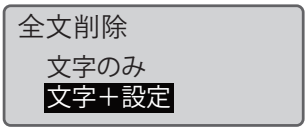
機能名	初期値
行数	1 行
印刷方向	横向き／横書き
連続印刷	解除（1 回）
文字間	標準

【例】入力した文字を全ページ削除して、文字サイズなどの書式設定を初期値に戻す。

1 [全削除] キーを押す

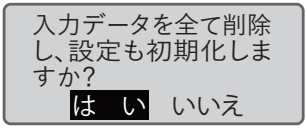
2 [▼] で「文字＋設定」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



3 [◀] または [▶] で「はい」を選び、[Enter] キーを押す

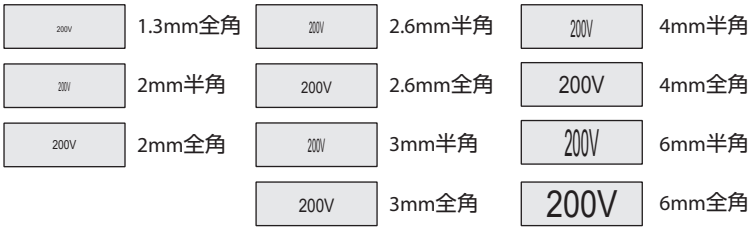
- 文字入力画面に戻ります。



文字と行の編集

文字サイズを指定する

文字サイズを指定します。文字サイズは以下より選択でき、初期値は「3 mm全角」に設定されています。



【例】文字サイズを「3mm 半角」にする

1 文字サイズを変更するページを表示する

2 [スタイル] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 文字サイズ 」を選び、[Enter] キーを押す



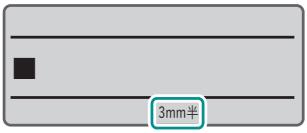
4 [▲] または [▼] で「 3mm 半角 」を選ぶ

- 選択できない文字サイズの横には「 × 」が表示されます。



5 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 文字サイズの設定はディスプレイ上で確認できます。
- 「 半角 」を選択したときは表示が半角になります。



メモ

- 文字サイズはページごとに設定することができます。
- データに漢字があるときは、「 1.3 mm全角 」、「 2mm 全角 」および「 2mm 半角 」の文字サイズを選択できません。
- 半角の文字を選択した場合でも、漢字や記号は全角で印刷されます。
- 行数、カット長の設定や印刷媒体のサイズによっては、選択できない文字サイズがあります。
- 印刷データが印字媒体の幅 (上下) をはみ出してもエラーメッセージは表示されません。以下を参考に文字サイズや枠を設定してください。

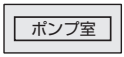
最大印刷可能文字サイズ

印字媒体		最大印刷可能文字サイズ	
種類	サイズ (mm)	枠なし (mm)	枠あり (mm)
チューブ 透明チューブ 熱収縮チューブ	1.5	1.3	×（印刷不可）
	2.5	2.6	1.3
	3	3	2.6
	4	4	4
	5	6	4
	6	6	6
	6.5	6	6
	7	6	6
	8	6	6
	9	6	6
	10	6	6
キープチューブ	3	3	2.6
	3.2	3	2.6
	3.4	3	2.6
	3.6	3	2.6
	3.8	3	2.6
	4.2	4	4
	5.5	6	4

フラットチューブ	1.5	1.3	×（印刷不可）
	2.5	1.3	1.3
	3	4	2.6
	4	4	3
	5	6	4
	6	6	6
	6.5	6	6
ラベル	6	3	2
	9	6	4
	12	6	6

文字を枠で囲む

文字列を枠で囲むことができます。初期値は「なし」に設定されています。



【例】文字を枠で囲む

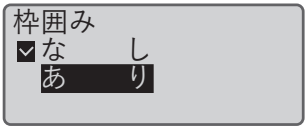
1 枠の設定を変更するページを表示する

2 [書式] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 枠囲み 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 あり 」を選ぶ



5 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 枠の形の設定はディスプレイ上で確認できます。



メモ

- 枠囲みはページごとに設定することができます。
- カット長を指定しているとき、枠囲みを設定できない場合があります。
- 行数、文字サイズ、カット長などの設定や印刷媒体のサイズによっては、枠が正しく印刷されない場合があります。
- 印刷データが印字媒体の幅 (上下) をはみ出してもエラーメッセージは表示されません。「 最大印刷可能文字サイズ (P.53) 」を参考に文字サイズや枠を設定してください。

印刷の向きと文字の方向を指定する

印刷の向き（縦向き / 横向き）と文字の方向（縦書き / 横書き）は、「印刷方向」で指定します。初期値は「横向き / 横書き」に設定されています。

設定	内容	印刷イメージ
横向き / 横書き（ 初期値 ）	印刷の向き：横向き 文字の方向：横書き	
縦向き / 縦書き	印刷の向き：縦向き 文字の方向：縦書き	

【例】「縦向き / 縦書き」にする

1 印刷方向を変更するページを表示する

2 [書式] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 印刷方向 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [◀] または [▶] で「 ページ 」を選ぶ

- この画面で「 一括 」を選択すると、すべてのページの印刷方向を変更します。



5 [▲] または [▼] で「 縦向き / 縦書き 」を選ぶ



6 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 印刷方向の設定はディスプレイ上で確認できます。



メモ

- 印刷方向はページごとに設定することができます。
- 印刷方向を変更した場合、ページ内に収まらない文字があった場合は確認のメッセージが表示されます。変更を中止する場合は「いいえ」を選んでください。

文字の間隔を指定する

文字の間隔を指定します。初期値は「小（標準）」に設定されています。

設定	内容	印刷イメージ
小（標準）（初期値）	文字の間隔なし	ポンプ室
中（やや広い）	文字の間隔 0.5 mm	ポンプ室
大（広い）	文字の間隔 1.0 mm	ポンプ室

【例】文字の間隔を「大（広い）」にする

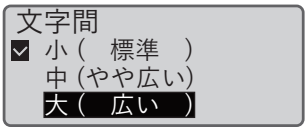
1 文字の間隔を変更するページを表示する

2 [スタイル] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 文字間 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 大（広い）」を選ぶ



5 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 文字間の設定はディスプレイ上で確認できます。



メモ

- 文字間はページごとに設定することができます。
- カット長を指定している場合、文字間を変更できないことがあります。

行数を指定する

行数を指定します。初期値は「1 行」に設定されています。

設定	内容	印刷イメージ
1 行（初期値）	1 行で入力	12V
2 行	2 行で入力	12V 24V

【例】2 行で入力する

1 行数を変更するページを表示する

2 [スタイル] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 行数 」を選び、[Enter] キーを押す



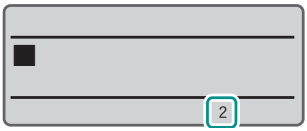
4 [▲] または [▼] で「 2 行 」を選ぶ

- 選択できない行数の横には「 × 」が表示されます。



5 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります
- 行数の設定はディスプレイ上で確認できます。
- 各行への移動は矢印キー（ [▲] [▼] [◀] [▶]）を使います。



メモ

- 行数はページごとに設定することができます。
- 文字を入力した後に 2 行から 1 行に行数を変更したい場合は、2 行目の文字を削除してから行数の設定を変更してください。
- 選択している文字サイズによっては、「 2 行 」が選択できないことがあります。
- 印刷データが印字媒体の幅 (上下) をはみ出してもエラーメッセージは表示されません。プレビューを参考に、文字が欠けていないことを確認してから印刷することをおすすめします。(→ P.87)

連番を設定する

固定の文字列に連続した番号やアルファベットを振って印刷することができます。設定できる連番は以下のとおりです。

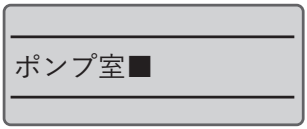
設定	設定範囲	印刷イメージ
10 進数	0 ～ 999	ポンプ室1 ポンプ室2 ポンプ室3
16 進数	0 ～ FFF	ポンプ室09 ポンプ室0A ポンプ室0B
大文字アルファベット	A～Z	ポンプ室A ポンプ室B ポンプ室C
小文字アルファベット	a～z	ポンプ室a ポンプ室b ポンプ室c

【例】「ポンプ室」の末尾に 1~10 の連番を設定する

ポンプ室1 ポンプ室2 ポンプ室3 …… ポンプ室10

1 「ポンプ室」と入力する

- カーソルは、連番を入力したい位置に移動します。



2 [連番] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「10 進」(10 進数) を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「開始値」を選び、「1」を入力する



5 [▲] または [▼] で「 終了値 」を選び、「 10 」を入力する



6 [Enter] キーを押す

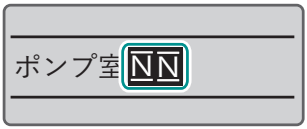
- 桁合わせの設定画面になります。

7 [▲] または [▼] で「 しない 」を選ぶ



8 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。「 ポンプ室 」の後ろに、連番の制御文字（ N ）が入力されます。
- 印刷を実行すると、「 ポンプ室 1 」～「 ポンプ室 10 」が印刷されます。



メモ

- 連番は 1 ページに 1 カ所のみ設定できます。
- 連番の設定を解除したいときは、[Back Space] キーで連番の制御文字（ N ）を削除します。
- 「 10 ～ 1 」のように降順で連番を設定したいときは、「 開始値 」に「 10 」、「 終了値 」に「 1 」を入力します。
- 桁合わせの設定は以下のとおりです。

設定	内容	印刷イメージ
しない	桁合わせをしません。	ポンプ室8　ポンプ室9　ポンプ室10
ゼロ	「 0 」を入力して桁合わせをします。	ポンプ室08　ポンプ室09　ポンプ室10
空白	空白を入力して桁合わせをします。	ポンプ室 8　ポンプ室 9　ポンプ室10

- 連番の桁数がすべて同じ場合や連番にアルファベットを選んだ場合、桁合わせの設定画面は表示されません。

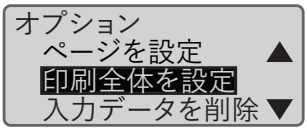
6と9に下線をつける

数字の6と9を区別するために、下線をつけることができます。初期値は「なし」に設定されています。

16　29　96

1 [オプション]キーを押す

2 [▲]または[▼]で「印刷全体を設定」を選び、[Enter]キーを押す



3 [▲]または[▼]で「6、9下線」を選び、[Enter]キーを押す



4 [▲]または[▼]で「あり」を選び、[Enter]キーを押す

- 印刷を実行すると、数字の6と9に下線がついた状態で印刷されます。



5 [Shift]+[取消]キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

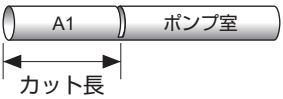
メモ

- 本機能の設定は、すべてのページに反映されます。ページごとに設定を変更することはできません。

カット長の設定

カット長について

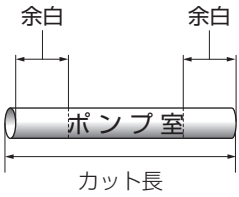
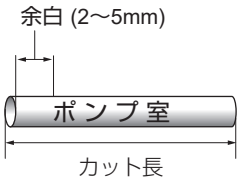
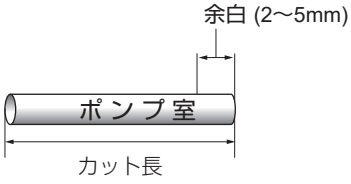
チューブ 1 本（またはラベル 1 枚）の長さを「カット長」と呼びます。初期値は「自動」に設定されています。



設定	内容	印刷イメージ
自動 （初期値）	入力した文字数、文字の大きさ、および文字の間隔から最適なカット長を自動的に設定して印刷します。文字配置は中央（センタリング）、余白は左 2 mm、右 2mm となります。	
指定	カット長を指定して印刷します。カット長を「指定」に設定すると、文字配置（余白の指定）を設定することができます。	例）文字配置「左寄せ」 

カット長と文字配置を指定する

カット長と文字配置を指定します。カット長を「指定」に設定すると、文字配置を変更できます。文字配置の初期値は「センタリング」に設定されています。

設定	内容	印刷イメージ
センタリング（初期値）	文字を中央に配置します。	
左寄せ	文字を左端（文字列開始方向）に配置します。余白は 2 ～ 5mm の範囲で設定できます。	
右寄せ	文字を右端（文字列終了方向）に配置します。余白は 2 ～ 5mm の範囲で設定できます。	

メモ

- 「センタリング」を設定して、カット長の最大文字数をいれたときの最小余白は左右合計 0.7 mmとなります。

【例】次のようなチューブを作成する



1 [長さ / 余白] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 カット長 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 指定 」を選び、「 40.0 」(カット長) を入力したあと、[Enter] キーを押す

- 数値は、数字の入力または矢印キー ([◀] / [▶]) にて設定します。
- カット長は 8 mm ～ 150 mm (ラベル : 4 mm ～ 150 mm) の範囲を 0.1 mm単位で入力できます。
- [Enter] キーを押すと、文字入力画面に戻ります。



4 [長さ / 余白] キーを押す

5 [▲] または [▼] で「 文字配置 」を選び、[Enter] キーを押す



6 [▲] または [▼] で「 左寄せ 」を選び、「 5 」(余白) を入力する

- 数値は、数字の入力または矢印キー ([◀] / [▶]) にて設定します。



7 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。文字を入力します。
- カット長と文字配置はディスプレイ上で確認できます。



メモ

- カット長、文字配置はページごとに設定することができます。
- 文字サイズによっては、指定できないカット長があります。
- 全ページのカット長を変更したい場合は、「 カット長一括設定 」を使います。(→ P.68)
  カット長一括設定では、「 カット長 」、および「 文字配置 」の設定がすべてのページに反映されます。
- 印刷開始位置から約 60mm は、指定したカット長と印刷結果にわずかな違いが生じることがあります。
- お使いの印字媒体や環境によって、カット長や余白が設定と異なることがあります。カット長や余白を設定しても思ったような結果が得られない場合は、カット長や印刷位置を微調整してください。カット長や印刷位置の微調整について詳しくは、「 印刷位置やカット長を微調整する (P.91)」を参照してください。
- 印字媒体がラベルの場合、カット長が「 8.0 mm未満 」のときは文字配置が「 センタリング 」となり、設定を変更できません。

カット長の設定を全ページに設定する

カット長の設定（カット長、および文字配置）を、全ページに一括で設定します。

1 [長さ / 余白] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 一括設定 」を選び、[Enter] キーを押す

- カット長の設定画面が表示されます。



3 [▲] または [▼] で「 指定 」を選び、カット長を入力したあと、[Enter] キーを押す

- 数値は、数字の入力または矢印キー（ [◀] / [▶] ）にて設定します。
- [Enter] キーを押すと、文字配置の設定画面が表示されます。



4 [▲] または [▼] で設定を選び、[Enter] キーを押す

- 「 左寄せ 」または「 右寄せ 」を選んだときは、余白を設定します。（ → P.67 ）



メモ

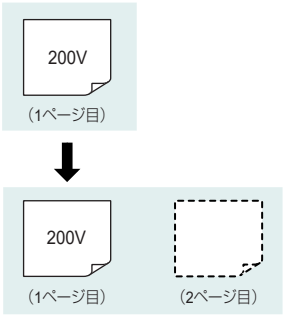
- 一括設定の変更によってカット長を超えるデータがある場合は、超えた分のデータが削除されるため確認のメッセージが表示されます。中止する場合は、「 いいえ 」を選びます。
- 一括設定により文字が入力できなくなった場合は、そのページのカット長を「 自動 」に設定するか、文字サイズを変更してください。

ページの作成と編集

新規ページを作成する

新しいページを作成するときは「改ページ」を行います。

【例】現在表示しているページの後に、新規ページを作成する

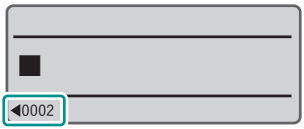


1 行の最後にカーソルを移動する



2 [Enter] キーを押す

- 改ページが行われて、新規ページが作成されます。
- 現在表示しているページのページ番号はディスプレイで確認できます。また、ページ番号の前後の矢印（◀ / ▶）は、表示中のページの前または後ろにページがあることを示しています。



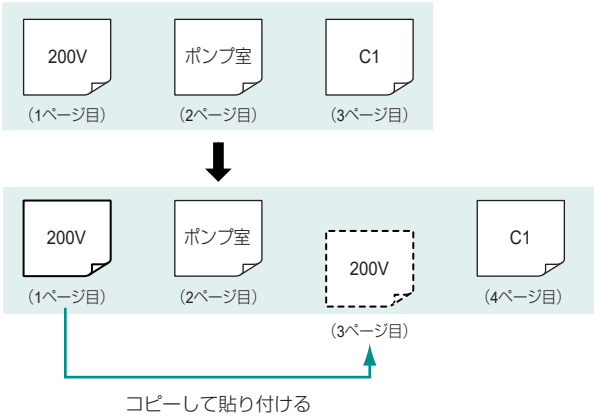
メモ

- 新しいページの書式設定は、前のページと同じ設定値になります。書式設定については、「書式設定について（P.51）」を参照してください。

ページをコピーする

文字を入力したページをコピーして、他のページの前後に貼り付けます。

【例】1 ページ目をコピーして、2 ページ目の後に貼り付ける



1 コピーするページ (1 ページ目) を表示する

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す



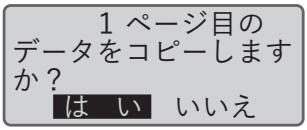
4 [▲] または [▼] で「 コピー」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



5 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 1 ページ目がコピーされて、文字入力画面に戻ります。



6 [オプション] キーを押す

7 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す

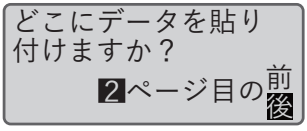


8 [▲] または [▼] で「 ペースト 」を選び、[Enter] キーを押す

- 貼り付け場所の確認画面が表示されます。

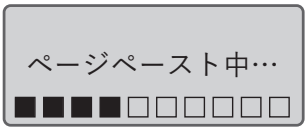


9 [◀] または [▶] で「 2 」(ページ) を入力して、[▲] または [▼] で「 後 」を選ぶ



10 [Enter] キーを押す

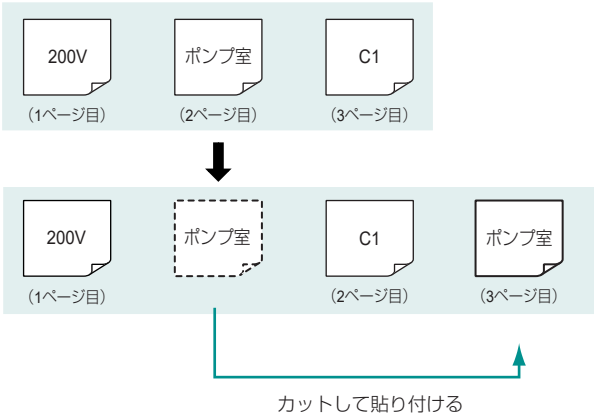
- コピーしたページが、指定の場所に貼り付けられて、文字入力画面に戻ります。



ページを移動する

文字を入力したページを切り取って、他のページの前後に貼り付けます。

【例】2 ページ目をカットして 3 ページ目の後に貼り付ける



1 移動するページ (2 ページ目) を表示する

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 カット 」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



5 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 2 ページ目がカットされて、文字入力画面に戻ります。



6 [オプション] キーを押す

7 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す

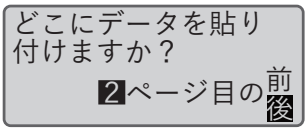


8 [▲] または [▼] で「 ペースト 」を選び、[Enter] キーを押す

- 貼り付け場所の確認画面が表示されます。



9 [◀] または [▶] で「 2 」(ページ) を入力して、[▲] または [▼] で「 後 」を選ぶ



10 [Enter] キーを押す

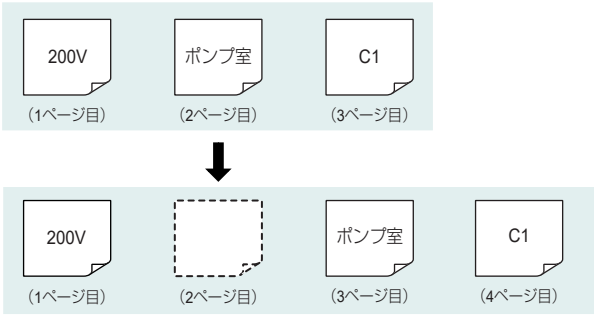
- カットしたページが指定の場所に貼り付けられて、文字入力画面に戻ります。



ページを挿入する

指定の場所に空白のページを挿入します。

【例】1 ページ目と 2 ページ目の間に新しい空白ページを挿入する



1 空白ページを挿入したい位置のページ (2 ページ目) を表示する

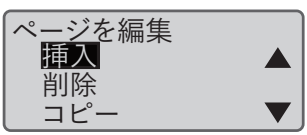
2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す



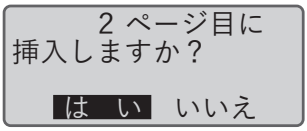
4 [▲] または [▼] で「 挿入 」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



5 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

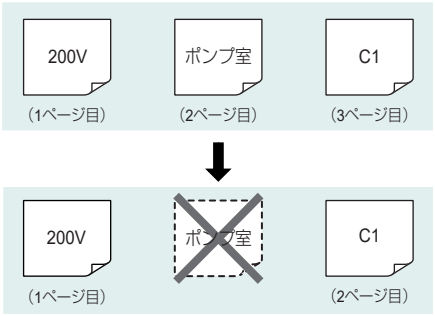
- 2 ページに空白ページが挿入されて、文字入力画面に戻ります。



ページを削除する

指定のページを削除します。ページを削除するとそのページに入力されていたデータも削除されます。

【例】2 ページ目を削除する



1 削除したいページ (2 ページ目) を表示する

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す



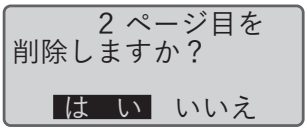
4 [▲] または [▼] で「 削除 」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



5 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

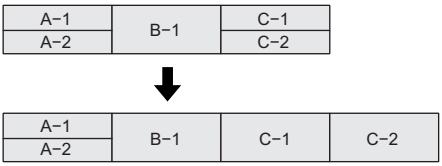
- 2 ページ目が削除されて、文字入力画面に戻ります。



ページを分割する

1 ページに 2 行入力したデータを 2 ページに分割します。

【例】3 ページ目をページ分割する



1 分割したいページ (3 ページ目) を表示する

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す

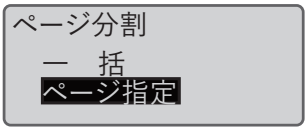


4 [▲] または [▼] で「 分割 」を選び、[Enter] キーを押す



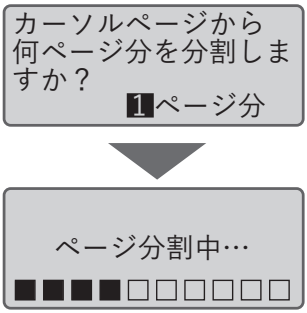
5 [▲] または [▼] で「 ページ指定 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 一括 」を選択すると、すべてのページが分割されます。



6 [◀] または [▶] で「 1 」(ページ分) を入力して、[Enter] キーを押す

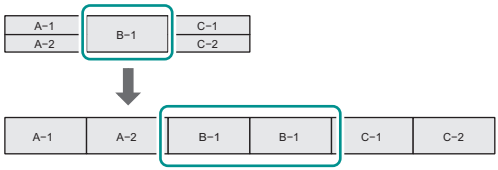
- 3 ページ目の 2 行目が 4 ページ目として作成されて、文字入力画面に戻ります。



メモ

- 1 行入力のページを分割すると、同じデータが 2 ページ分作成されます。

  【例】1 行入力のページを含むデータを、一括で分割する

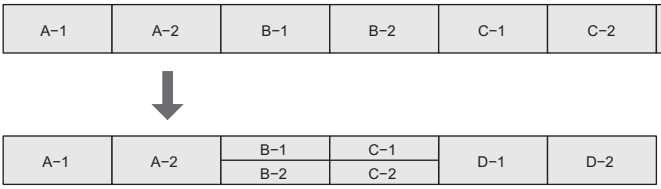


- 連番が設定されているページは、ページを分割できません。
- ページを分割すると、文字サイズやカット長などの設定が変更されます。分割をする前にファイル保存しておくことをおすすめします。
  - 以下の設定は初期値に変更されます。(→ P.51)
    文字サイズ / 枠囲み / カット長 / 印刷方向 / 連続印刷 / 文字間
  - 文字サイズが初期値になるため、データによってはカット長が変わってしまう場合があります。また、カット長が 150mm を超えた場合は、超えた分のデータが削除されます。

ページを結合する

2 ページ分のデータを 1 ページの 2 行に結合します。

【例】3 ページ目から 6 ページ目をページ結合する



1 結合したいページ (3 ページ目) を表示する

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 ページを編集 」を選び、[Enter] キーを押す

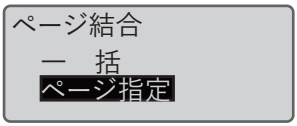


4 [▲] または [▼] で「 結合 」を選び、[Enter] キーを押す



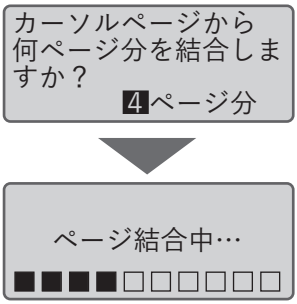
5 [▲] または [▼] で「 ページ指定 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 一括 」を選択すると、すべてのページが 1 ページの 2 行に結合されます。



6 [◀] または [▶] で「 4 」(ページ) を入力して、[Enter] キーを押す

- 3 ページ目から 6 ページ目が結合して、文字入力画面に戻ります。



メモ

- 連番が設定されているページおよび 2 行の入力がされているページは、ページを結合できません。
- ページを結合すると、文字サイズやカット長などの設定が変更されます。結合をする前にファイル保存しておくことをおすすめします。
  - 以下の設定は初期値に変更されます。(→ P.51)
    文字サイズ / 枠囲み / カット長 / 印刷方向 / 連続印刷 / 文字間
  - 文字サイズが初期値になるため、データによってはカット長が変わってしまう場合があります。また、カット長が 150mm を超えた場合は、超えた分のデータが削除されます。

Chapter 3

印刷／保存

印刷の基本操作 82
- 印刷する 82
- 印刷イメージを確認する 87
- 印刷範囲を指定して印刷する 88
- ページに繰り返し印刷を設定する 90

印刷結果の補正 91
- 印刷位置やカット長を微調整する 91
- 印刷濃度を変更する 97
- 印刷速度を変更する 98

カッターの設定 99
- カット設定を変更する 99
- カッターの深さを調整する 102
- 強制全切りを使用する 106
- カッターの強さを調整する 107

文字データの保存と呼び出し 110
- ファイルを保存する 110
- ファイルを呼び出す 112
- ファイルを削除する 114
- フォルダー名を変更する 116

印刷の基本操作

印刷する

文字の入力と編集が終わったら印刷します。

【例】次のようなチューブを 2 本印刷する（φ 4.0mm チューブを使用）



1 印刷するデータを表示して、[印刷] キーを押す

2 [▼] で「 印刷本数 」を選び、[2] と入力する

- 数字キーまたは矢印キー（ [◀] / [▶]）を使って入力します。入力を間違えた場合は、[Back Space] キーを押して削除します。
- 印刷本数は、1~10 本まで指定できます。
- この操作で 2 ページ分のデータが 2 回印刷されます。

（印刷設定画面）



3 [▼] で「 チューブφ 3.0mm 」を選び、[◀]、[▶] または [Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 チューブ 」を選び、[Enter] キーを押す

- 本製品では、以下の印刷媒体が選択できます。チューブ / 熱収縮チューブ / ラベル / 透明チューブ / ラップアラウンド / キープチューブ / フラットチューブ



5 [▲] または [▼] で「 φ 4.0mm 」を選び、[Enter] キーを押す

- 印刷設定画面に戻ります。



重要

- 次のような場合は、印刷中にチューブがなくなったことを検知できないため、搬送ローラーに印刷してしまう可能性があります。チューブが印刷中になくならない長さであることを確認してから印刷を開始してください。
  - チューブサイズが「 φ 1.5mm 」の場合
  - 印字媒体を「 透明チューブ 」に設定した場合

メモ

- 選択リスト上にないサイズのチューブをセットする場合は、「チューブサイズ選択（推奨）（P.86）」を参考に設定を行ってください。

6 [▲] で「 印刷開始 」まで戻る。[▶] で「 プレビュー」を選び、[Enter] キーを押す

- 印刷イメージを確認します。
- プレビューについて詳しくは、「印刷イメージを確認する（P.87）」を参照してください。



メモ

- 印刷データが印字媒体の幅（上下）をはみ出してもエラーメッセージは表示されません。プレビューを参考に、文字が欠けていないことを確認してから印刷することをおすすめします。

7 [◀] で「 印刷開始 」を選び、[Enter] キーを押す



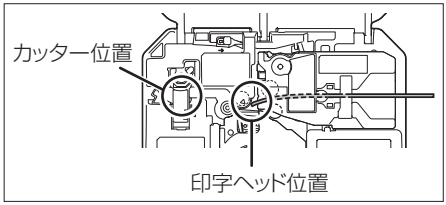
8 [▲] または [▼] で「 印字ヘッド位置 」を選び、[Enter] キーを押す

- 印刷を開始します。

先端位置確認
カッター位置
印字ヘッド位置

重要

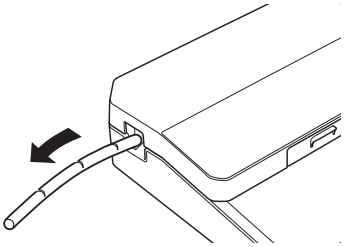
- セットされている印字媒体の先端位置を確認して、「 カッター位置 」または「 印字ヘッド位置 」を選択します。印字媒体をセットした直後の印刷は「 印字ヘッド位置 」となります。



- 先端位置の設定が誤っていると、搬送ローラーに印刷してしまったり、先端の余白が多くなってしまったりする場合があります。
- 先端位置を設定したあと、以下の場合には「 先端位置確認 」画面は再表示されません。
  - カバーを開けなかったとき
  - 電源を切らなかったとき
  - 印刷設定にて、印字媒体の種類やサイズを変更しなかったとき
  - フィード機能 (→ P.141) および取り出し機能 (→ P.28) を使わなかったとき

9 チューブを取り出す

- 印刷が終わると、チューブが自動的にカットされます。（全切り）また、チューブとチューブの間には切り込み（半切り）が入ります。



重要

- 印刷したあとは、印字媒体の反りや変形を防ぐため、本体から印字媒体を取り外してください。
- 本製品の排出口周辺に物を置かないでください。排出を妨げる物があると、チューブやラベルテープがまっすぐに排出されず、曲がった状態でカットされることがあります。
- 印刷中にチューブやラベルテープを無理に引っ張らないでください。印刷不良や故障の原因になることがあります。

メモ

- 印刷を中止するときは、［取消］キーを押してください。印刷を中止して印字媒体をカットしたあとに停止します。また、2 秒以上長押しすると、カットをせずに停止します。

・チューブをセットする場合は、以下を参考に印刷設定を行ってください。

チューブサイズ選択（推奨）

印字媒体		印刷設定
種類	サイズ (mm)	サイズ選択
チューブ 透明チューブ 熱収縮チューブ	φ 1.5 ～φ 2.0	1.5 mm
	φ 2.1 ～φ 2.5	2.5 mm
	φ 2.6 ～φ 3.5	3 mm
	φ 3.6 ～φ 4.5	4 mm
	φ 4.6 ～φ 5.5	5 mm
	φ 5.6 ～φ 6.2	6 mm
	φ 6.3 ～φ 6.7	6.5mm
	φ 6.8 ～φ 7.5	7mm
	φ 7.6 ～φ 8.5	8mm
	φ 8.6 ～φ 9.5	9mm
	φ 9.6 ～φ 10	10mm
フラットチューブ	φ 1.5 ～φ 2.0	1.5mm
	φ 2.1 ～φ 2.5	2.5mm
	φ 2.6 ～φ 3.5	3 mm
	φ 3.6 ～φ 4.5	4 mm
	φ 4.6 ～φ 5.5	5mm
	φ 5.6 ～φ 6.2	6mm
	φ 6.3 ～φ 6.5	6.5mm

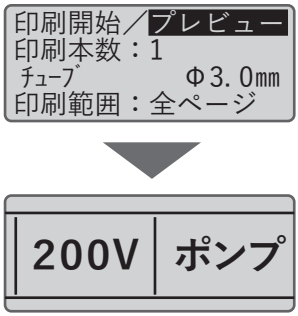
印刷イメージを確認する

印刷をする前に、ディスプレイ上で印刷イメージを確認できます。

1 印刷するデータを表示して、[印刷] キーを押す

2 [▶] でプレビューを選び、[Enter] キーを押す

- 印刷イメージが、右から左に流れて表示されます。
  - [▲] または [▼] を押している間は表示が止まります。
  - [◀] を押し続けると早送りして表示します。
  - [▶] を押すと次のページを表示します。
  - [取消] キー押すとプレビュー表示を中止します。
- プレビュー表示が終わると印刷設定画面に戻ります。



メモ

- 以下の印字媒体を指定した場合、印字媒体の幅を示す線はプレビュー表示されません。
  - チューブ (φ 7mm ～φ 10mm)、熱収縮チューブ (φ 7mm ～φ 10mm)、透明チューブ (φ 7mm ～φ 10mm)
  - ラベル (12mm)
  - ラップアラウンドテープ



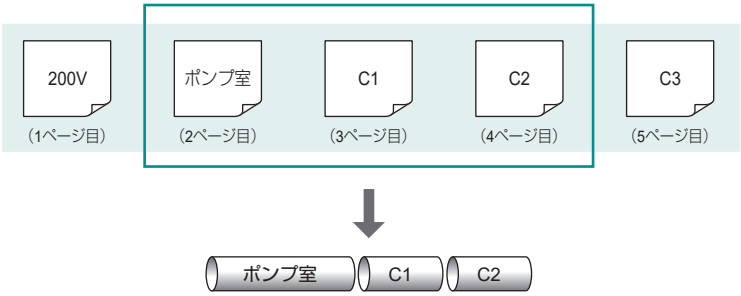
- プレビューは実際の印刷結果と完全に一致しないことがあります。

印刷範囲を指定して印刷する

特定のページや範囲を指定して印刷します。印刷範囲の初期値は「全ページ」に設定されています。

設定	内容
全ページ（初期値）	全ページを印刷します。
カーソルページ	現在表示しているページのみを印刷します。
指定ページ	「開始ページ」と「終了ページ」で指定した範囲を印刷します。

【例】次のデータの 2 ページ目から 4 ページ目を印刷する



1 印刷するデータを表示して、[印刷] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「印刷範囲」を選び、[◀] または [▶] で「指定ページ」を選ぶ

印刷開始／プレビュー
印刷範囲：指定ページ
開始ページ：1
終了ページ：1

3 [▲] または [▼] で「開始ページ」を選び、[2] と入力する

- 数字キーまたは矢印キー（[◀] / [▶]）を使って入力します。



4 [▲] または [▼] で「終了ページ」を選び、[4] と入力する

- 数字キーまたは矢印キー（[◀] / [▶]）を使って入力します。



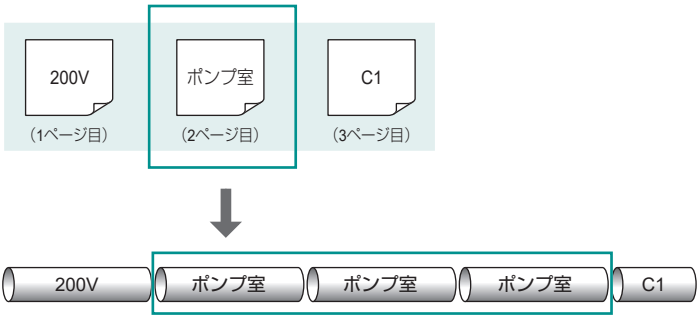
5 [▲] で「印刷開始」を選び、印刷する （→ P.82）



ページに繰り返し印刷を設定する

ページに繰り返し印刷を設定したいときは「連続印刷」で回数を入力します。連続印刷はページごとに 2 ～ 200 本（枚）まで設定できます。

【例】2 ページ目を 3 回印刷する



1 連続印刷するページを表示する

2 [連続] キーを押す

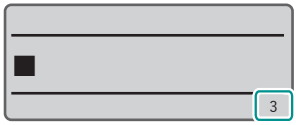
3 [▲] または [▼] で「 指定 」を選び、「 3 」(連続印刷回数) を入力する

- 2 ～ 200 (回) の範囲で設定できます。



4 [Enter] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 連続印刷回数はディスプレイ上で確認できます。



5 印刷する (→ P.82)

メモ

- 連続印刷はページごとに設定します。
- 連続印刷の設定を解除する (1 回印刷) ときは、上記の手順 3 で「 解除 」を設定します。

印刷結果の補正

印刷位置やカット長を微調整する

お使いの印字媒体や環境によっては、印刷位置がずれたり、カット長が設定と異なってしまったりすることがあります。カット長や余白を設定しても思ったような結果が得られない場合は、印刷位置やカット長を微調整してください。
本製品では次のような補正を、印字媒体の種類別（高さ補正は種類別およびサイズ別）に設定することができます。

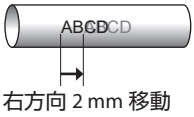
機能	内容
先端補正	印刷開始位置を微調整します。
高さ補正	上下方向の印刷位置を微調整します。
長さ補正	カット長を微調整します。

重要

- 補正機能で調整しても改善されない場合は、搬送ローラーを清掃してください。（→ P.121）
  また、印字媒体に汚れがないことを確認してください。

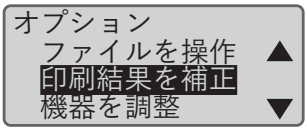
■ 印刷開始位置を微調整する（先端補正）

【例】文字配置「センタリング」位置でチューブに印刷したときに左側にずれて印刷されたため、印刷開始位置を 2.0 mm右方向に移動する

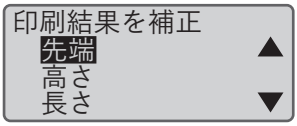


1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「印刷結果を補正」を選び、［Enter］キーを押す



3 ［▲］または［▼］で「先端」を選び、［Enter］キーを押す

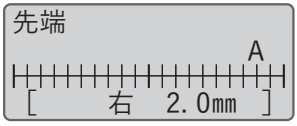


4 ［▲］または［▼］で「チューブ」を選び、［Enter］キーを押す



5 ［▶］で「右 2.0mm」を表示して、［Enter］キーを押す

- ［◀］（左方向）または［▶］（右方向）で補正値を入力します。
- 左 2.5mm ～右 2.5mm の範囲を 0.1 mm単位で調整できます。



6 ［Shift］+［取消］キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

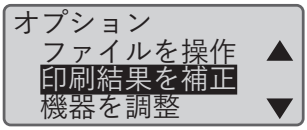
■ 上下方向の印刷位置を微調整する（高さ補正）

【例】チューブ（φ 6.0 mm）に印刷したときに上側にずれて印刷されたため、印刷位置を 0.5 mm下方向に移動する



1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「印刷結果を補正」を選び、［Enter］キーを押す



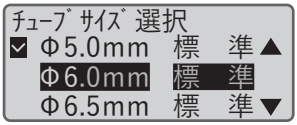
3 ［▲］または［▼］で「高さ」を選び、［Enter］キーを押す



4 ［▲］または［▼］で「チューブ」を選び、［Enter］キーを押す



5 ［▲］または［▼］で「φ 6.0 mm」を選び、［Enter］キーを押す



6 [▼] で「 下 0.5mm 」を表示して、[Enter] キーを押す

- [▲]（ 上方向 ）/ [▼]（ 下方向 ）で補正値を入力します。
- 上 1.0mm ～下 1.0mm の範囲を 0.1 mm単位で調整できます。



7 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

■ カット長を微調整する（長さ補正）

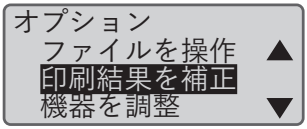
【例】カット長「30 mm」でチューブに印刷したときに設定よりも短く印刷されたため、カット長を 2 mm長くする



2 mm 長くする

1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「印刷結果を補正」を選び、［Enter］キーを押す



3 ［▲］または［▼］で「長さ」を選び、［Enter］キーを押す

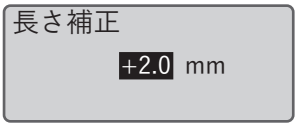


4 ［▲］または［▼］で「チューブ」を選び、［Enter］キーを押す



5 ［▶］で「+2.0mm」を入力して、［Enter］キーを押す

- ［◀］（マイナス方向）または［▶］（プラス方向）で補正値を入力します。また、［＋］/［－］キーや数字キーを使った入力もできます。
- -7.5mm ～ 7.5mm の範囲を 0.1 mm単位で調整できます。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

重要

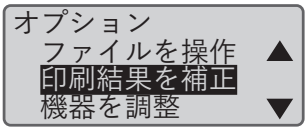
- マイナス方向の補正は、補正のスペース (文字以外の部分) がなくなった場合や最小カット長以下となった場合には、それ以上の補正がかかりません。各印字媒体の最小カット長については、「仕様 (P.160)」を参照してください。
- 長さ補正で調整しても改善されない場合は、半切りを「なし」に設定してはさみ等でカットしてください。半切りの設定について詳しくは、「半切りの設定を変更する (P.99)」を参照してください。

印刷濃度を変更する

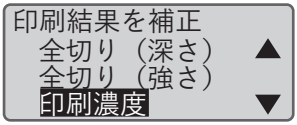
お使いの印字媒体や環境によっては、印刷が薄すぎたり濃すぎたりする場合があります。このようなときは印刷濃度を調整してください。
濃度は、印字媒体の種類別に設定することができます。初期値は「3」に設定されています。
【例】チューブの印刷濃度を最も濃くなるように調整する。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 印刷結果を補正 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 印刷濃度 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 チューブ 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [◀] または [▶] で「 5 」を選び、[Enter] キーを押す

- 現在の設定の下に「 ▲ 」が表示されます。
- 濃度は、1（最も薄い）~5（最も濃い）の範囲で設定できます。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

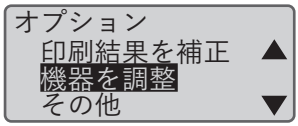
印刷速度を変更する

印刷にかすれやむらがある場合は、印刷速度を調整してください。
初期値は「高速」に設定されています。

【例】文字がかすれるため、「低速」に設定する。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 機器を調整 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 印刷速度 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 低速 」を選び、[Enter] キーを押す

- 速度は、「 低速 」「 高速 」の 2 段階で調整します。



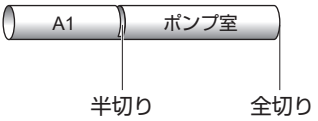
5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。
- 印刷速度の設定はディスプレイ上で確認できます。

カッターの設定

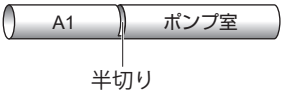
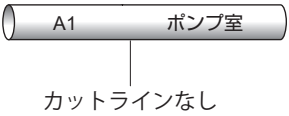
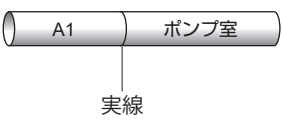
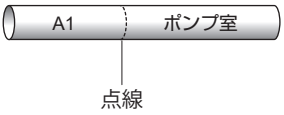
カット設定を変更する

本製品は印刷が終わると、印刷媒体を自動的にカットします。（全切り）また、印刷後のチューブやラベルの間には切り込み（半切り）が入るので、チューブを手でカットできたり、はく離紙からラベルをきれいにはがすことができたりします。



■ 半切りの設定を変更する

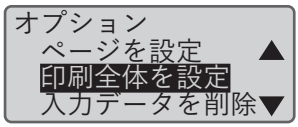
初期値は「（半切り）あり」に設定されています。
また、半切りをしない場合は、カットライン（実線 / 点線）を印刷することができます。

半切り設定	カットライン設定	内容	印刷イメージ
あり（初期値）	-	印刷後のチューブやラベルの間には切り込みを入れます。	
なし	なし	印刷後のチューブやラベルの間には切り込みを入れず、またカットラインも印刷しません。	
	実線	印刷後のチューブやラベルの間に実線のカットラインを印刷します。	
	点線	印刷後のチューブやラベルの間に点線のカットラインを印刷します。	

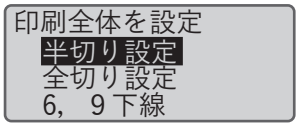
【例】半切りをせずに、カットライン（点線）を印刷する。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 印刷全体を設定 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 半切り設定 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 なし 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▲] または [▼] で「 点線 」を選び、[Enter] キーを押す

- 半切りの設定はディスプレイ上で確認できます。

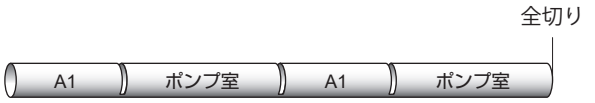
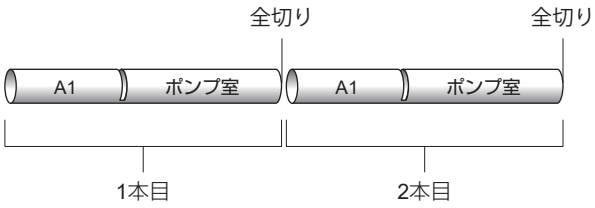


6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

■ 全切りの設定を変更する

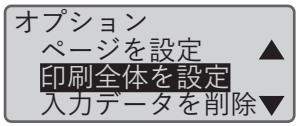
初期値は「最後のみ」に設定されています。

設定	内容	印刷イメージ
最後のみ（初期値）	印刷の最後をカットします。	
本数設定毎	印刷本数ごとにカットします。	

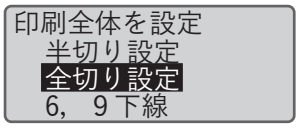
【例】印刷本数ごとに全切りする。

1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「印刷全体を設定」を選び、［Enter］キーを押す



3 ［▲］または［▼］で「全切り設定」を選び、［Enter］キーを押す



4 ［▲］または［▼］で「本数設定毎」を選び、［Shift］+［取消］キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。



カッターの深さを調整する

カッター刃の切れが悪くなってきたときは、カットの深さを調整してください。調整は、「半切り」と「全切り」それぞれで設定できます。

■ 半切りのカットの深さを変更する

半切りのカットの深さは、印字媒体の種類別に設定することができます。初期値は「標準」に設定されています。

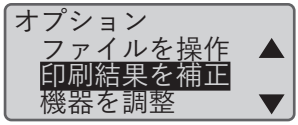
メモ

- 印字媒体の種類を変えるとうまく切れないときは、カットの強さを調整してください。(→ P.107)

【例】ラベルテープの半切りがうまく切れないのでカットの深さを 1 段階深くする。

1 [オプション] キーを押す

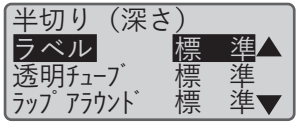
2 [▲] または [▼] で「 印刷結果を補正 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 半切り (深さ)」を選び、[Enter] キーを押す

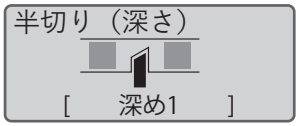


4 [▲] または [▼] で「 ラベル 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▲] で「 深め 1 」を選び、[Enter] キーを押す

- 半切り（深さ）は、「深め（1~3）」、「標準」、「浅め（1~3）」の 7 段階で設定できます。
- [▲] を押すたびにカットが 1 段階ずつ深くなります。
- [▼] を押すたびにカットが 1 段階ずつ浅くなります。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

重要

- 必要以上にカットの深さを深くすると、カッターやカッター受け台が早く消耗してしまいます。

メモ

- 半切りのカット深さを最も浅く調整しても半切りが深すぎる場合は、カッター受け台が消耗している可能性があります。カッターを交換してください。（ → P.125 ）

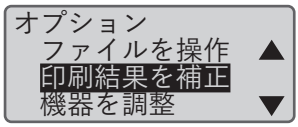
■ 全切りのカットの深さを変更する

全切りのカットの深さは、印字媒体の種類別に設定することができます。初期値は「標準」に設定されています。

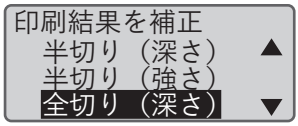
【例】チューブの全切りがうまく切れないので 1 段階カットを深くする。

1 ［オプション］キーを押す

2 ［▲］または［▼］で「印刷結果を補正」を選び、［Enter］キーを押す



3 ［▲］または［▼］で「全切り（深さ）」を選び、［Enter］キーを押す

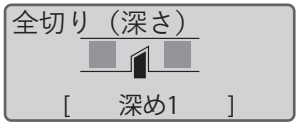


4 ［▲］または［▼］で「チューブ」を選び、［Enter］キーを押す



5 ［▲］で「深め 1」を選び、［Enter］キーを押す

- 全切り（深さ）は、「深め（1~3）」、「標準」の 4 段階で設定できます。
- ［▲］を押すたびにカットが 1 段階ずつ深くなります。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

重要

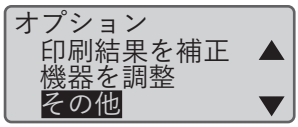
- 必要以上にカットの深さを深くすると、カッターやカッター受け台が早く消耗してしまいます。

強制全切りを使用する

全切りのカットの深さを調整しても症状が改善されない場合は、「 強制全切り 」を使用してください。強制全切りでは、もっとも深い位置まで切り込みを行います。また、強制全切りを使用しても症状が改善されない場合は、カッターを交換してください。(→ P.125)

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



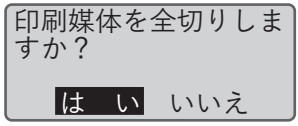
3 [▲] または [▼] で「 強制全切り 」を選び、[Enter] キーを押す

- 確認画面が表示されます。



4 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 全切りが行われます。



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

カッターの強さを調整する

印字媒体の種類を変えるとうまく切れないときは、カットの強さを調整してください。調整は、「半切り」と「全切り」それぞれで設定できます。

メモ

- カッター刃の切れが悪くなってきたときは、カットの深さを調整してください。(→ P.102)

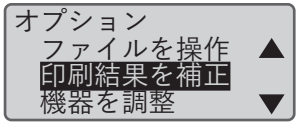
■ 半切りのカットの強さを変更する

半切りのカットの強さは、印字媒体の種類別に設定することができます。初期値は「標準」に設定されています。

【例】ラベルテープの半切りがうまく切れないのでカットを強くする。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 印刷結果を補正 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 半切り (強さ)」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 ラベル 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▼] で「 強い 」を選び、[Enter] キーを押す

- 半切り（強さ）は、「 標準 」と「 強い 」の 2 段階で設定できます。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

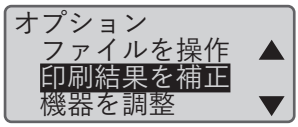
■ 全切りのカットの強さを変更する

全切りのカットの強さは、印字媒体の種類別に設定することができます。初期値は「標準」に設定されています。

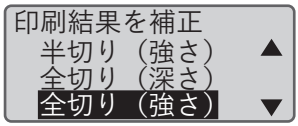
【例】チューブの全切りがうまく切れないのでカットを強くする。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 印刷結果を補正 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 全切り (強さ)」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 チューブ 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▼] で「 強い 」を選び、[Enter] キーを押す

- 全切り (強さ) は、「 標準 」と「 強い 」の 2 段階で設定できます。



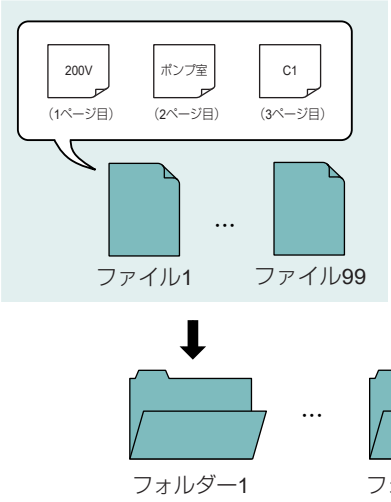
6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

文字データの保存と呼び出し

ファイルを保存する

作成した文字データを「ファイル」として本体内に登録できます。また、本製品にはあらかじめ 10 個の「フォルダー」が用意されており、1 フォルダーには 99 ファイルまで保存できます。



【例】作成したデータを「A-1」のファイル名で「フォルダー 1」に保存する

1 [ファイル] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 保存 」を選び、[Enter] キーを押す

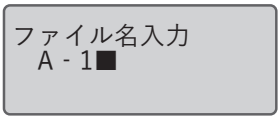


3 「 フォルダー 1 」を選び、[Enter] キーを押す



4 「A-1」（ファイル名）と入力したあと［Enter］キーを押す

- ファイル名は 8 文字まで入力できます。



5 ［◀］または［▶］で「はい」を選び、［Enter］キーを押す

- 「保存中…」が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。



重要

- ファイルの保存中は電源を切らないでください。保存中に電源が切られるとデータが破壊するおそれがあります。

メモ

- 文字入力について詳しくは、「入力の基本操作（P.37）」を参照してください。
- プリンター本体に保存できる文字数については、「仕様（P.160）」を参照してください。
- すでに保存されているファイル名と同じ名前で保存しようとすると、次のようなメッセージが表示されます。上書きするときは［はい］をクリックしてください。



- 保存したデータのファイル名は変更できません。ファイル名を変更したい場合は、新しい名前で保存しなおしてください。

ファイルを呼び出す

保存したファイルの呼び出しには「新規呼び出し」と「追加呼び出し」の 2 種類があり、呼び出し項目の選択により次のようにデータが呼び出されます。

設定	項目	内容
新規呼び出し	文字のみ	現在編集中のデータのみが消去されて、呼び出したデータに入れ替えます。
	文字＋設定	現在編集中のデータと書式設定が消去されて、呼び出したデータと書式設定に入れ替えます。
追加呼び出し	文字のみ	呼び出したデータを、現在編集中のデータの最終ページに追加します。 呼び出したデータには、現在編集中の最終ページの書式設定が適用されます。
	文字＋設定	呼び出したデータを、現在編集中のデータの最終ページに追加します。 呼び出したデータには、ファイル保存時の書式設定が適用されます。

メモ

- 書式設定については、「書式設定について (P.51)」を参照してください。

【例】「フォルダー 1」のファイル名「A-1」のデータとその書式設定を呼び出し、現在編集中のデータの最終ページに追加する。

1 [ファイル] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 呼出し 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 追加呼出し 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 文字＋設定 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [▲] または [▼] で「 フォルダー 1 」を選び、[Enter] キーを押す



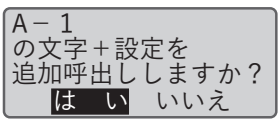
6 [▲] または [▼] で「 A-1 」を選び、[Enter] キーを押す

- データの大きさにより、追加呼び出しできないファイル名の横には「 × 」が表示されます。



7 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 呼出し中… 」が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。
- このとき、呼び出したデータの最終ページが表示されます。



メモ

- 文字サイズが「 1.3mm 全角 」、「 2mm 半角 」、「 2mm 全角 」に設定されている場合、漢字は入力できません。そのため、文字サイズが「 1.3mm 全角 」、「 2mm 半角 」、「 2mm 全角 」に設定しているデータに漢字を含むファイルを「 文字のみ 」で呼び出すと漢字を削除して表示します。
- カット長を指定しているデータにカット長を超える文字が入力されているファイルを「 文字のみ 」で呼び出すと、カット長を超える文字を削除して表示します。

ファイルを削除する

保存したファイルを削除します。
ファイル削除では次のいずれかを選択します。

1 ファイル：

フォルダーの中の 1 ファイルのみを削除します。

フォルダー内：

フォルダーの中にあるすべてのファイルを削除します。

全ファイル：

すべてのフォルダーの中にあるファイルを全部削除します。

【例】「フォルダー 1」のファイル名「A-1」を削除する。

1 [ファイル] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 削除 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 1 ファイル 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 1 ファイル 」、「 フォルダー内 」、「 全ファイル 」のいずれかを選択します。



4 [▲] または [▼] で「 フォルダー 1 」を選び、[Enter] キーを押す

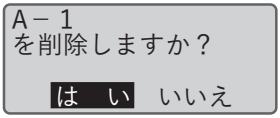


5 [▲] または [▼] で「 A-1 」を選び、[Enter] キーを押す



6 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 削除中… 」が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。



フォルダー名を変更する

フォルダーの名前を変更します。
本製品にはあらかじめ 10 個のフォルダー（「フォルダー 1」～「フォルダー 10」）が用意されています。

【例】「フォルダー 1」の名前を「ポンプ室」に変更する。

1 [ファイル] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 保存 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 フォルダー 1 」を選び、スペースキーを押す



4 [Back Space] キーを押して「 フォルダー 1 」の文字をすべて削除する



5 「 ポンプ室 」(フォルダー名) を入力したあと [Enter] キーを押す

- フォルダー名は 8 文字まで入力できます。



6 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

メモ

- 文字入力について詳しくは、「 入力の基本操作 (P.37)」を参照してください。
- 変更したフォルダー名を元のファイル名 (「 フォルダー 1 」 ～ 「 フォルダー 10 」) に戻すときは、上記の手順 4 で [Back Space] キーを押してすべての文字を消去したあと [Enter] キーを押します。

Chapter 4

お手入れ / 本体の設定

プリンターの清掃 119
本体の外側を清掃する 119
本体内部を清掃する 120
搬送ローラーを清掃する 121
印字ヘッドを清掃する 123
クリーナーを清掃 / 交換する 124
カッターの交換 125
本体設定の変更 129
自動電源オフの設定を変更する（アダプター / 電池） 129
ディスプレイの設定を変更する 131
表示言語を変更する 134
操作音を消す 135
本製品を初期化する 136

プリンターの清掃

本体の外側を清掃する

本体の表面を定期的に拭き、きれいな状態を保ってください。

⚠ 警告

- 清掃する前に、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。また、電池も本体から取り外してください。火災や感電の原因となります。
- 清掃にはアルコール、シンナーなどの引火性溶剤を使用しないでください。火災や感電の原因となります。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電池を使用している場合は、電池を取り外してください。

2 プリンターの表面を拭く

- 水を含ませて固く絞った布で拭きます。糸くずの出ない布を使用してください。
- 水分が完全に乾いてから次の手順に進んでください。

3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

本体内部を清掃する

本体内部が汚れていると、印字媒体が汚れたり、ほこりなどが入ったりして印刷不良の原因になることがあります。定期的に拭き、きれいな状態を保ってください。

⚠ 警告

- 清掃する前に、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。また、電池も本体から取り外してください。火災や感電の原因となります。
- 清掃にはアルコール、シンナーなどの引火性溶剤を使用しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- カッター部周辺や排出口を清掃するときは、カッターを取り外してから行ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電池を使用している場合は、電池を取り外してください。

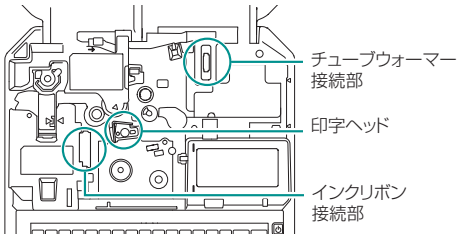
2 カバーを開き、リボンカセット、アタッチメント（またはラベルテープカセット）およびカッターを取り外す

3 プリンターの内部を拭く

- 水を含ませて固く絞った布で拭きます。糸くずの出ない布を使用してください。
- 水分が完全に乾いてから次の手順に進んでください。

✓ 重要

- 本体内部のインクリボン接続部、印字ヘッド、チューブウォーマー接続部には、手を触れないでください。故障の原因になることがあります。



4 清掃が終わったら、カッターを元の位置に戻してカバーを閉める

搬送ローラーを清掃する

きれいに印刷されなかったり、印字媒体がうまく送れなかったりするときは、搬送ローラーが汚れている可能性があります。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。

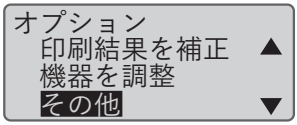
⚠ 警告

- 清掃には、アルコール、シンナーなどの引火性溶剤を使用しないでください。火災や感電の原因となります。

1 カバーを開き、リボンカセットおよびアタッチメント (またはラベルテープカセット) を取り外す

2 [オプション] キーを押す

3 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



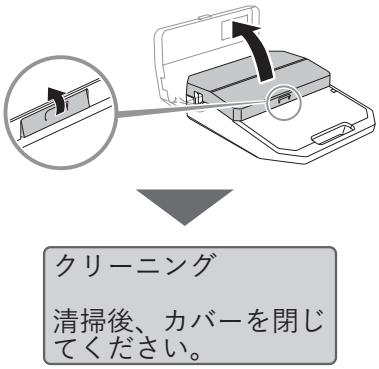
4 [▲] または [▼] で「 クリーニング 」を選び、[Enter] キーを押す

- キーを押すと、画面に指示が表示されます。



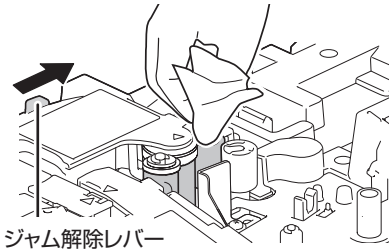
5 カバーを開ける

- カバーを開けると、画面に指示が表示されます。



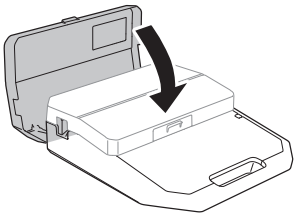
6 搬送ローラー 1、搬送ローラー 2 および搬送ローラー 3 の汚れをふき取る

- 水を含ませて固く絞った布で拭きます。糸くずの出ない布を使用してください。
- 搬送ローラー 3 は、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら清掃します。



7 カバーを閉める

- 搬送ローラーが回転します。



8 手順 5 ～ 7 を繰り返す

- カバーを 8 回開閉すると、ローラーが 1 回転します。

9 清掃が終わったら、[Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

印字ヘッドを清掃する

きれいに印刷されなかったり、白いすじが入ったりするときは、印字ヘッドが汚れている可能性があります。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。

⚠ 警告

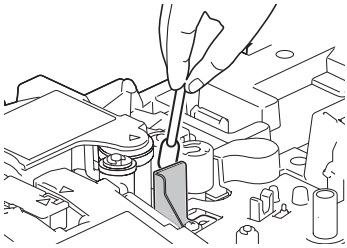
- 清掃する前に、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。また、電池も本体から取り外してください。火災や感電の原因となります。
- 清掃にはアルコール、シンナーなどの引火性溶剤を使用しないでください。火災や感電の原因となります。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電池を使用している場合は、電池を取り外してください。

2 カバーを開き、リボンカセットおよびアタッチメント (またはラベルテープカセット) を取り外す

3 水で湿らせ固く絞った綿棒で印字ヘッドの汚れをふき取る



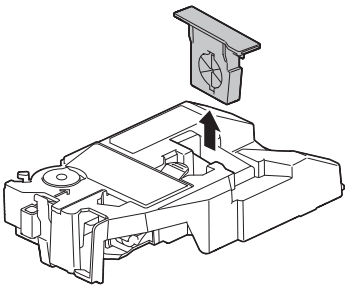
重要

- 印字ヘッドには直接手を触れないでください。故障の原因になることがあります。

4 清掃が終わったら、カバーを閉める

クリーナーを清掃 / 交換する

チューブアタッチメント、チューブウォーマー（オプション）および記名板・フラットチューブアタッチメント（オプション）には印字媒体の表面に付着した汚れを除去するクリーナーが取り付けられています。
図のようにしてクリーナーを取り外し、スポンジに付着した汚れを取り除いてください。スポンジが破損した場合は、クリーナーごと交換してください。



重要

- 使用済みのクリーナーは以下に従って処分してください。
  企業でお使いの場合：
  廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合：
  地域の条例に従って処分してください。

カッターの交換

カッターの深さと強さを調整しても、チューブやラベルテープがうまく切断されないときはカッターを交換してください。また、カッターを交換するときは、同時にカッター受け台も交換してください。

⚠ 注意

- カッターは直接触ることができないような構造になっていますが、取り扱いを誤ると刃が飛び出して、けがをする恐れがあります。本書に記載されていない操作は絶対に行わないでください。
- 交換した部品は放置しないでください。幼児の手などに触れるとけがをするおそれがあります。
- カッターを交換するときは、必ず電源を切ってください。

重要

- カッター動作回数 50,000 回ごとを目安に交換してください。(PVC チューブ : 内径 φ 3.2mm 使用時)
- 使用済みのカッターとカッター受け台は以下に従って処分してください。

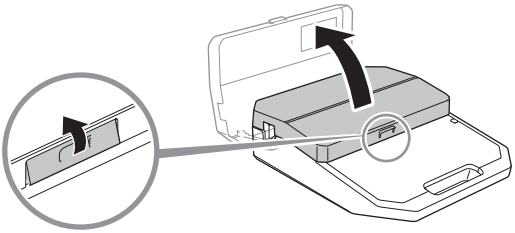
  企業でお使いの場合 :
  廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)」に従って処分してください。
  一般家庭でお使いの場合 :
  地域の条例に従って処分してください。

メモ

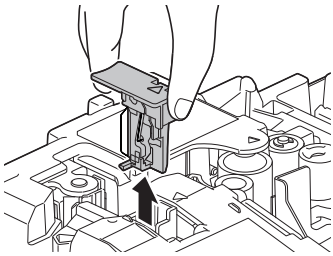
- カッター動作回数は、使用している印字媒体に関わらずカウントされます。また、カッターを外して印刷した場合のカッター動作も、カッター動作回数としてカウントされます。

1 電源を切る（→ P.17）

2 カバーを開ける

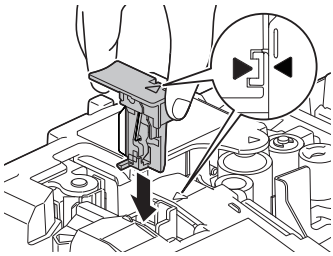


3 カッターを取り外す

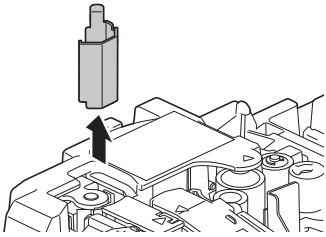


4 新しいカッターをセットする

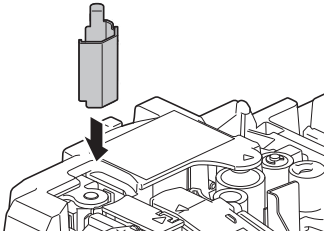
- 向きに注意して、奥に突き当たるまで差し込みます。



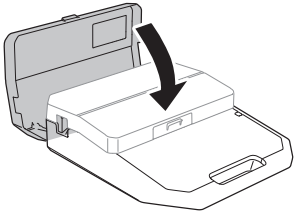
5 カッター受け台を取り外す



6 新しいカッター受け台をセットする



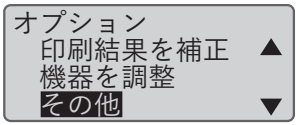
7 カバーを閉める



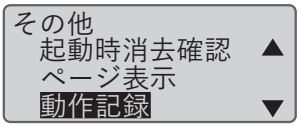
8 電源を入れる (→ P.15)

9 [オプション] キーを押す

10 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



11 [▲] または [▼] で [動作記録] を選び、[Enter] キーを押す



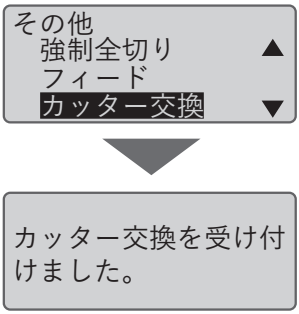
12 カッター動作回数を記録したあと、[Enter] キーを押す

- カッター動作回数は、カッター交換ごとに本製品に同梱の基本操作ガイドの「カッター動作記録 」に記録しておくことをおすすめします。



13 [▲] または [▼] で「 カッター交換 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「カッター交換を受け付けました。」の画面が表示されたあと、元の画面に戻ります。
- カッター動作回数が「 0 回 」にリセットされます。
- カットの深さや強さが「 標準 」に戻ります。



14 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

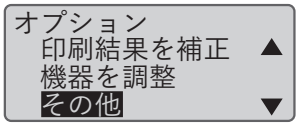
本体設定の変更

自動電源オフの設定を変更する (アダプター / 電池)

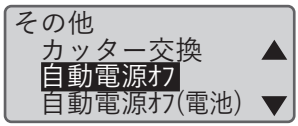
一定時間操作しなかった場合に、自動的に電源が切れる時間を変更します。自動電源オフの設定は、使用する電源ごとに設定することができ、初期値はいずれも「30 分」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す

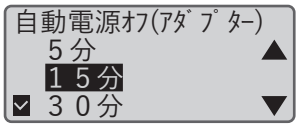


3 [▲] または [▼] で「 自動電源オフ 」(または「 自動電源オフ (電池)」) を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で自動的に電源が切れるまでの時間を選び、[Enter] キーを押す

- 設定時間は、「 オフしない 」、「 5 分 」、「 15 分 」、「 30 分 」から選択できます。



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

重要

- 次のような場合は、自動電源オフの機能は働きません。
  - エラーが発生している状態のとき
  - カバーが開いているとき
- 使用する電源を切り替えたときは、時間がリセットされます。

ディスプレイの設定を変更する

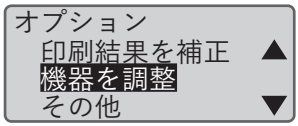
ディスプレイの表示濃度や明るさを変更することができます。

■ 表示濃度を調整する

表示濃度の初期値は「5」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 機器を調整 」を選び、[Enter] キーを押す

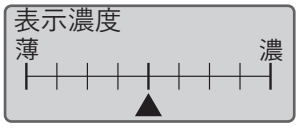


3 [▲] または [▼] で「 表示濃度 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [◀] または [▶] で濃度を選び、[Enter] キーを押す

- 現在の設定の下に「 ▲ 」が表示されます。
- 表示濃度は、1 (最も薄い) ～ 9 (最も濃い) の範囲で設定できます。



5 [Shift] + [取消] キーを押す

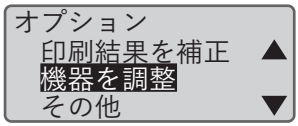
- 文字入力画面に戻ります。

■ バックライトの明るさを調整する (アダプター / 電池)

バックライトの明るさの設定は、使用する電源ごとに設定することができ、初期値は AC アダプター使用の場合が「4」、電池使用の場合が「1」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 機器を調整 」を選び、[Enter] キーを押す

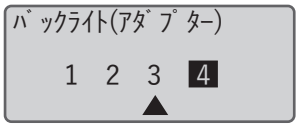


3 [▲] または [▼] で「 バックライト (アダプター)」(または「 バックライト (電池)」) を選び、[Enter] キーを押す



4 [◀] または [▶] で濃度を選び、[Enter] キーを押す

- 現在の設定の下に「 ▲ 」が表示されます。
- バックライトの明るさは、1 (最も暗い) ～ 4 (最も明るい) の範囲で設定できます。



5 [Shift] + [取消] キーを押す

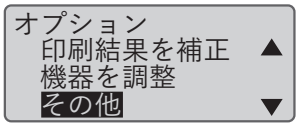
- 文字入力画面に戻ります。

■ 自動バックライトオフの設定を変更する

一定時間操作しなかった場合に、自動的にディスプレイのバックライトが消灯する時間を変更します。初期値は「5 分」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 自動バックライトオフ 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で自動的にバックライトが消灯するまでの時間を選び、[Enter] キーを押す

- 設定時間は、「 オフしない 」、「 1 分 」、「 3 分 」、「 5 分 」から選択できます。



5 [Shift] + [取消] キーを押す

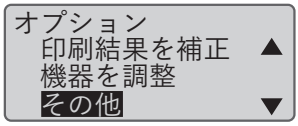
- 文字入力画面に戻ります。

表示言語を変更する

ディスプレイに表示される言語を変えられます。初期値は「日本語」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 言語 /Language 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で言語を選び、[Enter] キーを押す



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

重要

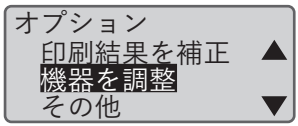
- 英語表示の場合は、ローマ字入力、ひらがな入力、カタカナ入力ができません。

操作音を消す

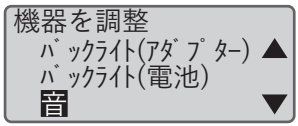
キー操作音と警告音を消します。音設定の初期値は「あり」に設定されています。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 機器を調整 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 音 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「 なし 」を選び、[Enter] キーを押す



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

本製品を初期化する

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。（初期化する）

重要

- 初期化すると、作成中のデータや本体に保存してあるファイルはすべて消去されます。消去されたデータは、復元することができません。

1 電源を切る (→ P.17)

2 [全削除] キーを押しながら電源キーを 1 秒以上長押しする

- 初期化の確認画面が表示されます。

3 [◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 初期化中…」が表示されたあと、電源が切れます。



Chapter 5

こんなときには

チューブやラベルテープがつまった 138
困ったときの対処方法 143
メッセージが表示された 151
ファームウェアをアップデートする 156
ファームウェアのバージョンを確認する 156
ファームウェアのアップデートを実行する 157

チューブやラベルテープがつまった

本体内部で印字媒体がつまると、ディスプレイに「搬送エラー」メッセージが表示され、印刷を中止します。以下に示す手順に従って印字媒体を取り除いてください。

搬送エラー

搬送路内に媒体が詰まっています。▼

メモ

- 本体内部で印字媒体がつまっているのに、メッセージが表示されない場合は、［取消］キーを 2 秒以上長押しして印刷を中止したあと、手順 2 からの指示に従って印字媒体を取り除いてください。（この場合、手順に示すメッセージは表示されません）

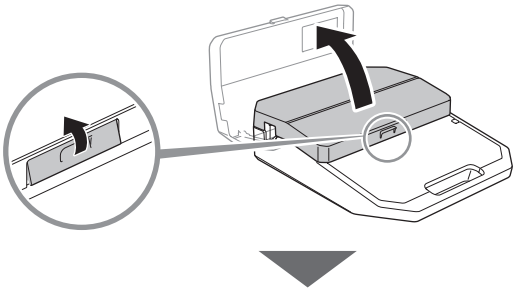
1 「搬送エラー」のメッセージが表示されたときは、任意のキーを押す

- キーを押すと、画面に指示が表示されます。

カバーをあけてください。▼

2 カバーを開ける

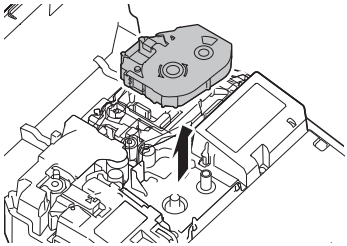
- カバーを開けると、画面に指示が表示されます。



リボンカセットを取り外してください。▼

3 リボンカセットを取り外す

- リボンが巻きついて取り外せない場合は、無理に外さないで、手順４へ進んでください。



4 リボンカセットを取り外したら、任意のキーを押す

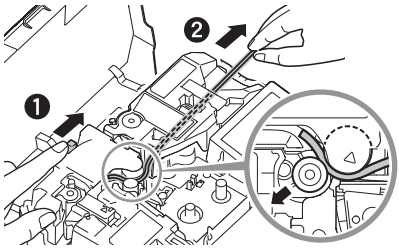
- キーを押すと、画面に指示が表示されます。

ジャム解除レバーを押しながらプリンタ内の印字媒体を取り除いてください。▼

5 （チューブのとき）

図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながらチューブを引き抜く

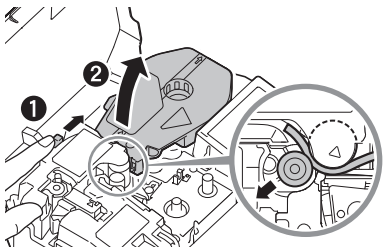
- チューブを引き抜けない場合は、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら、アタッチメント（またはチューブウォーマー）を取り外してください。
- 前手順でリボンカセットを取り外していないときは、リボンカセットを取り外してください。



（ラベルテープのとき）

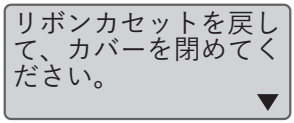
図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら、カセットを取り外す

- 前手順でリボンカセットを取り外していないときは、リボンカセットを取り外してください。

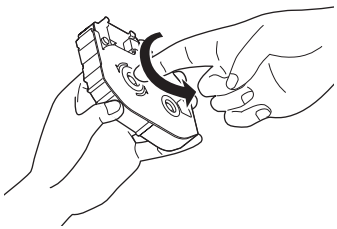


6 印字媒体（またはカセット）を取り除いたら、任意のキーを押す

- キーを押すと、画面に指示が表示されます。



7 リボンのたるみを取る

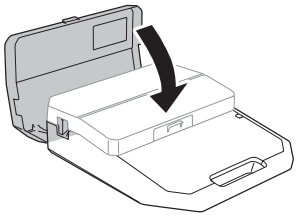


重要

- リボンがたるんでいると正しく動作しないことがあります。

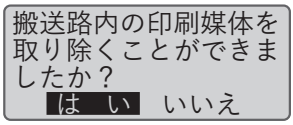
8 リボンカセットを戻して、カバーを閉める

- リボンカセットは真っ直ぐに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと押します。
- カバーを閉めると、確認画面が表示されます。

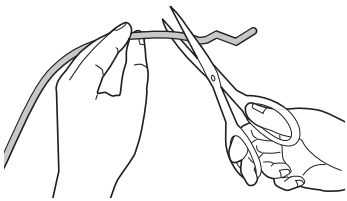


9 印字媒体を取り除けたときは、[◀] または [▶] で「 はい 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 はい 」を選ぶと、文字入力画面に戻ります。
- 「 いいえ 」を選ぶと、再度「 搬送エラー」メッセージが表示されます。手順 1 から操作して、印字媒体を完全に取り除いてください。



10 取り除いた印字媒体の、折れ曲がったり傷ついたりした部分や印刷済みの部分を切り取る



11 印字媒体を再度セットする (→ P.21)

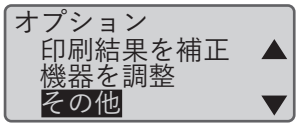
メモ

- フィード機能で印字媒体を取り出す

  チューブやラベルテープが手で取り出せない位置にある場合は、フィード機能を使います。ただしフィード機能で送り続けた場合、印字媒体を傷つけたり、リボンカセットのリボンを巻き込んだりしてつまりの原因になることがあるため、通常は使用しないください。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す

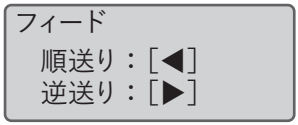


3 [▲] または [▼] で「 フィード 」を選び、[Enter] キーを押す



4 [◀]（ 順送り ）または [▶]（ 逆送り ）で、任意の位置まで印字媒体を送る

- [◀] または [▶] を押し続けている間は連続して順送り / 逆送りされます。



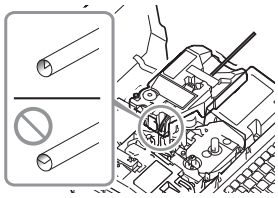
5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

困ったときの対処方法

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
電源が入らない。	AC アダプターと電源コードが正しく接続されていますか。	AC アダプターと電源コードが接続されていることを確認したあと、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	同梱の AC アダプター（PR-TP001）および電源コードを使用していますか。	同梱の AC アダプター（PR-TP001）および電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	電池が逆向きにセットされていませんか。	電池ケースの中に刻印されている向きに、すべての電池が正しくセットされていることを確認してください。
	電池が消耗していませんか。	電池を交換するか、同梱の AC アダプター（PR-TP001）を使用してください。
	指定の電池以外を使用していませんか。	指定の電池を使用してください。（→ P.13）
AC アダプターをセットしても表示が AC アダプターマークに変わらない。	AC アダプターと電源コードが正しく接続されていますか。	いったん電源を切り、AC アダプターと電源コードが接続されていることを確認したあと、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
電池の残量が正しく表示されない。	十分に充電されていない電池をセットすると、残量を正しく表示できない場合があります。	満充電にした電池を使用してください。

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
きれいに印刷できない。 印刷がずれる。 印刷が欠けたり、かすれたりする。	印刷設定で選択した印字媒体の種類とサイズが、実際にセットされている印字媒体と一致していますか。	セットされている印字媒体を確認して、印字媒体の種類とサイズを正しく設定してください。
	リボンカセットは正しくセットされていますか。	リボンカセットを取り出し、たるみを取ってから再度セットしてください。 (→ P.18)
	アタッチメントやラベルカセットは正しくセットされていますか。	アタッチメントまたはラベルカセットを取り出し、再度セットしてください。 (→ P.25)
	チューブがねじれたり反ったりしていませんか。	ねじれや反りを直してからセットしてください。 (→ P.21) また、巻きぐせなどでチューブの先端が曲がっている場合は、まっすぐになるように直す、またはその部分を切り取ってから本体にセットしてください。
	印字媒体が変形していませんか。	印字媒体の変形した箇所を切り取ってからセットしなおしてください。
	チューブが汚れていませんか。	汚れやゴミを乾いた布でふき取ってください。また、油などのふき取れない汚れがついたものは使用しないでください。
	チューブの搬送に負荷がかかっていませんか。	本体と印字媒体を同じ台の上（または高さ）に置くなど、搬送に負荷がかからないようにしてください。
		チューブリールを使用の場合は、負荷を軽くして使用してください。

<table>
<tr><td rowspan="4">（前ページからの続き）
きれいに印刷できない。
印刷がずれる。
印刷が欠けたり、かすれたりする。</td><td rowspan="2">印刷データが印字媒体の幅をはみ出してもエラーメッセージは表示されません。</td><td>「最大印刷可能文字サイズ（P.53）」を参考に文字サイズや枠を設定してください。また、プレビューを参考に、文字が欠けていないことを確認してから印刷することをおすすめします。</td></tr>
<tr><td>文字サイズ、枠、行数の設定を変更してください。</td></tr>
<tr><td>印刷濃度と印刷速度は適切ですか。</td><td>印刷濃度を濃い方向に調整してください。（→ P.97）
印刷速度を遅くしてください。（→ P.98）</td></tr>
<tr><td>キープチューブの場合、内側のヒダがつぶれた状態で印刷されている可能性があります。</td><td>内側のヒダが図のような向きになるようにチューブをセットしてみてください。
</td></tr>
</table>

（前ページからの続き） きれいに印刷できない。 印刷がずれる。 印刷が欠けたり、かすれたりする。	搬送ローラーが汚れていませんか。	搬送ローラーを清掃してください。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。 （→ P.121）
	印刷ヘッドが汚れていませんか。	印字ヘッドを清掃してください。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。 （→ P.123）
	アタッチメントやチューブウォーマー（オプション）のクリーナーが汚れていませんか。	クリーナーを清掃してください。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。 （→ P.124） クリーナーが消耗していたときは新しいクリーナーに交換してください。
	本体内部が汚れていませんか。	本体内部を清掃してください。（→ P.120）
	使用環境は適切ですか。	動作環境については、「仕様（P.160）」を参照してください。 また、チューブウォーマー（オプション）を使用すると、5℃までの低温環境で印刷できます。
	チューブウォーマーを使用しても改善されない場合	チューブウォーマーの温度を「高」に設定してください。（→ P.35）
		チューブウォーマーを通過しない箇所（チューブの先端部分など）は、チューブが温まりません。温まった箇所の印刷を確認してください。

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
文字がつぶれたり、かすれたりする。	小さな文字や複雑な文字を印刷していませんか。	印刷濃度を調整してください。(→ P.97)
印刷後の印字媒体の表面が汚れている。	印刷時に印字媒体の先端がリボンに触れたことが原因でインクが付くことがあります。	乾いた布で印字媒体についた汚れを拭き取ってください。
リボン切れ	チューブにビニールテープの糊のような粘りがある汚れがついている。	汚れのないチューブを使用してください。

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
印字媒体がうまく送れない。	チューブの搬送に負荷がかかっていませんか。	本体と印字媒体を同じ台の上（または高さ）に置くなど、搬送に負荷がかからないようにしてください。
		チューブリールを使用の場合は、負荷を軽くして使用してください。
	搬送ローラーが汚れていませんか。	搬送ローラーを清掃してください。月に 1 回程度の清掃をおすすめします。（→ P.121）
	搬送ローラーで挟まれていた部分の変形が原因で、チューブがうまく送れていない可能性があります。	変形した箇所は切り取り、印字媒体をセットしなおしてください。印刷が終わったらプリンター本体からチューブを取り外しておくことで、変形を防止できる場合があります。
	ラベルテープの排出口にのりが付着していませんか。	ラベルテープの排出口にのりが付着していないか、確認してください。（→ P.25） ラベルテープの排出口にのりが付着していると、ラベルテープがつまる場合があります。
	使用環境は適切ですか。	動作環境については、「仕様（P.160）」を参照してください。 また、チューブウォーマー（オプション）を使用すると、5℃までの低温環境で印刷できます。

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
全切りできない。 半切りできない。 半切りが切れすぎる。	カッターとカッター受け台が正しくセットされていますか。	「カッターの交換（P.125）」を参考に正しくセットしてください。
	カットの深さや強さは適切ですか。	カッターの深さと強さを調整してください。 （→ P.138）
	カッターの交換時期ではありませんか？	カッターとカッター受け台を交換してください。 （→ P.125）

現象	原因 / 確認のポイント	対処方法
カット位置がずれる。 印刷箇所がカットされてしまう。 チューブが斜めにカットされる。	印字物の排出口周辺に排出を妨げる物を置いていませんか。	排出口周辺に物を置かないでください。排出を妨げる物があると、チューブやラベルテープがまっすぐに排出されず、曲がった状態でカットされることがあります。
	チューブの搬送に負荷がかかっていませんか。	本体と印字媒体を同じ台の上（または高さ）に置くなど、搬送に負荷がかからないようにしてください。
		チューブリールを使用の場合は、負荷を軽くして使用してください。
	チューブがねじれたり反ったりしていませんか。	ねじれや反りを直してからセットしてください。 (→ P.23) また、巻きぐせなどでチューブの先端が曲がっている場合は、まっすぐになるように直す、またはその部分を切り取ってから本体にセットしてください。
	お使いの印字媒体や環境によっては、印刷位置がずれたり、1 本 (または 1 枚) の長さが設定と異なってしまったりすることがあります。	印刷位置やカット長を微調整してください。 (→ P.91) 長さ補正を調整しても改善されない場合は、半切りを「なし」に設定してはさみ等でカットしてください。

メッセージが表示された

本製品の操作中や印刷中にトラブルが発生すると、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

メッセージ	内容 / 対処方法
入力された値は設定範囲外です。	設定範囲内の数値を入力してください。
ペーストするデータがありません。	ページをカットまたはコピーして、ペーストするデータを用意してください。
空き容量不足 これ以上文字の入力はできません。	文字を入力するために必要なメモリーが不足しています。(→ P.160) 作成した文字データをいったん保存し、画面に表示されている文字をすべて消去してから新たな文字を入力してください。
長さオーバー 入力データが設定長を超えています。	設定範囲内の数値を入力してください。
このページには既に連番が設定されています。	連番の設定は、1 ページに 1 カ所のみです。
文字数オーバー 入力可能文字数を超えています。	入力可能な文字数で入力しなおしてください。
××××××××は既に存在します。名前を変更してください。	別のフォルダー名にしてください。
空き容量不足 これ以上保存できません。	ファイルを保存するために必要なメモリーが不足しています。不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。
ファイルはありません	プリンターにファイルが 1 つも保存されていません。
選択したフォルダー内にファイルはありません。	選択したフォルダー内にファイルが 1 つも保存されていません。フォルダーを選びなおしてください。

メッセージ	内容 / 対処方法
選択したフォルダー内に既に 99 ファイル保存されています。	1 フォルダーに保存できるのは最大 99 ファイルまでです。不要なファイルを削除してから保存するか、別のフォルダーに保存してください。
1.3mm 角／ 2mm 角では漢字の入力はできません。	文字サイズを 2.6mm 以上に変更してください。(→ P.52)
文字数オーバー 変更できません。	指定したカット長の文字数制限を超えました。カット長の設定を変更する(→ P.64)、または文字を削除してください。
入力できません カット長または文字サイズを変更してください。	設定されている文字サイズとカット長では、入力できません。カット長(→ P.64)または文字サイズ(→ P.52)を変更してください。
連番設定されたデータがあります。	分割、結合しようとしているページに連番が設定されています。連番部分を削除してください。(→ P.61)
文字データがありません。	印刷設定画面を表示するときは、あらかじめ文字を入力しておく必要があります。[印刷] キーを押す前に文字を入力してください。
カット長を超えるデータは削除されます。よろしいですか？	「 はい 」を選んだ場合は、カット長を超えるデータが自動で削除されます。 「 いいえ 」を選んだ場合は中止します。カット長または文字数を変更してください。
カバーを閉じて何かキーを押してください	カバーを開けた状態では印刷できません。カバーを閉じて任意のキーを押してください。
印字媒体がセットされていません。	印字媒体を正しくセットしなおしてください。 [Enter] キーを押すと印刷を開始します。(→ P.21)
	チューブの種類によっては、チューブを検知できない場合があります。このときは、印刷設定の印字媒体を「 透明チューブ 」に設定して印刷してください。(→ P.82)
リボンカセットがセットされていません。	リボンカセットをセットしてください。[Enter] キーを押すと印刷を再開します。(→ P.18)

メッセージ	内容 / 対処方法
印字媒体終了 印字媒体を引き抜いてください。	印刷中に印字媒体がなくなりました。印字媒体を本体から引き抜き、任意のキーを押してください。新しい印字媒体に交換したあと［Enter］キーを押すと、中断したページから印刷を再開します。（→ P.21）
新しい印字媒体をセットしてください。	新しい印字媒体をセットし、［Enter］キーを押すと印刷を再開します。（→ P.21）
リボン終了 リボンカセットを交換してください。	新しいリボンカセットに交換し、［Enter］キーを押すと中断したページから印刷を再開します。
印字ヘッド位置を初期化できません。	任意のキーを押してください。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口にご連絡ください。
印字ヘッドを印刷位置に移動できません。	
カッター位置を初期化できません。	
サイズ切り替えレバーの位置が合っていません。印刷を続けますか？	印刷設定画面で設定した印字媒体のサイズと、サイズ切り替えレバーの位置が合っていません。（→ P.32） 「はい」を選ぶと、印刷を開始します。 設定し直す場合は、「いいえ」を選び、画面の指示に従ってサイズ切り替えレバーを正しい位置に設定してください。任意のキーを押すと印刷を開始します。
データチェック 全設定を初期化します。	データにエラーが発生し、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻りました。保存ファイルもすべて削除されています。
ファイル保存中に電源が切られました。保存データをチェックしています。	保存ファイルを確認してください。保存されていないデータは、保存しなおしてください。
ファイル呼出し中に電源が切られました。入力データを初期化します。	入力中のデータは削除されます。データを入力しなおしてください。
ファイル削除中に電源が切られました。保存データをチェックしています。	保存ファイルを確認してください。削除されていないファイルは削除してください。

メッセージ	内容 / 対処方法
搬送エラー 搬送路内に媒体が詰まっています。	印刷中に印字媒体がつまりました。画面の指示に従って、つまった印字媒体を取り除いてください。 (→ P.138)
リボンカセットの情報が読み取れませんでした。残量が表示できません。	リボンカセットの IC チップから情報が読み取れませんでした。または、すでに使い切ったリボンカセットがセットされています。 任意のキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。
電源を入れ直してください。	電源を入れなおしてください。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口にご連絡ください。
ウォーマーの温度が上昇しません。ウォーマーをオフしました。	プリンター本体の電源を切り、チューブウォーマーをセットしなおしてください。(→ P.31) それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口にご連絡ください。
ウォーマーの温度を制御できません。ウォーマーをオフしました。	
電源を切り、ＡＣアダプターを確認してください。	電源を切り、AC アダプターのプラグをコンセントから抜いたあと、修理対応窓口に連絡してください。
ファームウェアアップデートが失敗しました。再度アップデートを実施してください。	任意のキーを押して、再度パソコンからファームウェア更新ファイル (.exe) を実行してください。 (→ P.157)
電池残量が減っています。操作を継続しますか？	電池が消耗しています。「 はい 」を選ぶと、印刷を続けることができます。印刷が終了したら、一度電源を切ってください。そのあと、電池を交換するか AC アダプターを接続してください。
カット長の制限を超えています。カット長を変更しますか？	「 はい 」を選んだ場合は、印刷媒体に合わせて、自動でカット長を変更します。 「 いいえ 」を選んだ場合は、中止します。カット長または文字数を変更してください。

メッセージ	内容 / 対処方法
これ以上受信できません。文字数を調整して再送信してください。	文字を受信するために必要なメモリーが不足しています。(→ P.160) 文字数を減らして、再度送信してください。
1.3mm 角／ 2mm 角では呼び出せない文字を削除しました。	文字サイズが「 1.3 mm 全角 」、「 2 mm 半角 」、「 2 mm 全角 」に設定されている場合、漢字は入力できません。そのため、文字サイズが「 1.3 mm 全角 」、「 2 mm 半角 」、「 2 mm 全角 」に設定しているデータに漢字を含むファイルを「 文字のみ 」で呼び出すと漢字を削除して表示します。
呼び出したデータがカット長を超えています。カット長を超えるデータを削除しました。	カット長を指定しているデータにカット長を超える文字が入力されているファイルを「 文字のみ 」で呼び出すと、カット長を超える文字を削除して表示します。

ファームウェアをアップデートする

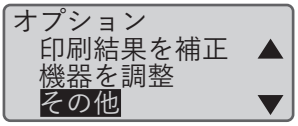
機能が追加されたり、機能に不具合があったときなどにファームウェアは更新されます。機器の機能や操作性の向上のために、常に最新のファームウェアを使用することをおすすめします。

ファームウェアのバージョンを確認する

ファームウェアを更新する前に本製品のファームウェアバージョンを確認してください。

1 [オプション] キーを押す

2 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「 デバイス情報 」を選び、[Enter] キーを押す



4 ファームウェアバージョンを確認する

- 画面には、以下の内容が表示されます。

表示項目	表示内容
S/N	本体のシリアルナンバー
Main	本体のファームウェアバージョン
Font	フォントバージョン



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

ファームウェアのアップデートを実行する

重要

- ファームウェアのアップデート前に以下を準備してください。
  - 最新のファームウェア更新ファイル (.exe) をキヤノンホームページからダウンロードしてください。
    ダウンロードサイト canon.jp/download
- ファームウェアをアップデートするときは、AC アダプターを使用してください。
- 複数台のプリンターを同時にアップデートすることはできません。MK5000 または MK3000 のいずれか 1 台のみ接続してください。
- 他の起動中のアプリケーションソフトは、すべて終了してください。

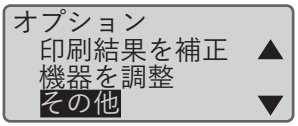
1 プリンターに AC アダプターを接続する (→ P.12)

2 USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続する

3 プリンターの電源を入れる (→ P.15)

4 [オプション] キーを押す

5 [▲] または [▼] で「 その他 」を選び、[Enter] キーを押す

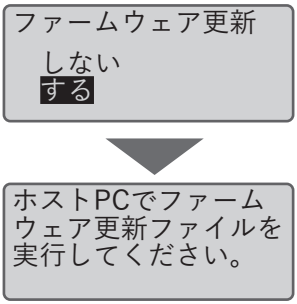


6 [▲] または [▼] で「 ファームウェア更新 」を選び、[Enter] キーを押す



7 [▲] または [▼] で「 する 」を選び、[Enter] キーを押す

- 「 する 」を選ぶと、プリンターはファームウェア更新ファイルからの受信待機状態になります。



メモ

- 受信待機状態を解除したい場合は、いったんプリンターの電源を切ってください。

8 パソコンからファームウェア更新ファイル (.exe) を実行する

- 現在のファームウェアバージョンとアップデーターのバージョンを確認したあと、[送信] を押します。
- アップデートが完了すると、自動でプリンターの電源が切れます。

重要

- ファームウェアのアップデート中は、以下のことを行わないでください。
  - 電源を切る
  - USB ケーブルを抜く
  - プリンターの各部を操作する
  - アプリケーションやプリンタードライバーからプリンターにデータを送信する
  - パソコンをスリープ状態にする (スリープ状態になると、アップデートが正常に行われないことがあります)
- 以下の場合は、アップデートが正しく行われていない可能性があります。ファームウェアのバージョンを確認してください。
  - 停電などによりアップデートが中断してしまった場合
  - アップデートを開始して 20 分以上経過しても、アップデート完了のダイアログボックスが表示されない場合

9 アップデートの完了を確認したら、ファームウェア更新ファイルの画面を閉じる

- 以上で、ファームウェアのアップデートは完了です。

Chapter 6

付録

仕様 160
プリンター本体 160
印字媒体 162
機能一覧 165
ローマ字 / かな入力表 167
記号一覧表 169
区点コード表 170
索引 182

仕様

プリンター本体

製品名	MK3000
印刷方式	熱転写印刷方式
解像度	300dpi
印刷速度	高速モード：25mm/ 秒 低速モード：18.5 mm/ 秒
印刷処理速度 <印刷条件> チューブ連続印刷： カット長 20mm、5 文字 (3mm 全角)、半切りあり、カット強さ標準	高速モード (25 mm/ 秒)： 35 本 / 分 低速モード (18.5 mm/ 秒)： 30 本 / 分
カット長	チューブ：8 mm~150 mm ラベルテープ：4 mm~150 mm
インクリボン	リボンカセット (黒色：40 m/150 m、白色：85 m)
文字サイズ	1.3mm 全角、2 mm 全角 / 半角、 2.6 mm 全角 / 半角、3 mm 全角 / 半角、 4 mm 全角 / 半角、6 mm 全角 / 半角 (ただし、1.3mm 全角、2 mm 全角 / 半角は漢字不可)
文字種類	JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準、記号類
入力方法	ゴムキーボード ローマ字かな漢字変換入力、 ひらがな入力、カタカナ入力、英数字入力、 区点コード入力、記号入力
辞書数	約 80,000 語
表示方法	バックライト付き液晶表示器によるグラフィック表示 (160 × 64 ドット)
ディスプレイ表示文字数	入力データ 10 文字× 2 行 (全角表示時)

メモリー容量		印刷文字データ記憶部 約 5,000 文字 ファイル保存記憶部 約 250,000 文字 フォルダー数：10
カット方式		自動半切り、自動全切り
電源	AC アダプター (PR-TP001) 使用	100 ～ 240 V　50/60 Hz　0.74 A
	充電式電池	エネループ（eneloop）単 3 形スタンダードモデル（品番：BK-3MCC）× 6 本
インターフェイス		USB2.0 Full-Speed（USB1.1 対応可能）*1
動作環境		温度 15℃～ 32.5℃、湿度 10% ～ 85%（ただし結露なきこと） * チューブウォーマー（オプション）使用時は 5℃～ 18℃
最大消費電力		24W
本体寸法		幅（W）272 mm ×奥行（D）318 mm × 高さ（H）97 mm
本体質量		2.7 kg（本体のみ）

*1　ファームウェアのバージョンアップ時のみ使用します。

印字媒体

印刷に使用できる印字媒体は以下のとおりです。

チューブ *1	ポリ塩化ビニル (PVC) チューブ	内径：φ 1.5 mm ～φ 10 mm 厚さ：0.4 mm ～ 0.6 mm * チューブウォーマー使用時：φ 1.5 mm ～ 6.5 mm
	透明チューブ	
	熱収縮チューブ	内径：φ 1.5 mm ～φ 10mm 厚さ：0.2 mm ～ 0.4 mm
	キープチューブ	内径：φ 3.0 mm ～φ 5.5 mm 厚さ：0.4 mm、0.5 mm
ラベルテープ		専用カセット (白色、黄色、銀色) 幅：6mm、9mm、12mm 、長さ 30m (銀色 27m)
フラットチューブ (扁平形チューブ) *1*2		内径：φ 1.5 mm ～φ 6.5 mm、幅：11.2 mm 以下、 厚さ：0.4 mm ～ 0.6 mm

*1　チューブ (キープチューブを除く) は市販品をお求めください。また、市販のチューブの中には、本プリンターで印刷できないものがあります。事前に動作確認をしてからご使用ください。

*2　オプションの記名板・フラットチューブアタッチメントが必要です。

消耗品 / オプション一覧

本製品の消耗品とオプションは以下のとおりです。
詳しくは、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

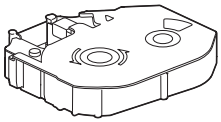
メモ

- チューブ (キープチューブを除く) は市販品をお求めください。詳しくは、「 仕様 」の「 印字媒体 (P.162)」を参照してください。
- キープチューブの入手方法については、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにご連絡ください。

■ 消耗品

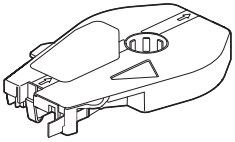
● リボンカセット

黒色：40 m /150 m
白色：85 m

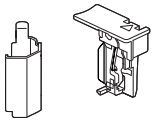


● ラベルテープカセット

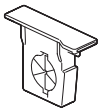
幅：6mm/9mm/12mm
色：白色 / 黄色 / 銀色



● カッターセット



● クリーナー

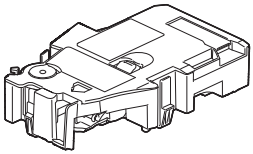


* 青色
* チューブアタッチメント、記名板・フラットチューブアタッチメント (フラットチューブ印刷時に使用)、チューブウォーマー共通

■ オプション

● チューブウォーマー

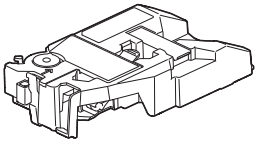
寒さで硬くなったチューブを温めるための装置です。チューブウォーマーを使うと、低温環境でもきれいに印刷できます。



● 記名板・フラットチューブアタッチメント

記名板、フラットチューブに印刷するときに使います。

* 記名板への印刷は MK5000 のみ対応
* クリーナー（青色）と記名板用クリーナー（灰色）各 1 個を付属



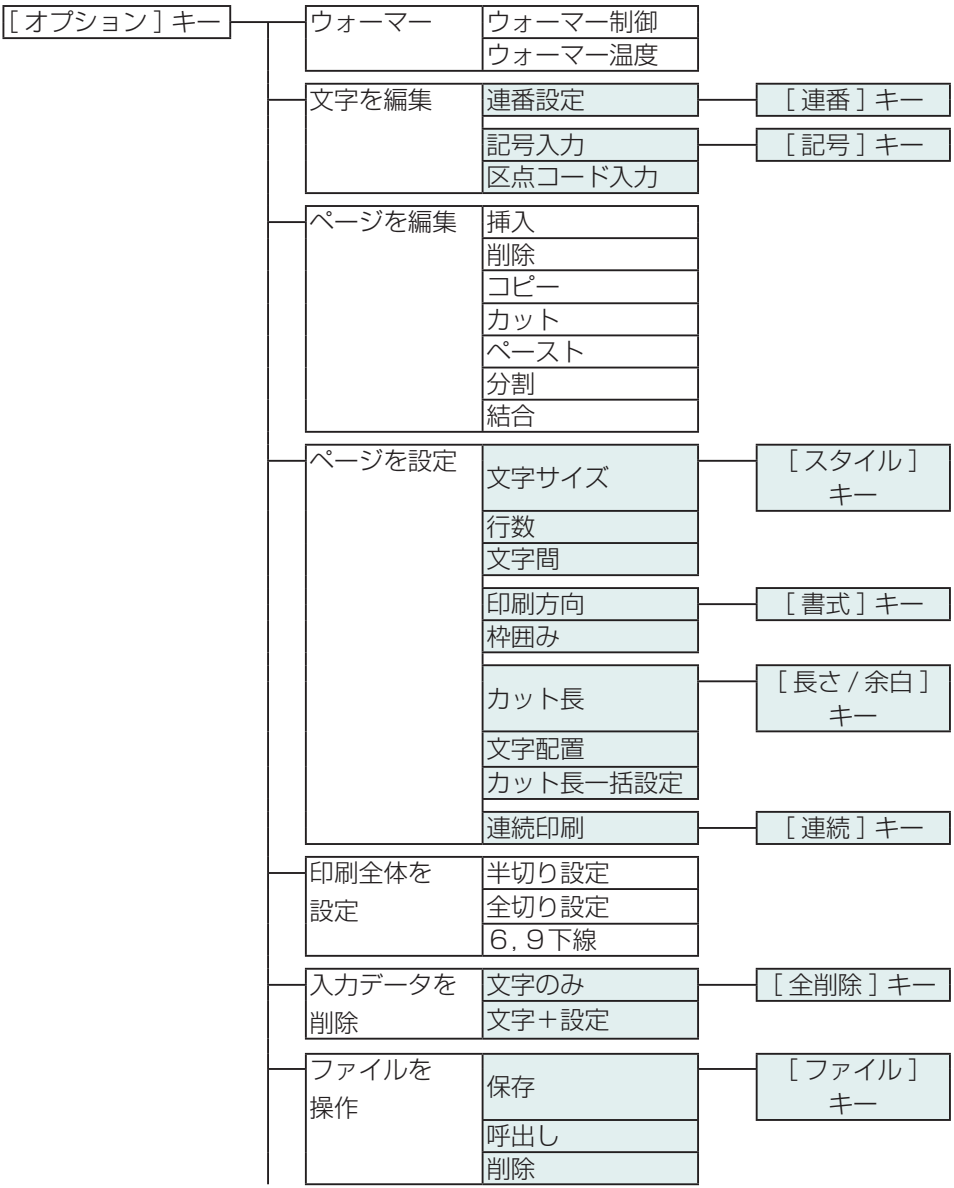


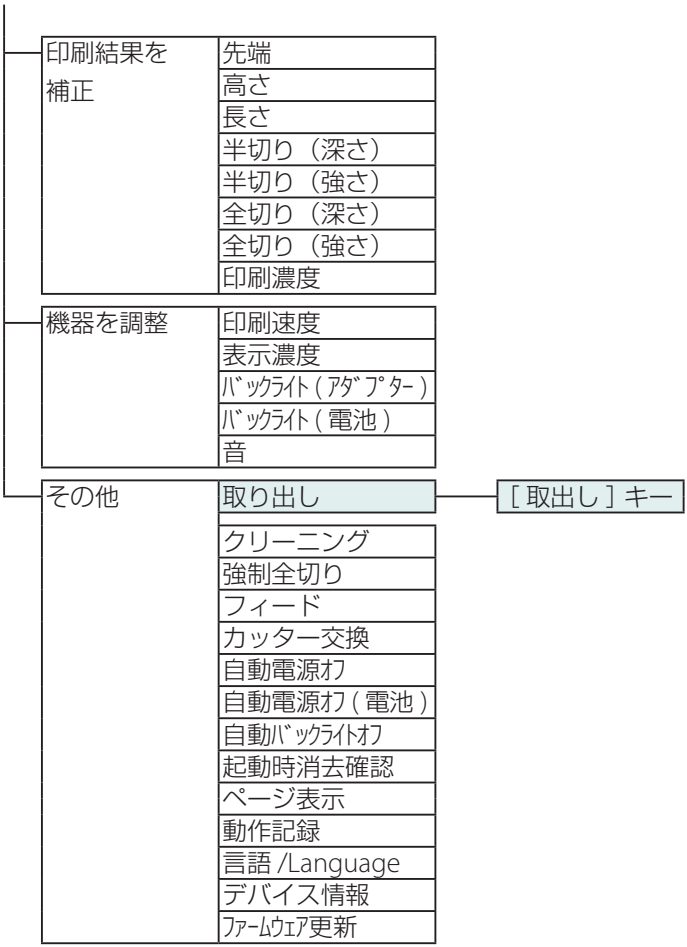
● チューブアタッチメント　* 本製品の同梱品と同等

● 電源ケーブル、AC アダプター（ PR-TP001 ）セット　* 本製品の同梱品と同等

機能一覧

各機能キーから設定できる機能は以下のとおりです。すべての機能は、［オプション］キーから設定できます。




印刷結果を補正
先端
高さ
長さ
半切り（深さ）
半切り（強さ）
全切り（深さ）
全切り（強さ）
印刷濃度
機器を調整
印刷速度
表示濃度
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ(ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ)
ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ(電池)
音
その他
取り出し
［取出し］キー
クリーニング
強制全切り
フィード
カッター交換
自動電源ｵﾌ
自動電源ｵﾌ(電池)
自動ﾊﾞｯｸﾗｲﾄｵﾌ
起動時消去確認
ページ表示
動作記録
言語 /Language
デバイス情報
ﾌｧｰﾑｳｪｱ更新

ローマ字 / かな入力表

ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O	ァ LA XA	ィ LI XI	ゥ LU XU	ェ LE XE	ォ LO XO
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO					
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU ッ LTU XTU	テ TE	ト TO	チャ TYA CYA CHA テャ THA ツァ TSA	チィ TYI CYI ティ THI ツィ TSI	チュ TYU CYU CHU テュ THU	チェ TYE CYE CHE テェ THE ツェ TSE	チョ TYO CYO CHO テョ THO ツォ TSO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO	ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ HU	ヘ HE	ホ HO	ヒャ HYA ファ FA ファ FYA	ヒィ HYI フィ FI フィ FYI	ヒュ HYU フ FU フュ FYU	ヒェ HYE フェ FE フェ FYE	ヒョ HYO フォ FO フョ FYO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イェ YE	ヨ YO	ャ LYA XYA	ィ LYI XYI	ュ LYU XYU	ェ LYE XYE	ョ LYO XYO
ラ	ラ WA	リ WI	ル WU	レ WE	ロ WO	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO					

ン	ン NN N									
ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO	グァ GWA ギャ GYA	グィ GWI ギィ GYI	グゥ GWU ギュ GYU	グェ GWE ギェ GYE	グォ GWO ギョ GYO
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO	ジャ ZYA JA JYA	ジィ ZYI JYI	ジュ ZYU JU JYU	ジェ ZYE JE JYE	ジョ ZYO JO JYO
ダ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO	ヂャ DYA デャ DHA	ヂィ DYI ディ DHI	ヂュ DYU デュ DHU	ヂェ DYE デェ DHE	ヂョ DYO デョ DHO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO					

※　子音を連続して入力すると「っ」が表示されます。ただし、NNと入力した場合は「ん」が表示されます。

記号一覧表

< 記号 1>



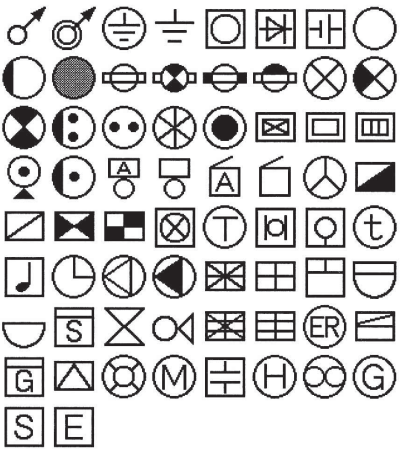
< 記号 2>



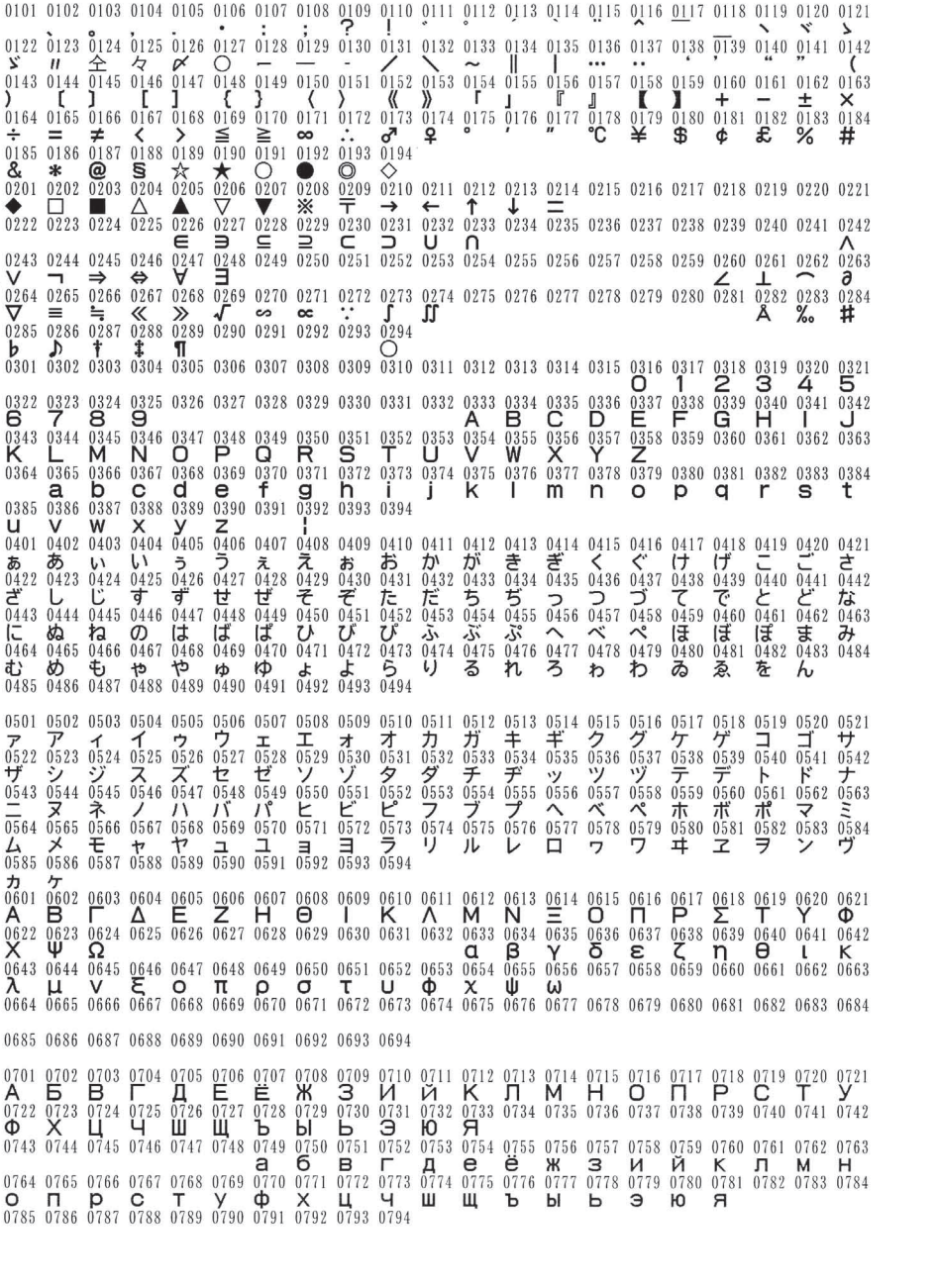
< 記号 3>

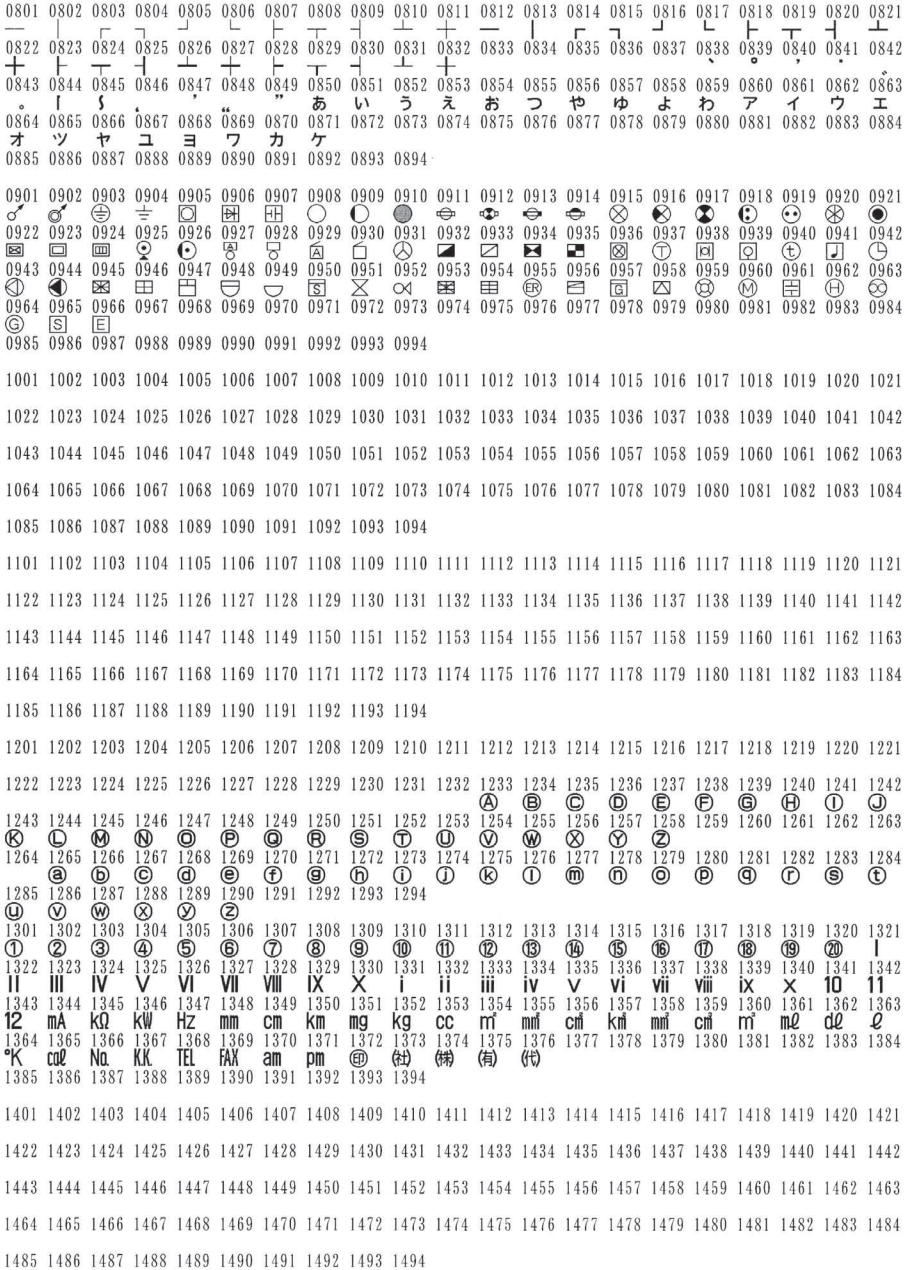


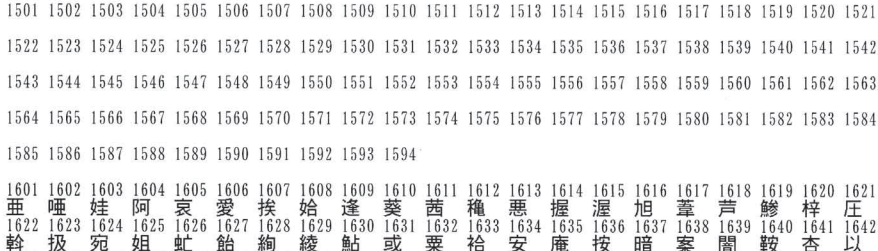
< 記号 4>



区点コード表











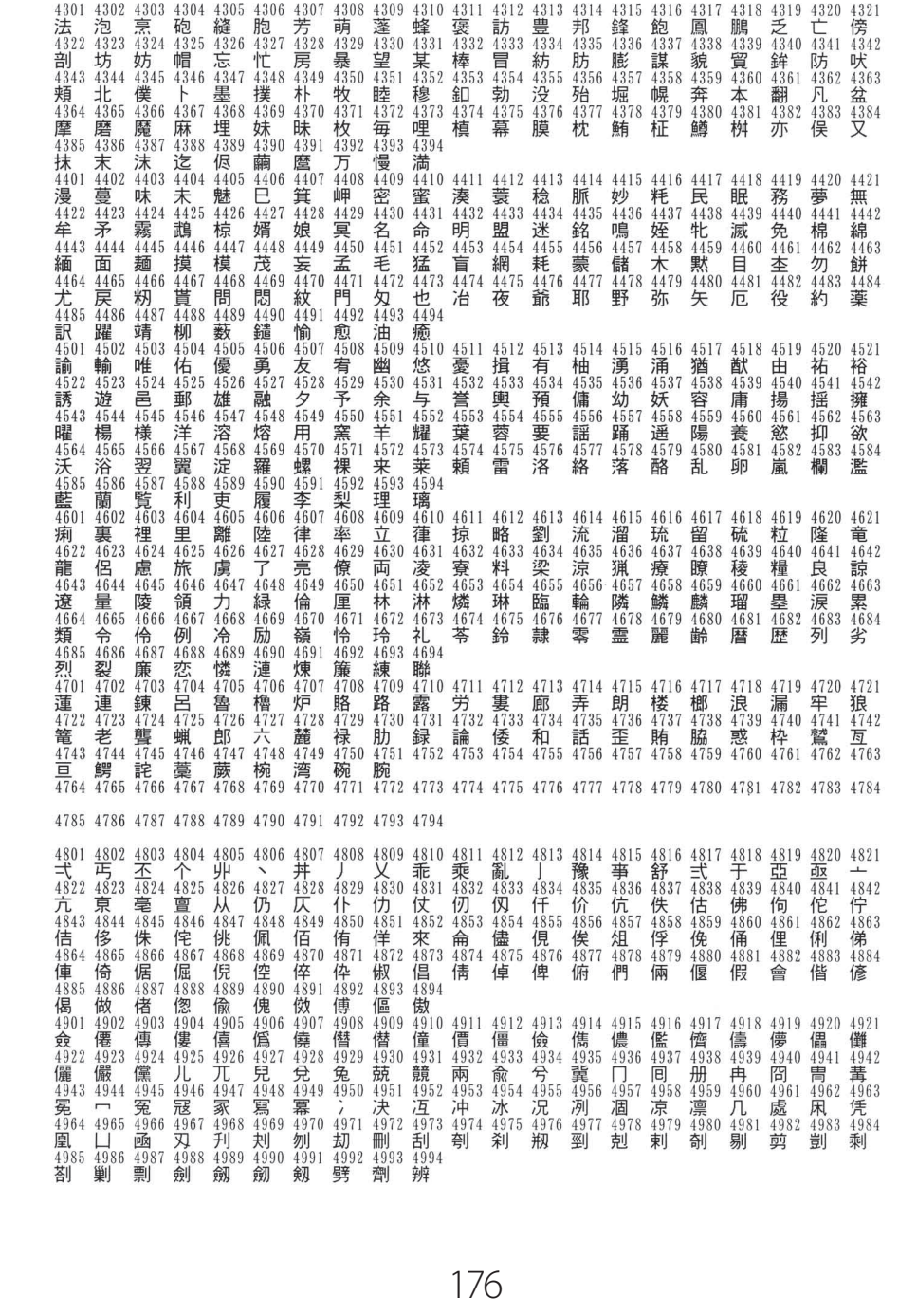


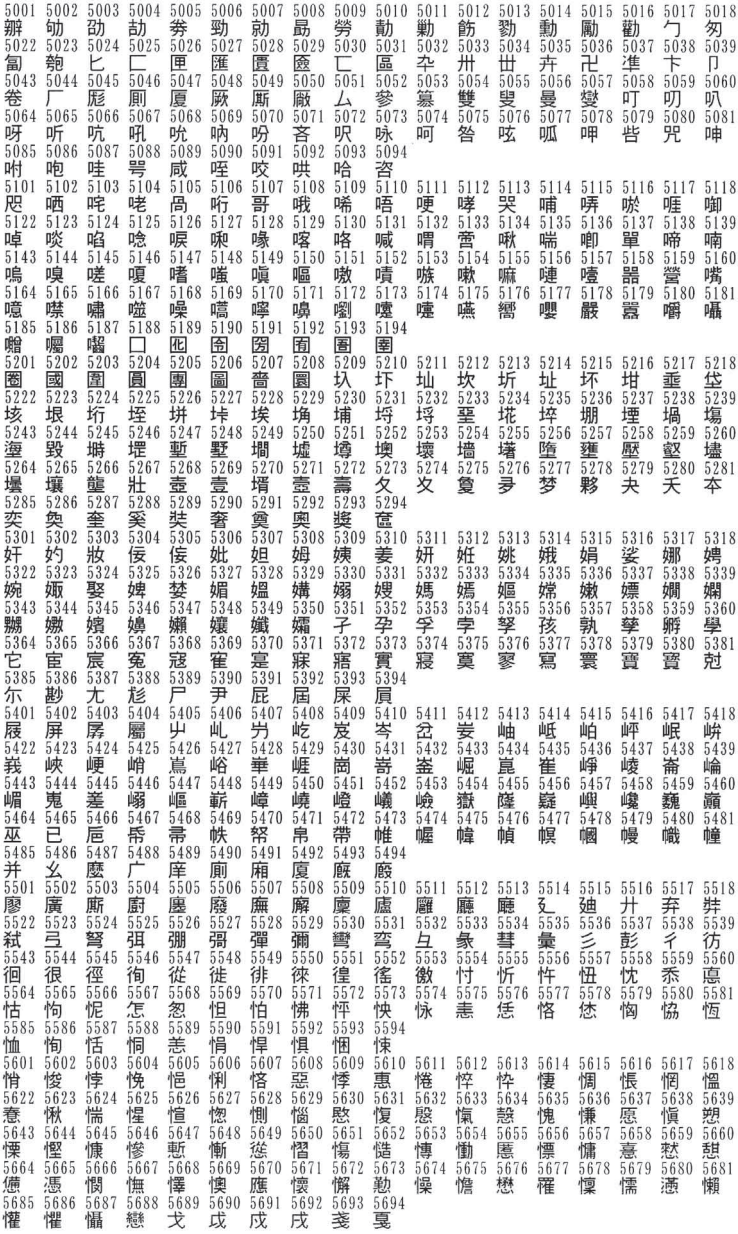


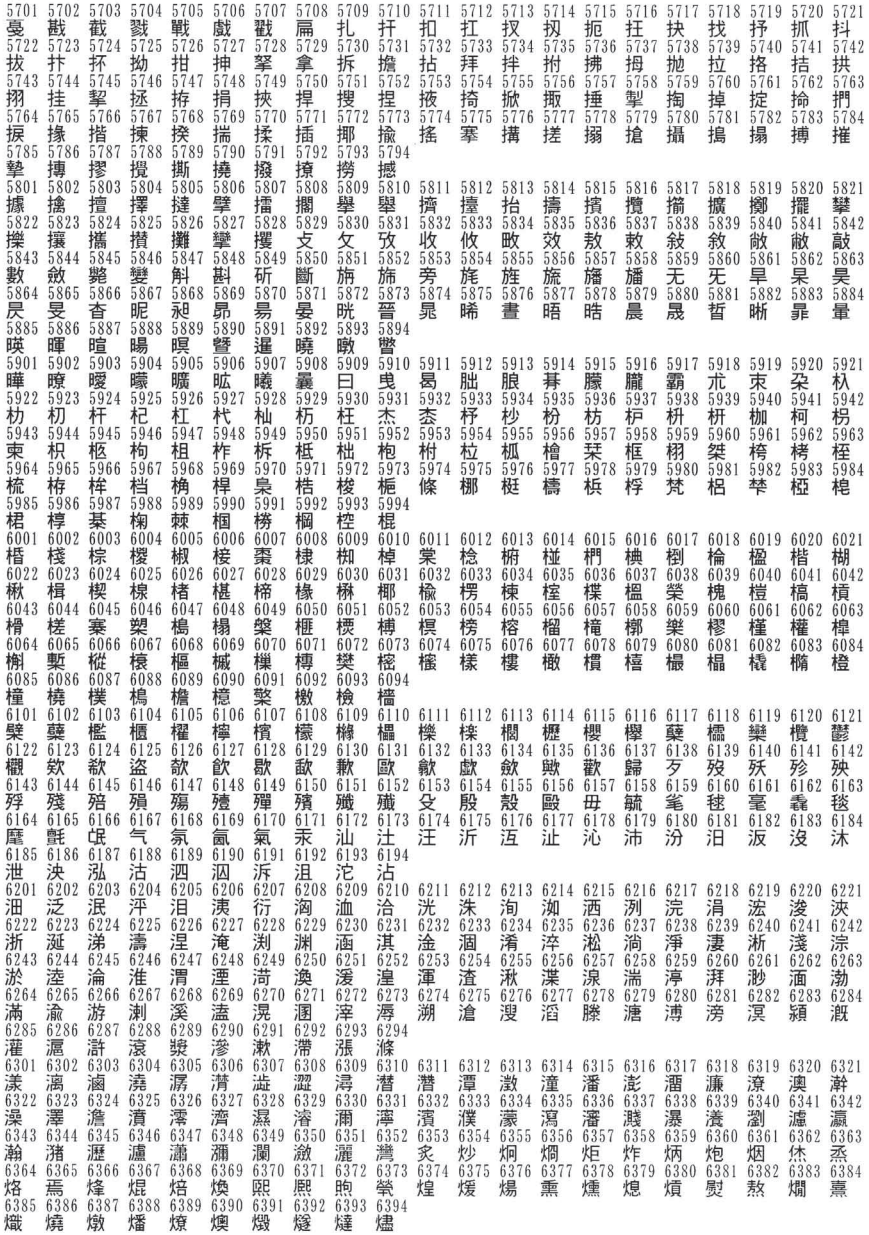
2201	2202	2203	2204	2205	2206	2207	2208	2209	2210	2211	2212	2213	2214	2215	2216	2217	2218	2219	2220	2221
供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教
2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2230	2231	2232	2233	2234	2235	2236	2237	2238	2239	2240	2241	2242
橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蒐	郷	鏡	響	鏡	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲
2243	2244	2245	2246	2247	2248	2249	2250	2251	2252	2253	2254	2255	2256	2257	2258	2259	2260	2261	2262	2263
極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
2264	2265	2266	2267	2268	2269	2270	2271	2272	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2279	2280	2281	2282	2283	2284
謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰
2285	2286	2287	2288	2289	2290	2291	2292	2293	2294											
空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈											
2301	2302	2303	2304	2305	2306	2307	2308	2309	2310	2311	2312	2313	2314	2315	2316	2317	2318	2319	2320	2321
掘	窟	沓	靴	響	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦
2322	2323	2324	2325	2326	2327	2328	2329	2330	2331	2332	2333	2334	2335	2336	2337	2338	2339	2340	2341	2342
袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景
2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349	2350	2351	2352	2353	2354	2355	2356	2357	2358	2359	2360	2361	2362	2363
桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
2364	2365	2366	2367	2368	2369	2370	2371	2372	2373	2374	2375	2376	2377	2378	2379	2380	2381	2382	2383	2384
劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券
2385	2386	2387	2388	2389	2390	2391	2392	2393	2394											
剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲											
2401	2402	2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412	2413	2414	2415	2416	2417	2418	2419	2420	2421
検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元
2422	2423	2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433	2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442
原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己
2443	2444	2445	2446	2447	2448	2449	2450	2451	2452	2453	2454	2455	2456	2457	2458	2459	2460	2461	2462	2463
庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
2464	2465	2466	2467	2468	2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478	2479	2480	2481	2482	2483	2484
伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯
2485	2486	2487	2488	2489	2490	2491	2492	2493	2494											
候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向											
2501	2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511	2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521
后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控
2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2531	2532	2533	2534	2535	2536	2537	2538	2539	2540	2541	2542
攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞
2543	2544	2545	2546	2547	2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557	2558	2559	2560	2561	2562	2563
綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
2564	2565	2566	2567	2568	2569	2570	2571	2572	2573	2574	2575	2576	2577	2578	2579	2580	2581	2582	2583	2584
項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠
2585	2586	2587	2588	2589	2590	2591	2592	2593	2594											
黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込											
2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609	2610	2611	2612	2613	2614	2615	2616	2617	2618	2619	2620	2621
此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉
2622	2623	2624	2625	2626	2627	2628	2629	2630	2631	2632	2633	2634	2635	2636	2637	2638	2639	2640	2641	2642
唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻
2643	2644	2645	2646	2647	2648	2649	2650	2651	2652	2653	2654	2655	2656	2657	2658	2659	2660	2661	2662	2663
宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
2664	2665	2666	2667	2668	2669	2670	2671	2672	2673	2674	2675	2676	2677	2678	2679	2680	2681	2682	2683	2684
材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵
2685	2686	2687	2688	2689	2690	2691	2692	2693	2694											
窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷											
2701	2702	2703	2704	2705	2706	2707	2708	2709	2710	2711	2712	2713	2714	2715	2716	2717	2718	2719	2720	2721
察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒
2722	2723	2724	2725	2726	2727	2728	2729	2730	2731	2732	2733	2734	2735	2736	2737	2738	2739	2740	2741	2742
散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司
2743	2744	2745	2746	2747	2748	2749	2750	2751	2752	2753	2754	2755	2756	2757	2758	2759	2760	2761	2762	2763
史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
2764	2765	2766	2767	2768	2769	2770	2771	2772	2773	2774	2775	2776	2777	2778	2779	2780	2781	2782	2783	2784
死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼
2785	2786	2787	2788	2789	2790	2791	2792	2793	2794											
歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時											
2801	2802	2803	2804	2805	2806	2807	2808	2809	2810	2811	2812	2813	2814	2815	2816	2817	2818	2819	2820	2821
次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍
2822	2823	2824	2825	2826	2827	2828	2829	2830	2831	2832	2833	2834	2835	2836	2837	2838	2839	2840	2841	2842
雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞
2843	2844	2845	2846	2847	2848	2849	2850	2851	2852	2853	2854	2855	2856	2857	2858	2859	2860	2861	2862	2863
舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
2864	2865	2866	2867	2868	2869	2870	2871	2872	2873	2874	2875	2876	2877	2878	2879	2880	2881	2882	2883	2884
酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒
2885	2886	2887	2888	2889	2890	2891	2892	2893	2894											
受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周											

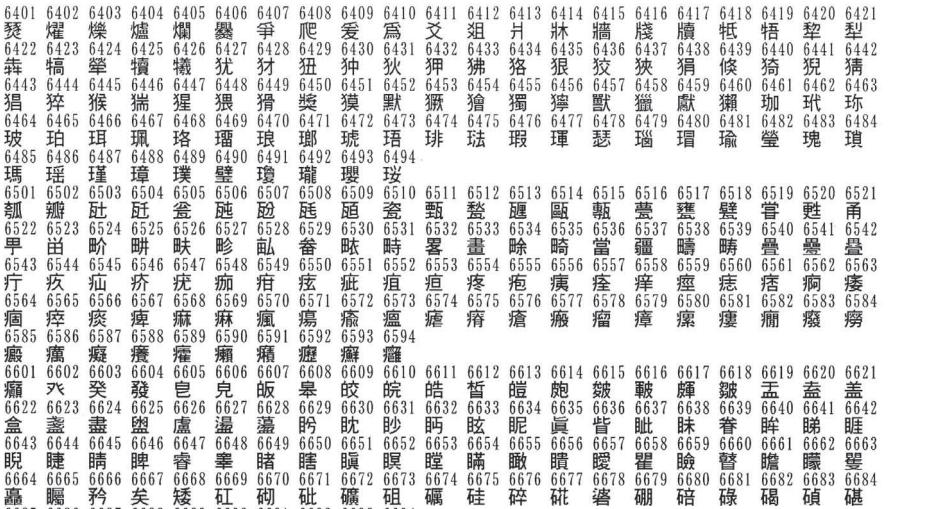
2901 宗
2902 就
2903 州
2904 修
2905 愁
2906 拾
2907 洲
2908 秀
2909 秋
2910 終
2911 繍
2912 習
2913 臭
2914 舟
2915 蒐
2916 衆
2917 襲
2918 讐
2919 蹴
2920 輯
2921 週
2922 酋
2923 酬
2924 集
2925 醜
2926 什
2927 住
2928 充
2929 十
2930 従
2931 戎
2932 柔
2933 汁
2934 渋
2935 獣
2936 縦
2937 重
2938 銃
2939 叔
2940 夙
2941 宿
2942 淑
2943 祝
2944 縮
2945 粛
2946 塾
2947 熟
2948 出
2949 術
2950 述
2951 俊
2952 峻
2953 春
2954 瞬
2955 竣
2956 舜
2957 駿
2958 准
2959 循
2960 旬
2961 楯
2962 殉
2963 淳
2964 準
2965 潤
2966 盾
2967 純
2968 巡
2969 遵
2970 醇
2971 順
2972 処
2973 初
2974 所
2975 暑
2976 曙
2977 渚
2978 庶
2979 緒
2980 署
2981 書
2982 薯
2983 藷
2984 諸
2985 助
2986 叙
2987 女
2988 序
2989 徐
2990 恕
2991 鋤
2992 除
2993 傷
2994 償
3001 勝
3002 匠
3003 升
3004 召
3005 哨
3006 商
3007 唱
3008 嘗
3009 奨
3010 妾
3011 娼
3012 宵
3013 将
3014 小
3015 少
3016 尚
3017 庄
3018 床
3019 廠
3020 彰
3021 承
3022 抄
3023 招
3024 掌
3025 捷
3026 昇
3027 昌
3028 昭
3029 晶
3030 松
3031 梢
3032 樟
3033 樵
3034 沼
3035 消
3036 渉
3037 湘
3038 焼
3039 焦
3040 照
3041 症
3042 省
3043 硝
3044 礁
3045 祥
3046 称
3047 章
3048 笑
3049 粧
3050 紹
3051 肖
3052 菖
3053 蒋
3054 蕉
3055 衝
3056 裳
3057 訟
3058 証
3059 詔
3060 詳
3061 象
3062 賞
3063 醤
3064 鉦
3065 鍾
3066 鐘
3067 障
3068 鞘
3069 上
3070 丈
3071 丞
3072 乗
3073 冗
3074 剰
3075 城
3076 場
3077 壌
3078 嬢
3079 常
3080 情
3081 擾
3082 条
3083 杖
3084 浄
3085 状
3086 畳
3087 穣
3088 蒸
3089 譲
3090 醸
3091 錠
3092 嘱
3093 埴
3094 飾
3101 拭
3102 植
3103 殖
3104 燭
3105 織
3106 職
3107 色
3108 触
3109 食
3110 蝕
3111 辱
3112 尻
3113 伸
3114 信
3115 侵
3116 唇
3117 娠
3118 寝
3119 審
3120 心
3121 慎
3122 振
3123 新
3124 晋
3125 森
3126 榛
3127 浸
3128 深
3129 申
3130 疹
3131 真
3132 神
3133 秦
3134 紳
3135 臣
3136 芯
3137 薪
3138 親
3139 診
3140 身
3141 辛
3142 進
3143 針
3144 震
3145 人
3146 仁
3147 刃
3148 塵
3149 壬
3150 尋
3151 甚
3152 尽
3153 腎
3154 訊
3155 迅
3156 陣
3157 靭
3158 笥
3159 諏
3160 須
3161 酢
3162 図
3163 厨
3164 逗
3165 吹
3166 垂
3167 帥
3168 推
3169 水
3170 炊
3171 睡
3172 粋
3173 翠
3174 衰
3175 遂
3176 酔
3177 錐
3178 錘
3179 随
3180 瑞
3181 髄
3182 崇
3183 嵩
3184 数
3185 枢
3186 趨
3187 雛
3188 据
3189 杉
3190 椙
3191 菅
3192 頗
3193 雀
3194 裾
3201 澄
3202 摺
3203 寸
3204 世
3205 瀬
3206 畝
3207 是
3208 凄
3209 制
3210 勢
3211 姓
3212 征
3213 性
3214 成
3215 政
3216 整
3217 星
3218 晴
3219 棲
3220 栖
3221 正
3222 清
3223 牲
3224 生
3225 盛
3226 精
3227 聖
3228 声
3229 製
3230 西
3231 誠
3232 誓
3233 請
3234 逝
3235 醒
3236 青
3237 静
3238 斉
3239 税
3240 脆
3241 隻
3242 席
3243 惜
3244 戚
3245 斥
3246 昔
3247 析
3248 石
3249 積
3250 籍
3251 績
3252 脊
3253 責
3254 赤
3255 跡
3256 蹟
3257 碩
3258 切
3259 拙
3260 接
3261 摂
3262 折
3263 設
3264 窃
3265 節
3266 説
3267 雪
3268 絶
3269 舌
3270 蝉
3271 仙
3272 先
3273 千
3274 占
3275 宣
3276 専
3277 尖
3278 川
3279 戦
3280 扇
3281 撰
3282 栓
3283 栴
3284 泉
3285 浅
3286 洗
3287 染
3288 潜
3289 煎
3290 煽
3291 旋
3292 穿
3293 箭
3294 線
3301 繊
3302 羨
3303 腺
3304 舛
3305 船
3306 薦
3307 詮
3308 賤
3309 践
3310 選
3311 遷
3312 銭
3313 銑
3314 閃
3315 鮮
3316 前
3317 善
3318 漸
3319 然
3320 全
3321 禅
3322 繕
3323 膳
3324 糎
3325 噌
3326 塑
3327 岨
3328 措
3329 曾
3330 曽
3331 楚
3332 狙
3333 疏
3334 疎
3335 礎
3336 祖
3337 租
3338 粗
3339 素
3340 組
3341 蘇
3342 訴
3343 阻
3344 遡
3345 鼠
3346 僧
3347 創
3348 双
3349 叢
3350 倉
3351 喪
3352 壮
3353 奏
3354 爽
3355 宋
3356 層
3357 匝
3358 惣
3359 想
3360 捜
3361 掃
3362 挿
3363 掻
3364 操
3365 早
3366 曹
3367 巣
3368 槍
3369 槽
3370 漕
3371 燥
3372 争
3373 痩
3374 相
3375 窓
3376 糟
3377 総
3378 綜
3379 聡
3380 草
3381 荘
3382 葬
3383 蒼
3384 藻
3385 装
3386 走
3387 送
3388 遭
3389 鎗
3390 霜
3391 騒
3392 像
3393 増
3394 憎
3401 臓
3402 蔵
3403 贈
3404 造
3405 促
3406 側
3407 則
3408 即
3409 息
3410 捉
3411 束
3412 測
3413 足
3414 速
3415 俗
3416 属
3417 賊
3418 族
3419 続
3420 卒
3421 袖
3422 其
3423 揃
3424 存
3425 孫
3426 尊
3427 損
3428 村
3429 遜
3430 他
3431 多
3432 太
3433 汰
3434 詑
3435 唾
3436 堕
3437 妥
3438 惰
3439 打
3440 柁
3441 舵
3442 楕
3443 陀
3444 駄
3445 騨
3446 体
3447 堆
3448 対
3449 耐
3450 岱
3451 帯
3452 待
3453 怠
3454 態
3455 戴
3456 替
3457 泰
3458 滞
3459 胎
3460 腿
3461 苔
3462 袋
3463 貸
3464 退
3465 逮
3466 隊
3467 黛
3468 鯛
3469 代
3470 台
3471 大
3472 第
3473 醍
3474 題
3475 鷹
3476 滝
3477 瀧
3478 卓
3479 啄
3480 宅
3481 托
3482 択
3483 拓
3484 沢
3485 濯
3486 琢
3487 託
3488 鐸
3489 濁
3490 諾
3491 茸
3492 凧
3493 蛸
3494 只
3501 叩
3502 但
3503 達
3504 辰
3505 奪
3506 脱
3507 巽
3508 竪
3509 辿
3510 棚
3511 谷
3512 狸
3513 鱈
3514 樽
3515 誰
3516 丹
3517 単
3518 嘆
3519 坦
3520 担
3521 探
3522 旦
3523 歎
3524 淡
3525 湛
3526 炭
3527 短
3528 端
3529 箪
3530 綻
3531 耽
3532 胆
3533 蛋
3534 誕
3535 鍛
3536 団
3537 壇
3538 弾
3539 断
3540 暖
3541 檀
3542 段
3543 男
3544 談
3545 値
3546 知
3547 地
3548 弛
3549 恥
3550 智
3551 池
3552 痴
3553 稚
3554 置
3555 致
3556 蜘
3557 遅
3558 馳
3559 築
3560 畜
3561 竹
3562 筑
3563 蓄
3564 逐
3565 秩
3566 窒
3567 茶
3568 嫡
3569 着
3570 中
3571 仲
3572 宙
3573 忠
3574 抽
3575 昼
3576 柱
3577 注
3578 虫
3579 衷
3580 註
3581 酎
3582 鋳
3583 駐
3584 樗
3585 瀦
3586 猪
3587 苧
3588 著
3589 貯
3590 丁
3591 兆
3592 凋
3593 喋
3594 寵

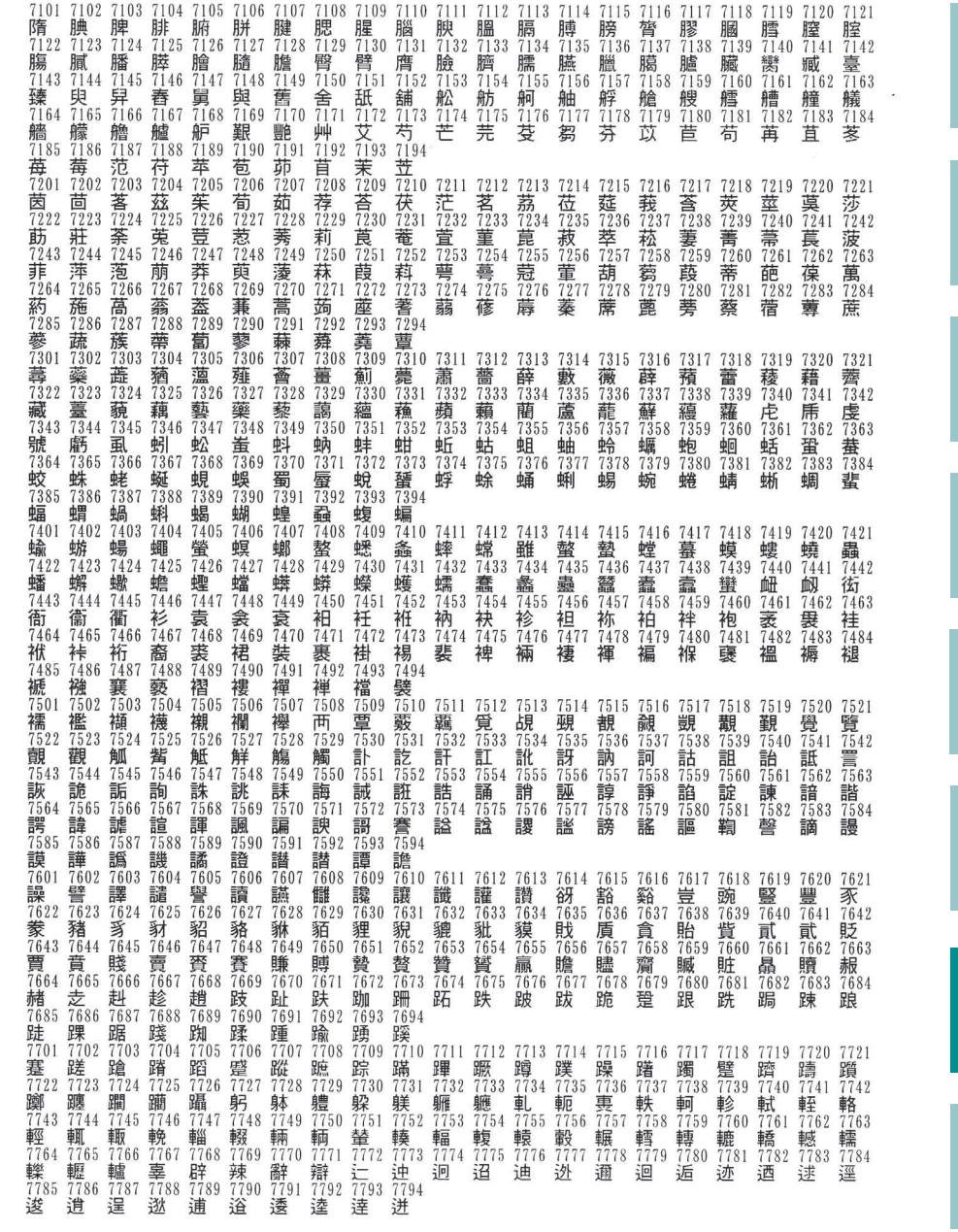
3601 帖
3602 帳
3603 庁
3604 弔
3605 張
3606 彫
3607 徴
3608 懲
3609 挑
3610 暢
3611 朝
3612 潮
3613 牒
3614 町
3615 眺
3616 聴
3617 脹
3618 腸
3619 蝶
3620 調
3621 諜
3622 超
3623 跳
3624 銚
3625 長
3626 頂
3627 鳥
3628 勅
3629 捗
3630 直
3631 朕
3632 沈
3633 珍
3634 賃
3635 鎮
3636 陳
3637 津
3638 墜
3639 椎
3640 槌
3641 追
3642 鎚
3643 痛
3644 通
3645 塚
3646 栂
3647 掴
3648 槻
3649 佃
3650 漬
3651 柘
3652 辻
3653 蔦
3654 綴
3655 鍔
3656 椿
3657 潰
3658 坪
3659 壺
3660 嬬
3661 紬
3662 爪
3663 吊
3664 釣
3665 鶴
3666 亭
3667 低
3668 停
3669 偵
3670 剃
3671 貞
3672 呈
3673 堤
3674 定
3675 帝
3676 底
3677 庭
3678 廷
3679 弟
3680 悌
3681 抵
3682 挺
3683 提
3684 梯
3685 汀
3686 碇
3687 禎
3688 程
3689 締
3690 艇
3691 訂
3692 諦
3693 蹄
3694 逓
3701 邸
3702 鄭
3703 釘
3704 鼎
3705 泥
3706 摘
3707 擢
3708 敵
3709 滴
3710 的
3711 笛
3712 適
3713 鏑
3714 溺
3715 哲
3716 徹
3717 撤
3718 轍
3719 迭
3720 鉄
3721 典
3722 填
3723 天
3724 展
3725 店
3726 添
3727 纏
3728 甜
3729 貼
3730 転
3731 顛
3732 点
3733 伝
3734 殿
3735 澱
3736 田
3737 電
3738 兎
3739 吐
3740 堵
3741 塗
3742 妬
3743 屠
3744 徒
3745 斗
3746 杜
3747 渡
3748 登
3749 菟
3750 賭
3751 途
3752 都
3753 鍍
3754 砥
3755 砺
3756 努
3757 度
3758 土
3759 奴
3760 怒
3761 倒
3762 党
3763 冬
3764 凍
3765 刀
3766 唐
3767 塔
3768 塘
3769 套
3770 宕
3771 島
3772 嶋
3773 悼
3774 投
3775 搭
3776 東
3777 桃
3778 棟
3779 痛
3780 盗
3781 淘
3782 湯
3783 涛
3784 灯
3785 燈
3786 当
3787 痘
3788 祷
3789 等
3790 答
3791 筒
3792 糖
3793 統
3794 到
3801 董
3802 蕩
3803 藤
3804 謄
3805 豆
3806 踏
3807 逃
3808 透
3809 鐙
3810 陶
3811 頭
3812 騰
3813 闘
3814 働
3815 動
3816 同
3817 堂
3818 導
3819 憧
3820 撞
3821 洞
3822 胴
3823 瞳
3824 童
3825 胴
3826 萄
3827 道
3828 銅
3829 峠
3830 鴇
3831 匿
3832 得
3833 徳
3834 涜
3835 特
3836 督
3837 禿
3838 篤
3839 毒
3840 独
3841 読
3842 栃
3843 橡
3844 凸
3845 突
3846 椴
3847 届
3848 鳶
3849 苫
3850 寅
3851 酉
3852 瀞
3853 噸
3854 屯
3855 惇
3856 敦
3857 沌
3858 豚
3859 遁
3860 頓
3861 呑
3862 曇
3863 鈍
3864 奈
3865 那
3866 内
3867 乍
3868 凪
3869 薙
3870 謎
3871 灘
3872 捺
3873 鍋
3874 楢
3875 馴
3876 縄
3877 畷
3878 南
3879 楠
3880 軟
3881 難
3882 汝
3883 二
3884 尼
3885 弐
3886 迩
3887 匂
3888 賑
3889 肉
3890 虹
3891 廿
3892 日
3893 乳
3894 入
3901 如
3902 尿
3903 韮
3904 任
3905 妊
3906 忍
3907 認
3908 濡
3909 禰
3910 祢
3911 寧
3912 葱
3913 猫
3914 熱
3915 年
3916 念
3917 捻
3918 燃
3919 燃
3920 粘
3921 乃
3922 廼
3923 之
3924 埜
3925 嚢
3926 悩
3927 濃
3928 納
3929 能
3930 脳
3931 膿
3932 農
3933 覗
3934 蚤
3935 巴
3936 把
3937 播
3938 覇
3939 杷
3940 波
3941 派
3942 琶
3943 破
3944 婆
3945 罵
3946 芭
3947 馬
3948 俳
3949 廃
3950 拝
3951 排
3952 敗
3953 杯
3954 盃
3955 牌
3956 背
3957 肺
3958 輩
3959 配
3960 倍
3961 培
3962 媒
3963 梅
3964 楳
3965 煤
3966 狽
3967 買
3968 売
3969 賠
3970 陪
3971 這
3972 蝿
3973 秤
3974 矧
3975 萩
3976 伯
3977 剥
3978 博
3979 拍
3980 柏
3981 泊
3982 白
3983 箔
3984 粕
3985 舶
3986 薄
3987 迫
3988 曝
3989 漠
3990 爆
3991 縛
3992 莫
3993 駁
3994 麦
4001 函
4002 箱
4003 硲
4004 箸
4005 肇
4006 筈
4007 櫨
4008 幡
4009 肌
4010 畑
4011 畠
4012 八
4013 鉢
4014 溌
4015 発
4016 醗
4017 髪
4018 伐
4019 罰
4020 抜
4021 筏
4022 閥
4023 鳩
4024 噺
4025 塙
4026 蛤
4027 隼
4028 伴
4029 判
4030 半
4031 反
4032 叛
4033 帆
4034 搬
4035 斑
4036 板
4037 氾
4038 汎
4039 版
4040 犯
4041 班
4042 畔
4043 繁
4044 般
4045 藩
4046 販
4047 範
4048 采
4049 煩
4050 頒
4051 飯
4052 挽
4053 晩
4054 番
4055 盤
4056 磐
4057 蕃
4058 蛮
4059 匪
4060 卑
4061 否
4062 妃
4063 庇
4064 彼
4065 悲
4066 扉
4067 批
4068 披
4069 斐
4070 比
4071 泌
4072 疲
4073 皮
4074 碑
4075 秘
4076 緋
4077 罷
4078 肥
4079 被
4080 誹
4081 費
4082 避
4083 非
4084 飛
4085 樋
4086 簸
4087 備
4088 尾
4089 微
4090 枇
4091 毘
4092 琵
4093 眉
4094 美
4101 鼻
4102 柊
4103 稗
4104 匹
4105 疋
4106 髭
4107 彦
4108 膝
4109 菱
4110 肘
4111 弼
4112 必
4113 畢
4114 筆
4115 逼
4116 桧
4117 姫
4118 媛
4119 紐
4120 百
4121 謬
4122 俵
4123 彪
4124 標
4125 氷
4126 漂
4127 瓢
4128 票
4129 表
4130 評
4131 豹
4132 廟
4133 描
4134 病
4135 秒
4136 苗
4137 錨
4138 鋲
4139 蒜
4140 蛭
4141 鰭
4142 品
4143 彬
4144 斌
4145 浜
4146 瀕
4147 貧
4148 賓
4149 頻
4150 敏
4151 瓶
4152 不
4153 付
4154 埠
4155 夫
4156 婦
4157 富
4158 冨
4159 布
4160 府
4161 怖
4162 扶
4163 敷
4164 斧
4165 普
4166 浮
4167 父
4168 符
4169 腐
4170 膚
4171 芙
4172 譜
4173 負
4174 賦
4175 赴
4176 阜
4177 附
4178 侮
4179 撫
4180 武
4181 舞
4182 葡
4183 蕪
4184 部
4185 封
4186 楓
4187 風
4188 葺
4189 蕗
4190 伏
4191 副
4192 復
4193 幅
4194 服
4201 福
4202 腹
4203 複
4204 覆
4205 淵
4206 弗
4207 払
4208 沸
4209 仏
4210 物
4211 鮒
4212 分
4213 吻
4214 噴
4215 墳
4216 憤
4217 扮
4218 焚
4219 奮
4220 粉
4221 糞
4222 紛
4223 雰
4224 文
4225 聞
4226 丙
4227 併
4228 兵
4229 塀
4230 幣
4231 平
4232 弊
4233 柄
4234 並
4235 蔽
4236 閉
4237 陛
4238 米
4239 頁
4240 僻
4241 壁
4242 癖
4243 碧
4244 別
4245 瞥
4246 蔑
4247 箆
4248 偏
4249 変
4250 片
4251 篇
4252 編
4253 辺
4254 返
4255 遍
4256 便
4257 勉
4258 娩
4259 弁
4260 鞭
4261 保
4262 舗
4263 捕
4264 圃
4265 捕
4266 歩
4267 甫
4268 補
4269 輔
4270 穂
4271 募
4272 墓
4273 慕
4274 戊
4275 暮
4276 母
4277 簿
4278 菩
4279 倣
4280 俸
4281 包
4282 呆
4283 報
4284 奉
4285 宝
4286 峰
4287 崩
4288 庖
4289 抱
4290 捧
4291 放
4292 方
4293 朋
4294











7801	7802	7803	7804	7805	7806	7807	7808	7809	7810	7811	7812	7813	7814	7815	7816	7817	7818	7819	7820	7821
遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遫	遨	逶	隨	遲	邂	遽	邁	遨	邊	邉
7822	7823	7824	7825	7826	7827	7828	7829	7830	7831	7832	7833	7834	7835	7836	7837	7838	7839	7840	7841	7842
邏	郤	郢	郤	郤	郢	郤	扈	郤	鄂	鄒	鄙	鄙	鄰	酊	酘	酴	酣	酥	酩	酳
7843	7844	7845	7846	7847	7848	7849	7850	7851	7852	7853	7854	7855	7856	7857	7858	7859	7860	7861	7862	7863
醒	醋	醉	醐	醢	醫	醢	醪	醯	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釰	金	釣	釦
7864	7865	7866	7867	7868	7869	7870	7871	7872	7873	7874	7875	7876	7877	7878	7879	7880	7881	7882	7883	7884
釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	鋳	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓
7885	7886	7887	7888	7889	7890	7891	7892	7893	7894											
銕	鉶	銛	鋮	銷	鋪	銓	鋭	鋺	錮											
7901	7902	7903	7904	7905	7906	7907	7908	7909	7910	7911	7912	7913	7914	7915	7916	7917	7918	7919	7920	7921
錙	錢	錚	錣	錺	錆	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥
7922	7923	7924	7925	7926	7927	7928	7929	7930	7931	7932	7933	7934	7935	7936	7937	7938	7939	7940	7941	7942
鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鑓	鑰	鑚	鑄	鑛
7943	7944	7945	7946	7947	7948	7949	7950	7951	7952	7953	7954	7955	7956	7957	7958	7959	7960	7961	7962	7963
鑠	鑢	鑞	鑓	鈩	鑰	钁	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閖	閘	閙	閠
7964	7965	7966	7967	7968	7969	7970	7971	7972	7973	7974	7975	7976	7977	7978	7979	7980	7981	7982	7983	7984
閏	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闋	闌	闌	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闞	阡
7985	7986	7987	7988	7989	7990	7991	7992	7993	7994											
陋	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞											
8001	8002	8003	8004	8005	8006	8007	8008	8009	8010	8011	8012	8013	8014	8015	8016	8017	8018	8019	8020	8021
陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隷	隹	雎	雋	雉
8022	8023	8024	8025	8026	8027	8028	8029	8030	8031	8032	8033	8034	8035	8036	8037	8038	8039	8040	8041	8042
雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霎	霤	霪	霰	霹	霽	霾
8043	8044	8045	8046	8047	8048	8049	8050	8051	8052	8053	8054	8055	8056	8057	8058	8059	8060	8061	8062	8063
靄	靆	靈	靆	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靼	靹	鞁	靸	鞅	鞴	鞦	鞳	鞄	鞋
8064	8065	8066	8067	8068	8069	8070	8071	8072	8073	8074	8075	8076	8077	8078	8079	8080	8081	8082	8083	8084
鞏	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韈	韮	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸
8085	8086	8087	8088	8089	8090	8091	8092	8093	8094											
頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顓	顔	顰											
8101	8102	8103	8104	8105	8106	8107	8108	8109	8110	8111	8112	8113	8114	8115	8116	8117	8118	8119	8120	8121
顱	顧	顫	颪	颯	颱	颪	飄	飃	飜	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤
8122	8123	8124	8125	8126	8127	8128	8129	8130	8131	8132	8133	8134	8135	8136	8137	8138	8139	8140	8141	8142
餅	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟
8143	8144	8145	8146	8147	8148	8149	8150	8151	8152	8153	8154	8155	8156	8157	8158	8159	8160	8161	8162	8163
駿	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	騆	騙	騫	騒	騅	驂	驀	驃
8164	8165	8166	8167	8168	8169	8170	8171	8172	8173	8174	8175	8176	8177	8178	8179	8180	8181	8182	8183	8184
驟	驥	驍	驤	驗	驟	驫	驪	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞
8185	8186	8187	8188	8189	8190	8191	8192	8193	8194											
髟	髣	髴	髯	髯	髫	髢	髪	髭	髷											
8201	8202	8203	8204	8205	8206	8207	8208	8209	8210	8211	8212	8213	8214	8215	8216	8217	8218	8219	8220	8221
鬘	鬆	鬟	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬮	鬯	鬱	鬲	魄	魅	魏	魍	魎	魑
8222	8223	8224	8225	8226	8227	8228	8229	8230	8231	8232	8233	8234	8235	8236	8237	8238	8239	8240	8241	8242
魘	魴	魚	魯	魴	魚	鮗	鮫	鮑	鮨	鮴	鮵	鯊	鯖	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤
8243	8244	8245	8246	8247	8248	8249	8250	8251	8252	8253	8254	8255	8256	8257	8258	8259	8260	8261	8262	8263
鯰	鯡	鰺	鰌	鰒	鰔	鰛	鰄	鰉	鰓	鰕	鰆	鰈	鰡	鰊	鰍	鰹	鰯	鰰	鰲	鰡
8264	8265	8266	8267	8268	8269	8270	8271	8272	8273	8274	8275	8276	8277	8278	8279	8280	8281	8282	8283	8284
鰔	鰷	鰲	鱒	鱚	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴎	鴈	鴟	鴣	鴪	鴦	鴬
8285	8286	8287	8288	8289	8290	8291	8292	8293	8294											
鴪	鴟	鴉	鴕	鴿	鴪	鴿	鴾	鵆	鵈											
8301	8302	8303	8304	8305	8306	8307	8308	8309	8310	8311	8312	8313	8314	8315	8316	8317	8318	8319	8320	8321
鵞	鵟	鵩	鵠	鵡	鵩	鵲	鵺	鵼	鵺	鵯	鵺	鵺	鵺	鵞	鵜	鵝	鵜	鵠	鵺	鵜
8322	8323	8324	8325	8326	8327	8328	8329	8330	8331	8332	8333	8334	8335	8336	8337	8338	8339	8340	8341	8342
鵡	鵲	鶫	鶲	鵬	鶫	鶺	鶚	鶲	鶫	鶻	鶸	鶺	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麕	麒
8343	8344	8345	8346	8347	8348	8349	8350	8351	8352	8353	8354	8355	8356	8357	8358	8359	8360	8361	8362	8363
麕	麗	麝	麥	麩	麸	麹	麺	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
8364	8365	8366	8367	8368	8369	8370	8371	8372	8373	8374	8375	8376	8377	8378	8379	8380	8381	8382	8383	8384
黴	黶	黷	黼	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡
8385	8386	8387	8388	8389	8390	8391	8392	8393	8394											
齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠											
8401	8402	8403	8404	8405	8406	8407	8408	8409	8410	8411	8412	8413	8414	8415	8416	8417	8418	8419	8420	8421
堯	槇	遙	瑤	凜	熙															
8422	8423	8424	8425	8426	8427	8428	8429	8430	8431	8432	8433	8434	8435	8436	8437	8438	8439	8440	8441	8442
8443	8444	8445	8446	8447	8448	8449	8450	8451	8452	8453	8454	8455	8456	8457	8458	8459	8460	8461	8462	8463
8464	8465	8466	8467	8468	8469	8470	8471	8472	8473	8474	8475	8476	8477	8478	8479	8480	8481	8482	8483	8484
8485	8486	8487	8488	8489	8490	8491	8492	8493	8494											

索引

数字

6、9 下線 63

アルファベット

A

AC アダプター 12
AC アダプター接続部 3

B

［Back Space］キー 7, 50

C

［Caps Lock］キー 7, 37

E

［Enter］キー 7, 69

かな

い

インクリボン接続部 4
印刷 82
印刷イメージ 87
［印刷］キー 7, 82
印刷設定画面 82
印刷速度 8, 98
印刷濃度 97
印刷範囲 88
印刷方向 10, 56
印字ヘッド 4
印字ヘッド清掃 123

う

ウォーマー 9
ウォーマー制御 34

え

英数字入力 45

お

音 135

か

カーソル 10, 37
改ページ 39
カタカナ入力 43
カッター 4
カッター受け台 4
カッター交換 125
カッターセット 163
カッター動作回数 128
カット長 10, 64, 65
カット長一括設定 68
カバー 3
漢字入力 46

き

キーボード 3
記号一覧表 169
［記号］キー 6, 47
記号入力 49
起動画面 15
起動時消去確認 16
機能一覧 165
アタッチメント 22

記名板・フラットチューブアタッチメント 164
行数 59

く

クリーナー 5, 163
クリーナー清掃 / 交換 124

け

言語切換え 134

さ

サイズ切り替えレバー 5, 23, 32
削除 50

し

自動電源オフ（アダプター） 129
自動電源オフ（電池） 129
自動バックライトオフ 133
ジャム解除レバー 4, 27, 122, 139
初期化 136

す

スペースキー 7

せ

全切り設定 101
全切り（強さ） 109
全切り（深さ） 104
全削除 51
［全削除］キー 6
先端補正 92

そ

挿入口 4, 23

た

高さ補正 93

ち

チューブアタッチメント 5, 22, 164
チューブウォーマー 31, 164
チューブウォーマー接続部 4
チューブ押さえレバー 5, 23

て

定格銘板 3
ディスプレイ 4, 8
ディスプレイ表示濃度 131
電源 9, 12
電源キー 3, 15, 17
電源コード 12
電池 13
電池ケース 3

と

［取消］キー 7, 85
［取出し］キー 6, 28

な

長さ補正 95

に

［入力］キー 37

は

排出口 4, 85
バックライト（アダプター） 132
バックライト（電池） 132
バックライトの明るさ 132
半切り 8, 99
半切り設定 99
半切り（強さ） 107
半切り（深さ） 102
搬送エラー 138
搬送ローラー 4
搬送ローラー清掃 121

ひ

ひらがな入力 41

ふ

ファームウェアのアップデート 156
［ファイル］キー 6
ファイル削除 114
ファイル保存 110
ファイル呼び出し 112
フィード 141
フォルダー名変更 116

へ

ページ 10, 37
ページ 10, 39
ページの切り取り 72
ページの結合 79
ページのコピー 70
ページの削除 76
ページの挿入 74
ページの貼り付け 73
ページの分割 77
「ページ表示」画面 39

め

メッセージ一覧 151
メモリー容量 161
メモリ残量 39

も

文字間 10, 58
文字サイズ 10, 51
文字入力画面 15
文字の入力方式 8, 37
文字配置 10, 65

や

矢印キー 7, 37

よ

余白表示 10

ら

ラベルテープカセット 25, 163

り

リボンカセット 18, 163
リボンカセット情報画面 15
リボン残量 9

れ

連続印刷 10, 90

［連続］キー 6
連番 61
［連番］キー 6

ろ

ローマ字 / かな入力表 167

わ

枠囲み 10, 55